

令和6年度公民館等実態調査

〈令和5年度実施分〉

集計結果報告書 (島根県)

令和6年12月

島根県立東部社会教育研修センター
島根県立西部社会教育研修センター

目次

I	調査の概要	1
II	調査の集計結果	
	利用状況	
	問1 施設を利用した団体数及び利用者ののべ人数について	
	① 利用団体数	2
	② 利用者のべ人数	2
	職員の状況	
	問2 在籍する職員の状況(勤務形態や資格の有無)について	
	① 職員数	3
	② 公民館長等	3
	③ 公民館主事等	4
	④ その他の職員	4
	職員の研修状況	
	問3 職員研修について	
	(1) 研修の参加	5
	(2) 研修の主催者	5
	(3) 参加しなかった理由	5
	問4 今後必要な研修について	
	(1) 今後、職員に必要な研修	6
	(2) 研修に参加しやすい月	6
	地域課題	
	問5 把握している地域課題について	
	(1) 地域課題の把握	7
	(2) 地域課題の把握方法	7
	(3) 把握している地域課題	8
	主催事業等の実施状況	
	問6 主催事業等の実施状況について	
	(1) 主催する教室・講座や事業の実施	9
	(2) 実施した主催事業の事業計画や企画書の作成	9
	(3) 主催事業の広報活動について	9
	(4) 広報活動の方法について	9
	(5) 主催事業の事業評価について	10
	(6) 事業評価の実施方法について	10
	(7) 事業評価の活用について	10

ふるさとに関して学ぶ事業

(8) ふるさとに関して学ぶ事業の実施	11
(9) ①ふるさとに関して学ぶ事業の数	11
②ふるさとに関して学ぶ事業の題材	11-(1)~(5)

次世代の人材育成をねらいとした事業

(10) 次世代の人材育成を主なねらいとした事業の数	12
人材育成事業1館あたり平均実施回数	12
人材育成事業実施館数	12
人材育成事業実施率	12

特色ある事業や教室・講座

(13) 特色ある事業の成果	12
(12) 特色ある事業の分野別の事業数	13-(1)
特色ある事業や教室・講座の内容(分野別)	13-(1)~(29)
(14) 開催しないと判断した事業とその理由	14-(1)~(4)

主催する教室・講座や事業

(11) 主催する教室・講座や事業の内容等	
① 分野別	15
② 事業内容別	16~19

学校との関係

問7 学校との関係について

(1) 地域学校協働活動推進員との関わり	20
(2) ふるさと教育推進事業との関わり	20

施設の役割

問8 施設が求められている役割について	20
---------------------	----

※スペースその他の関係から、問い6の(11)~(14)は順番を入れ替えて記載しています。
また、P11-(1)~(5)、P13-(1)~(29)、P14-(1)~(4)は、各公民館等施設の回答をそのまま
転記していますので、誤字やレイアウト等の問題があるかもしれませんがご了承ください。

I 調査の概要

1 名称

令和6年度 島根県公民館等実態調査（令和5年度実施分）

2 調査の趣旨

県内の公民館等の研修や実施事業等を調査・把握し、県・市町村における社会教育に関する施策や事業立案のための基礎データとする。

3 調査対象

県内公民館等 284館

※ 「公民館等」とは、社会教育法上の公民館だけでなく、市町村条例によって設置された実態として公民館の機能を担うコミュニティセンター、交流センター、まちづくりセンター等を含みます。

※ 県内公民館等のうち、職員が配置されていない無人館は除いています。

4 調査方法

各市町村担当課を通して電子メール配付、電子メール等での返信による回収

令和6年6月 調査依頼送付

令和6年7月 公民館等から担当課へ回答締切

令和6年8月 担当課から東部・西部社会教育研修センターへ回答締切

5 調査項目

- 利用状況
- 職員の状況
- 職員の研修状況
- 地域課題
- 主催事業等の実施状況
- ふるさとに関して学ぶ事業
- 事業評価
- 主催する教室・講座や事業
- 特色ある事業や教室・講座 等

6 回収結果

(1)対象施設数 284 施設

(2)回収調査数 284 施設 回収率100%

※ 益田市の豊田・西益田公民館は、合同事業開催館のため、1館分として扱っています。また、吉賀町の中央公民館・六日市公民館についても、1館分としての扱いです。

7 調査主体者

島根県立東部社会教育研修センター

島根県立西部社会教育研修センター

8 集計結果について

- 集計結果が百分率(%)の場合、四捨五入して整数で表示しているため合計が100%にならず、また、処理の関係でグラフと数値にズレが生じる場合があります(1%程度)。
- 表・図中の項目の表題・文章等は、省略している場合があります。
- 調査結果は島根県立東部・西部社会教育研修センターのホームページにも掲載しています。

II 調査の集計結果

問1 施設を利用した団体数及び利用者数ののべ人数について

(1)利用団体数

No.	利用団体数	青少年団体		成人団体		高齢者団体		その他の団体	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
1	0団体	41	14%	21	7%	20	7%	25	9%
2	1～100団体	208	73%	166	58%	195	69%	187	66%
3	101～200団体	20	7%	39	14%	23	8%	29	10%
4	201～300団体	6	2%	18	6%	15	5%	12	4%
5	301～400団体	4	1%	10	4%	6	2%	8	3%
6	401～500団体	4	1%	9	3%	6	2%	4	1%
7	501団体以上	1	0%	21	7%	19	7%	19	7%
8	無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	合計	284	100%	284	100%	284	100%	284	100%

1～100団体の利用団体の内訳

No.	利用団体数	青少年団体		成人団体		高齢者団体		その他の団体	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
1	1～20団体	145	51%	106	37%	133	47%	99	35%
2	21～40団体	28	10%	22	8%	23	8%	39	14%
3	41～60団体	13	5%	19	7%	20	7%	19	7%
4	61～80団体	12	4%	9	3%	9	3%	15	5%
5	81～100団体	10	4%	10	4%	10	4%	15	5%
	合計	208	73%	166	58%	195	69%	187	66%

(2)利用者数ののべ人数

No.	利用者数	青少年団体		成人団体		高齢者団体		その他の団体		個人利用	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
1	0人	41	14%	23	8%	21	7%	25	9%	117	41%
2	1～1000人	155	55%	117	41%	137	48%	103	36%	125	44%
3	1001～2000人	38	13%	59	21%	55	19%	54	19%	10	4%
4	2001～3000人	17	6%	20	7%	24	8%	36	13%	10	4%
5	3001～4000人	12	4%	18	6%	16	6%	19	7%	7	2%
6	4001～5000人	4	1%	17	6%	13	5%	14	5%	2	1%
7	5001人以上	17	6%	30	11%	18	6%	33	12%	12	4%
8	無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0%
	合計	284	100%	284	100%	284	100%	284	100%	284	100%

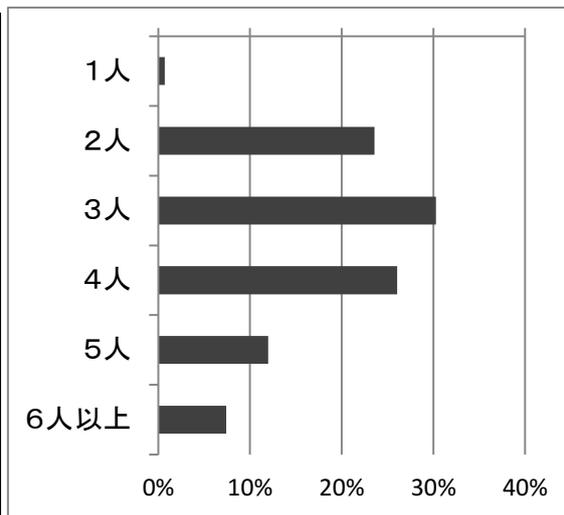
1～1000人の利用者の内訳

No.	利用者数	青少年団体		成人団体		高齢者団体		その他の団体		個人利用	
		施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
1	1～200人	65	23%	45	16%	59	21%	25	9%	95	33%
2	201～400人	36	13%	22	8%	27	10%	21	7%	19	7%
3	401～600人	20	7%	23	8%	23	8%	24	8%	6	2%
4	601～800人	18	6%	10	4%	14	5%	14	5%	4	1%
5	801～1000人	16	6%	17	6%	14	5%	19	7%	1	0%
	合計	155	55%	117	41%	137	48%	103	36%	125	44%

問2 在籍する職員の状況について

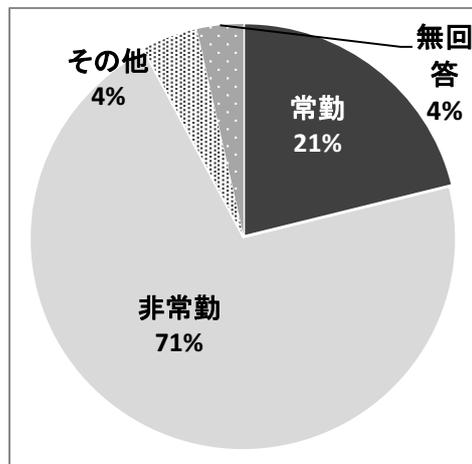
(1) 職員数

No.	施設職員数	施設数	%
1	1人	2	1%
2	2人	67	24%
3	3人	86	30%
4	4人	74	26%
5	5人	34	12%
6	6人以上	21	7%
7	無回答	0	0%
	合計	284	100%

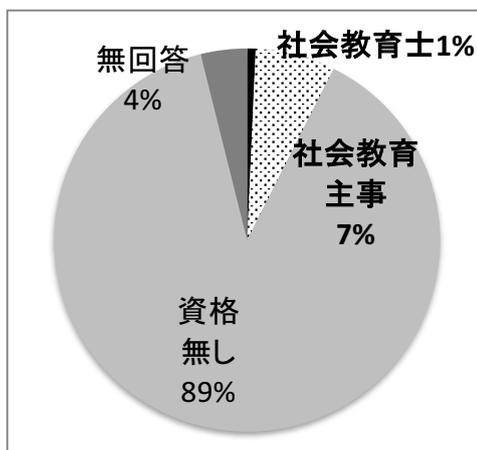


(2) 公民館長等

No.	館長等の勤務形態	人数	%
1	常勤	60	21%
2	非常勤	202	71%
3	その他	12	4%
4	無回答	10	4%
	合計	284	100%

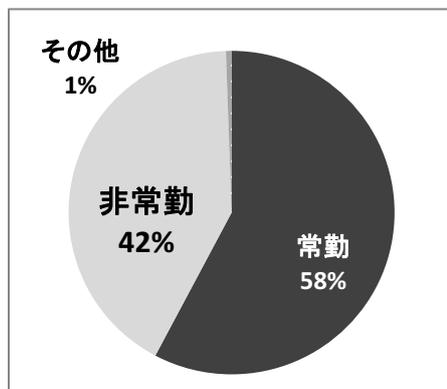


No.	社会教育士等資格の有無	人数	%
1	社会教育士	2	1%
2	社会教育主事	19	7%
3	受講中	0	0%
4	資格なし	252	89%
5	無回答	11	4%
	合計	284	100%

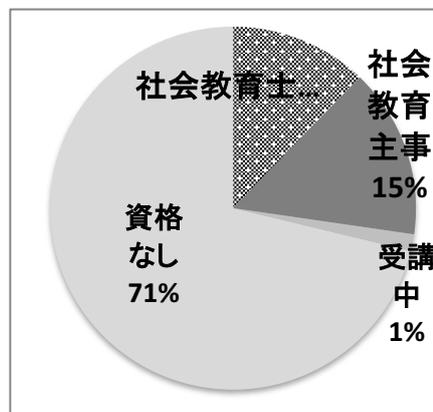


(3) 公民館主事等

No.	主事等の勤務形態	人数	%
1	常勤	313	58%
2	非常勤	226	42%
3	その他	3	1%
	合計	542	100%

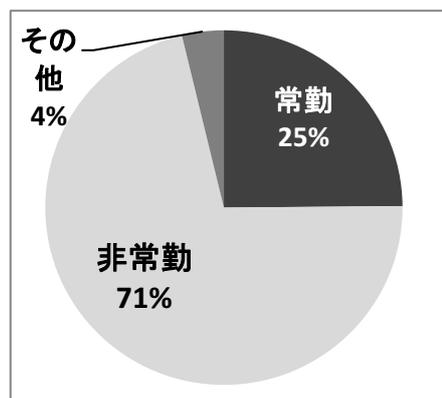


No.	社会教育主事資格の有無	人数	%
1	社会教育士	66	12%
2	社会教育主事	82	15%
3	受講中	8	1%
4	資格なし	386	71%
	合計	542	100%

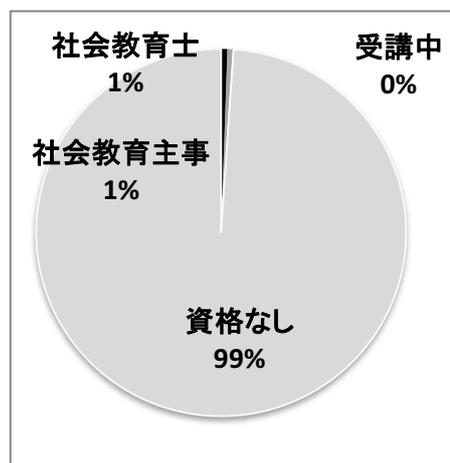


(4) その他の職員

No.	その他の職員の勤務形態	人数	%
1	常勤	46	25%
2	非常勤	132	71%
3	その他	7	4%
	合計	185	100%



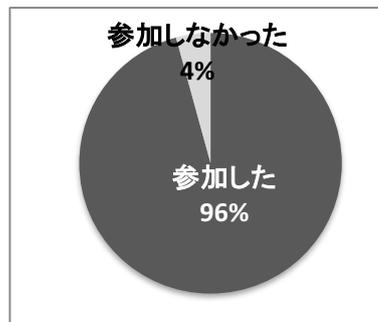
No.	社会教育主事資格の有無	人数	%
1	社会教育士	1	1%
2	社会教育主事	1	1%
3	受講中	0	0%
4	資格なし	183	99%
	合計	185	100%



問3 職員の研修状況について

(1) 職員研修の参加

No.	職員研修の実施	施設数	%
1	参加した	271	95%
2	参加しなかった	12	4%
3	無回答	1	0%
	合計	284	100%



(2) 参加した研修内容と主催者(複数回答可)

[%は、「(1):参加した(施設数)」に対する割合、主催者は実施件数]

No.	職員研修の内容	回答数	%	国	県	市町村	その他
1	生涯学習・社会教育に関する知識(概論)	97	36%	8	40	41	6
2	学習プログラムの立案	37	14%	3	14	6	13
3	生涯学習・社会教育事業評価	12	4%	3	2	7	0
4	広報・広聴及びPR	27	10%	1	2	22	2
5	ワークショップの運営	21	8%	1	6	12	2
6	学習成果の活用	9	3%	2	3	3	1
7	地域資源の発掘・整理・活用	22	8%	2	6	6	7
8	学習ニーズや地域課題の把握・調査法	13	5%	2	2	6	2
9	体育・スポーツ・レクリエーション	39	14%	0	2	19	15
10	情報機器の活用	49	18%	0	3	39	4
11	人権教育	238	88%	0	41	163	26
12	地域づくり・まちづくり	153	56%	1	33	94	18
13	青少年教育について	39	14%	2	3	26	8
14	情報提供・学習相談	6	2%	0	1	4	1
15	生涯学習・社会教育に関する実践事例	96	35%	2	44	34	13
16	学校・家庭・地域の連携・支援	68	25%	3	11	43	11
17	職業教育・キャリア教育の推進・支援	12	4%	0	1	11	0
18	関係団体との連携・ネットワークづくり	43	16%	1	8	24	8
19	家庭教育支援	16	6%	3	3	10	0
20	グループ・サークルの育成・支援	3	1%	0	0	3	0
21	地域におけるボランティア活動活性化	19	7%	0	2	10	7
22	地域の指導者・リーダー育成	21	8%	0	3	15	2
23	その他	51	19%	0	0	0	0

* 回答数に対し、主催者の無回答有りのため合計の不一致有り

■: 網掛けは上位3つの研修内容

(3) 参加しなかった理由(複数回答)

[%は、「(1):参加しなかった(施設数)」に対する割合]

No.	参加しなかった理由	回答数	%
1	開催時期・日程のあうものがない	9	75%
2	研修会場の近いものがない	1	8%
3	研修における学習内容に適当なものがない	3	25%
4	参加経費の負担が厳しい	0	0%
5	職員が研修に参加した場合、施設の業務に支障をきたす	5	42%
6	研修の必要性を強く感じない	2	17%
7	市町村や管理職の研修に対する理解が少ない	0	0%
8	その他	2	17%

問4 今後必要な研修について

(1) 今後、職員に必要な研修(2つまで選択)

[%は、「全施設数」に対する割合]

No.	職員研修の内容	回答数	%
1	生涯学習・社会教育に関する知識(概論)	42	15%
2	学習プログラムの立案	16	6%
3	生涯学習・社会教育事業評価	7	2%
4	広報・広聴及びPR	26	9%
5	ワークショップの運営	11	4%
6	学習成果の活用	9	3%
7	地域資源の発掘・整理・活用	73	26%
8	学習ニーズや地域課題の把握・調査法	31	11%
9	体育・スポーツ・レクリエーション	11	4%
10	情報機器の活用	49	17%
11	人権教育	49	17%
12	地域づくり・まちづくり	189	67%
13	青少年教育について(キャンプ、野外活動、自然体験活動等)	3	1%
14	情報提供・学習相談	2	1%
15	生涯学習・社会教育に関する実践事例	23	8%
16	学校・家庭・地域の連携・支援	43	15%
17	職業教育・キャリア教育の推進・支援	2	1%
18	関係団体との連携・ネットワークづくり	66	23%
19	家庭教育支援	2	1%
20	グループ・サークルの育成・支援	22	8%
21	地域におけるボランティア活動活性化	23	8%
22	地域の指導者・リーダー育成	99	35%
23	その他	9	3%

：網掛けは上位3つの内容

(2) 職員が研修に参加しやすい月(3つまで選択)

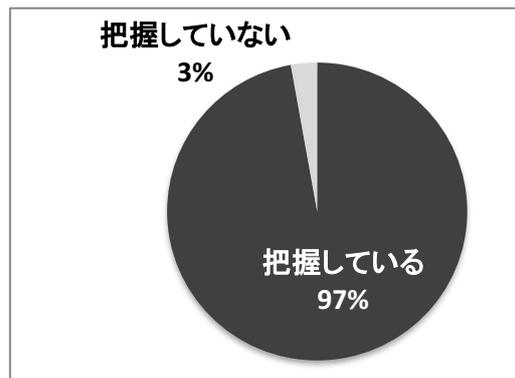
[%は、「全施設数」に対する割合]

No.	参加しやすい月	回答数	%
1	1月	106	37%
2	2月	150	53%
3	3月	6	2%
4	4月	16	6%
5	5月	48	17%
6	6月	108	38%
7	7月	65	23%
8	8月	37	13%
9	9月	46	16%
10	10月	25	9%
11	11月	49	17%
12	12月	92	32%

問5 把握している地域課題について

(1) 地域課題の把握

No.	地域課題の把握	施設数	%
1	把握している	276	97%
2	把握していない	8	3%
3	無回答	0	0%
	合計	284	100%



(2) 地域課題の把握方法(複数回答)

[%は、「(1):把握している(施設数)」に対する割合]

No.	地域課題の把握方法	回答数	%
1	住民アンケート(調査票等による)	97	35%
2	住民への聞き取り(面接、直接聞き取り等)	195	71%
3	住民等を対象とした学習活動(ワークショップ、話し合い等)	90	33%
4	公民館等職員の協議や話し合い	180	65%
5	教育委員会や自治体等が地域課題を示している	54	20%
6	LINEやフェイスブックなどSNSを活用して調査・把握	10	4%
7	その他	24	9%

(3) 把握している地域課題

[%は、「(1):把握している(施設数)」に対する割合]

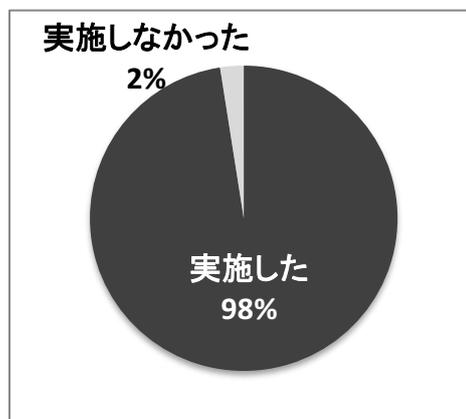
No.	地域課題	回答数	%
1	青少年育成活動の充実	10	4%
2	青少年の地域参画	50	18%
3	壮年層の地域参画	64	23%
4	次世代の人材育成(リーダー育成)	188	68%
5	地域の各種団体の連携	26	9%
6	空家対策	60	22%
7	買い物・通院等交通弱者対策	94	34%
8	有害鳥獣対策	73	26%
9	インフラの整備	9	3%
10	情報発信の充実	14	5%
11	環境・景観保全	30	11%
12	自治会加入率の向上	31	11%
13	ひきこもり対策	2	1%
14	子どもの居場所づくり	23	8%
15	子育て環境の整備	8	3%
16	防災意識の高揚	82	30%
17	自主防災組織の立ち上げ	24	9%
18	災害時要支援者対策	35	13%
19	安心・安全なまちづくり(交通安全・不審者対策等)	19	7%
20	健康づくり活動の推進	28	10%
21	高齢者の居場所づくり(活躍の場づくり)	42	15%
22	高齢者の生活支援・介護予防	55	20%
23	地域資源の掘り起こしと活用	27	10%
24	特色ある産業・特産品の発掘、開発	11	4%
25	伝統文化の継承、開発	39	14%
26	地域住民同士の絆づくり	56	20%
27	明るく住みよいまちづくり(人権尊重)	21	8%
28	世代間交流	37	13%
29	地域と学校の連携・協働	29	11%
30	地域全体で活動していく意識の向上・仕組みづくり	67	24%
31	公民館活動の充実	13	5%
32	働く場の確保・企業誘致	3	1%
33	交流人口の拡大	21	8%
34	定住対策の強化	39	14%
35	婚活事業	6	2%
36	その他	6	2%

: 網掛けは上位3つの課題

問6 主催事業等の実施状況について

(1) 主催する教室・講座や事業の実施

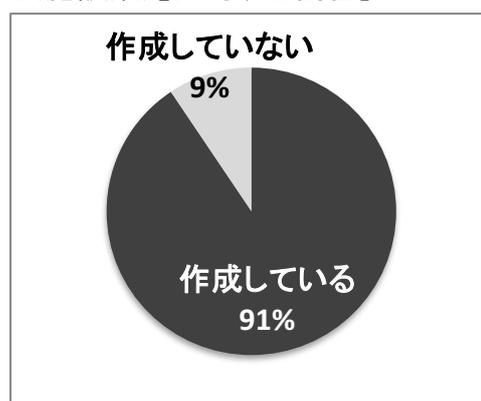
No.	主催事業の実施	施設数	%
1	実施した	277	98%
2	実施しなかった	7	2%
3	無回答	0	0%
	合計	284	100%



(2) 実施した主催事業の事業計画や企画書の作成

[%は、「(1):実施した(施設数)」に対する割合]

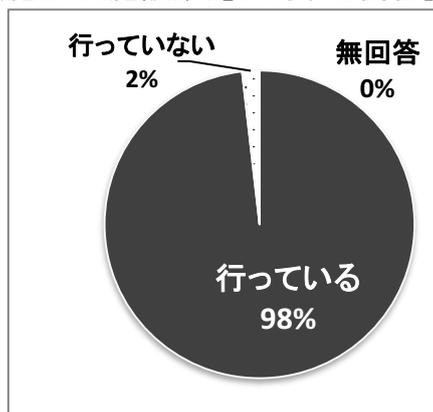
No.	事業計画の作成	施設数	%
1	作成している	251	91%
2	作成していない	26	9%
3	無回答	0	0%
	合計	277	100%



(3) 主催事業の広報活動

[%は、「(1):実施した(施設数)」に対する割合]

No.	事業の広報活動	施設数	%
1	行っている	272	98%
2	行っていない	5	2%
3	無回答	0	0%
	合計	277	100%



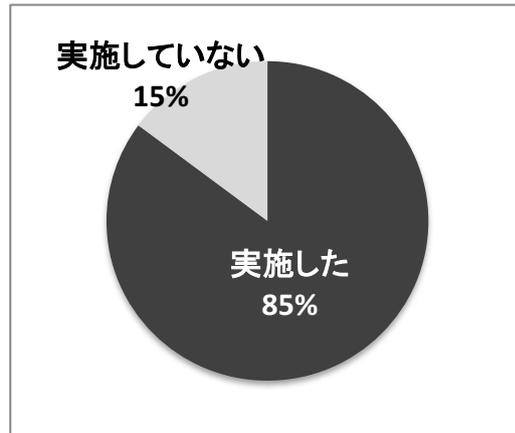
(4) 広報活動の方法(複数回答)

[%は、「(3):行っている(施設数)」に対する割合]

No.	広報活動の方法	回答数	%
1	貴施設が発行するたより	260	96%
2	所在する市町村が発行する広報誌	30	11%
3	ポスター・チラシ	248	91%
4	ホームページ・ブログ(一方向)	100	37%
5	ツイッター、フェイスブック等(双方向)	69	25%
6	自治会等での説明	89	33%
7	その他	54	20%

(5) 主催事業の事業評価

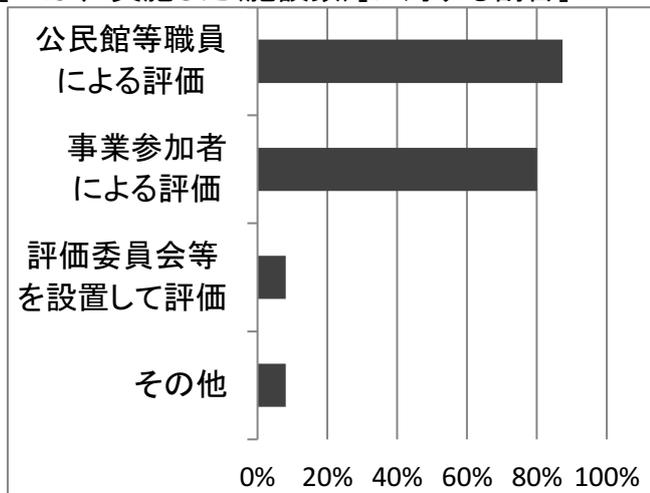
No.	事業評価	施設数	%
1	実施した	236	85%
2	実施していない	41	15%
3	無回答	0	0%
	合計	277	100%



(6) 事業評価の実施方法(複数回答)

[%は、「実施した(施設数)」に対する割合]

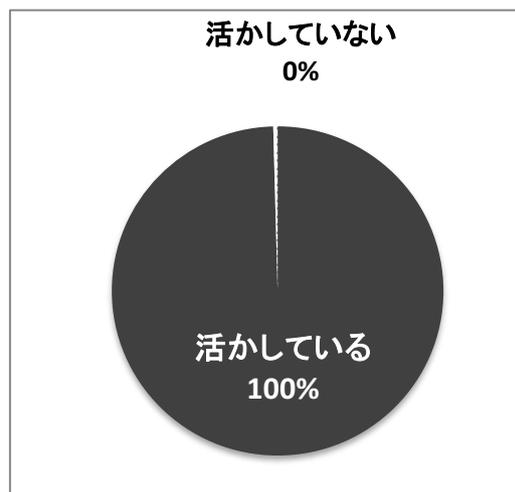
No.	事業の評価者	回答数	%
1	公民館等職員による評価	206	87%
2	事業参加者による評価	189	80%
3	評価委員会等を設置して評価	19	8%
4	その他	19	8%



(7) 事業評価の活用

[%は、「実施した(施設数)」に対する割合]

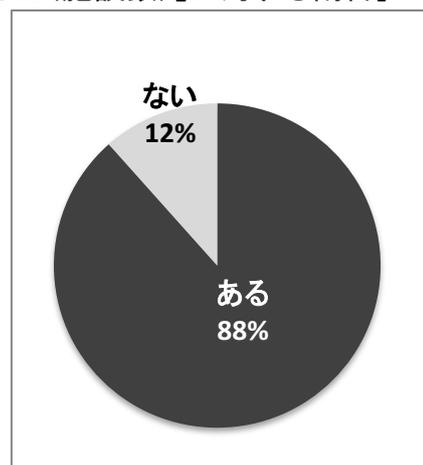
No.	評価の活用	施設数	%
1	活かしている	235	100%
2	活かしていない	1	0%
	合計	236	100%



(8) ふるさとに関して学ぶ事業の実施

[%は、「実施した(施設数)」に対する割合]

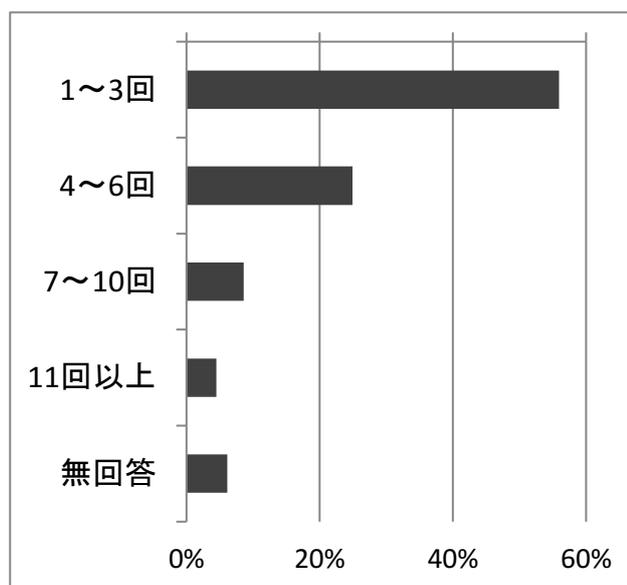
No.	ふるさとを学ぶ事業	施設数	%
1	ある	245	88%
2	ない	32	12%
	合計	277	100%



(9) ①ふるさとに関して学ぶ事業の数

[%は、「(8):ある(施設数)」に対する割合]

No.	ふるさとを学ぶ事業数	施設数	%
1	1～3回	137	56%
2	4～6回	61	25%
3	7～10回	21	9%
4	11回以上	11	4%
5	無回答	15	6%
	合計	245	100%



(9) ②ふるさとに関して学ぶ事業の題材

北田川・しじみ・竹行灯・松江城・はぜ・宍道湖
宍道湖、はぜ、桐岳寺、千手院、松江城、市役所、NHK松江放送局、うぐいす台、宍北台、石橋町、李白、万寿寺、田原神社
鼈太鼓、松村豊吉、山本幡男
茶の湯の文化、行燈、県立美術館、白瀧小路
天神川 雑賀小学校 吉兆行事 若槻禮次郎 床几山 売豆紀神社相撲大会
松江、津田の松原、七夕、とんどまつり
歴史講座
嵩山登山、故郷かるた、神社、川津の歴史(縄文、弥生)
宝永山窯 朝日丹波 抹茶お点前
白鹿ほたるの里公園 ホテル観察会、市民憲章かるた、法吉の大先輩
古墳、遺跡、和菓子、農業体験、環境、文化伝承
嫁ヶ島、田和山、産業
松江城、忌部
茶臼山、古墳
妙見山妙徳寺・六地藏(地域探訪ウォーキング)、佐陀川はぜ釣り
松江北山
中海、水辺の栗校、農産物、稲作、地域課題、世代間交流
本宮山
ウニ退治、高野宮神社奉納相撲大会、子どもとんどさん、子どもおもつつあん

佐陀神能 清原太兵衛 佐陀川
島根町誌を読む会 島根町内巡り
中海、ジオパーク、美保関の戦争遺構、小泉八雲
安部榮四郎、周藤弥兵衛、市民憲章大会、ふるさとかるた大会
宍道湖、陶芸、まち歩き
宍道町の街並み、来待の歴史
永井隆、小泉八雲、島芝翫節、出雲弁、ゴビウス、しまね海洋館アクアス、水灯路、いただき
京羅木山・美人塚・苜蒲・揖屋神社・黄泉平坂・畑地区・町誌・おちらと村
まちづくり協議会、古民家活用の絵本屋さん、マップづくり、イベントホールの活用、イベントを企画する方法、安来の昔の写真、安来のお雑煮
中海干拓
椿油、クリーム
大森 有吉
森林教室、環境学習、町探検
田植えまつり、車山、飯梨川、太鼓
広田亀治、地域の古墳群、20世紀梨、中海
米作り体験、ぶり山ウォーキング、斐伊山ハイキング、川遊び
山中鹿助、川、どう太鼓、銭太鼓
山中鹿介、白椿原木、加納莞蓄、飯梨川
鋳物、柚子
住民大会、文化祭、勤労者体育センター清掃、すこやかウォーク、とんど祭
上山佐 山佐タム
堀江友聲
オオサンショウウオ
盆踊り、とんどさん、三郡山
玉神社、医王寺
神話
斐伊川 高瀬川 木綿街道
神名火山 伊保神社 阿吾神社 上乘寺 上郷神社 八口神社・草枕尾留大明神 御代神社 神原神社
神原神社古墳、石照庭園、田部家土蔵群、鉄の歴史博物館、出雲エネルギーセンター、島根富士通、鬼の舌震
米作り体験学習、昔の遊び体験
小学校へ出かけての講話(三木与兵衛 万代重兵衛)、遺跡に関する講座(八野神社 矢野遺跡 姫原神楽 菱根池干拓)
高浜音頭・芋煮・大文字・ぼてぼて茶・しめ縄・里見香奈・レンコン
郷土史を学ぼう、川跡の魅力発信、伝統行事で世代間交流
鶯ヶ巣城址 大寺薬師 竹の学習 ホタル 青木遺跡 歴史を語ろう
ウォーキング、箆巻、クリーン大作戦、餅つき大会、米作り、ピンホールカメラでふるさと、神楽
ふるさと再発見(見々久畑町内の桜)、朝山の動植物(ヤブカンゾウ、キンクロハジロ、イズモコバイモ、オオメノマンネングサ)
もち米づくり、しめ縄づくり
神西湖、神西城址、岩坪、尼子十旗
ヤマタノオロチ伝承地、地元力士、石碑、ふるさとかるた
出雲神話、灘分ふるさと探訪
国富地域たんけん(古墳、神社仏閣、旅伏山、斐伊川)
地区内施設見学
韓竈神社、鱈淵寺、垂水四郎、山中鹿介、唐川神楽、河下盆踊り、唐川川
山陰海岸ジオパーク、善福寺、出雲大社
大船山、とうふ飯
小学校4年生が地区内の苧藻谷川の自然観察でコミュニティセンターで発表
パワースポット探訪、ふるさと学習、サマーキャンプ、七夕会、餅つき大会
ふるさと探訪、いがもちづくり
目田森林公園、須佐神社、須佐川、波多川、須佐高橋城、
三子山登山、草木染体験、ふるさとバス研修、蛇づくり、クイズウォークラリー、伝統芸能発表、宿泊キャンプ、交流ウォーク
地域探訪講座(神西城跡)、いかだづくり体験、まちづくり講演会
神西湖、地域活動紹介
石見銀山、弥山登山、古代出雲歴史博物館
日御碕神社、前原一誠、大社駅、神門通り、稲佐の浜、弁天島
石見の温泉津、鱈淵、菅谷たたら、春の七草
前原一誠 日御碕かるた 日御碕神社 宇龍港
・うさぎの海を楽しもう ・しゃぎり
大黒山、高瀬山、羽根盆踊り、荒神谷
出西の歴史・地域全般、平和学習
阿宮の歴史、天寺平廃寺
斐伊川遊び、斐川相撲場、和笛、大黒山登山
国史跡 山陰道跡

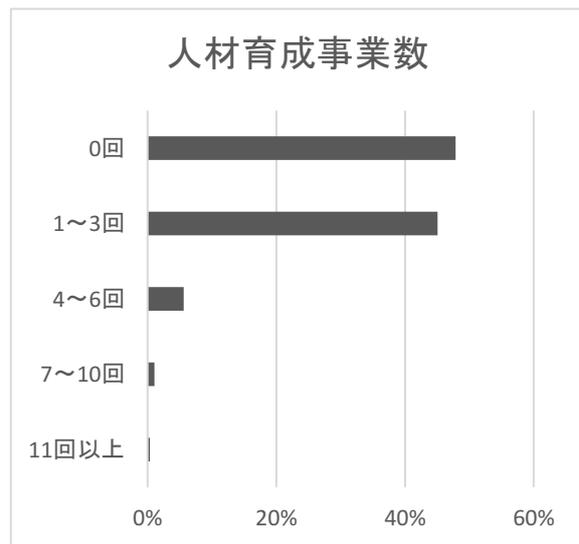
斐伊川
出雲弁、歴史
赤川 阿用川 ホタル
大東カルタ、永井隆、出雲弁
地域の歴史(文化講演会・文化講座・カルタ大会)、幡屋川の生き物調べ
①佐世の神社②川・魚③農産物④ほたる
阿用の山と川
・たたら製鉄④砂の器
神楽
たたら製鉄、大塚と兵衛、すくね塚、松江藩、大東かるた、塩田ダム、河川の自然環境、オオサンショウウオ、モリアオガエル
<small>(バスでオウケラ)バイクにより地域の風土、歴史をひもとき、ウオーキングを楽しみながら地域内を探訪する。【げんきかい】地域内外の歴史風土・文化を学ぶ講座の開催。(70歳以上高齢男性を対象)</small>
木次盆踊り。熊谷竹林。おろち公園
史跡：城名樋山
そば打ち、豆腐づくり、味噌づくり体験、加藤歎一郎、盆踊り
高津公園まつり盆踊り西日登神楽
神楽
みとやの民話、三刀屋尾崎城址
米作り体験学習、笹巻づくり、陶芸教室、一宮の歴史を学ぶ
・移住者交流研修会・鍋っこ鍋山探検・水辺の教室・みとや深谷温泉ふかたに荘(鍋小授業総合学習対応)
永井隆博士生い立ちの家
自然塾(水辺の教室)、ウォーキング大会(たたら山内)
神楽・しめ縄作り体験・とんどさん・川遊び
掛合トランプ、日倉城址
上多根かくらを学ぶ会、地域の収穫祭(芋まつり)、子ども学習会での学習①獣害対策②地域の防災③地区の河川について
龍頭が滝・川・生き物・農業
いるま花田植え、笹巻教室、かたらの葉団子づくり、長のり巻き作り、とんどさん など
布勢の魅力
①地域のそば粉を使い地域のそば打ち名人から打ち方の伝授 ②森林資源の雑木を使って炭焼き体験をし炭が冷めてから梱包作業体験
古墳、歴史、防災等
唐墨城跡登山、鯛ノ巣山登山、水辺の教室(阿井川)、笹巻きづくり、わんぱく交流、猿政小そば、あいつこの集い
要害山 三澤氏 笹巻き ソバづくり 歴史探訪 水辺の教室
米作り、蕎麦、太鼓
オオムラサキ オオサンショウウオ 斐伊川 横田札
子ども神楽 国定公園吾妻山 馬木の歴史を知る会(たたら製鉄や尼子十旗など)
琴引山神迎え登山 民俗行事「とろへい」「ちまきづくり」
八福神(地域の史跡)
石見銀山 農業 自然観察 伝統文化伝承
森林セラピー、賀田城、赤名湿地帯、ホタル、タケノコ掘り、シャワークライミング
自然と遊ぼう！山菜採集+α・やまめのつかみ取り大会・シャワークライミング・盆踊り大会・門松づくり・とんど
宮の浦海岸、渚の交番be、浜田産ササエ、瀬戸ヶ島漁港、石見銀山、地域の歴史歩き
幻の広浜鉄道 浜田城
黄長石霞石玄武岩、八朔祭、石見神楽、温泉津町歩き、郷土かるた
海、石見神楽
・夏休み作品づくり・納涼の夕べ・五月人形展・ひな人形展
周布川、鮎、米、大豆、味噌、昔の街並み、多くの店
竹、地産地消
島村抱月(浄光寺・熊谷跡)、代官所跡、三輪新助(隆興寺)、久佐八幡宮、宮本風月堂、鳥獣被害・対策、牛の生産農家、かなぎウエスタンライディングパーク
広浜鉄道今福線、石州和紙、稲作、TC浜田農場、夢の音村
<small>ふるさと学習会 お出掛け学習会(道の駅を訪ね地域の活性化に取り組もう) 健康づくりウォーキング、干し大根づくりみそづくりしめ縄教室よもぎ摘み、田植え稲刈り、脱穀・樹摺り餅つき会、ひなまつり、魚食料理教室</small>
岡本甚左衛門、雲城山、ハッチョウトンボ、ブドウ栽培、金城の華
<small>波佐歴史探訪ウォーキング大会(能海寛歌碑・街並み歩き・五輪塔他) 田植え事業・しめ縄作り講習会、交流会 中学校ふるさと再発見事業 長浜人形展示と保育園児との交流会</small>
おぐにふるさと学校
棚田米・石見神楽
郷土料理
桃 魚 雪舟焼 八戸川 やつおもて古墳 地域の食材
つなぐ棚田遺産 林道足尾線
角寿司
泥おとし、もらい湯(通学合宿)、浜田市ふるさと体験村(通学合宿)、田ばやし、杵束神楽社中、安城神楽社中、ささゆり
源田山、チェリーロード、おかみかるた、石見神楽
<small>・6年生の卒業お祝い会に紙漉き体験、思いの島づくり・大人のまちたんけんて三保地区にある酒蔵見学や和紙についての学習・三保なべつばねに向け、芋の苗植え収穫を行い、その野菜で作った三保なべの販売、石見神楽の演出を楽しむ</small>
吉浦の梅、西条柿、今浦漁港周辺
和紙、のろし、お寺&文化財

昔使われていた通学路(山道)のウォーキング、そば打ち、とんど焼き、味噌づくり
野山獄ひまわり園、もちつき、芸能まつり、夏まつり、井野探検
田植え体験・芋の苗植え収穫体験
林春生、鬼村の鬼岩
文化祭 地域伝承文化
立神岩(日本遺産)
地域の宝・文化伝承事業
佐比賣山神社、昔のお店、昔の写真
ふるさとを語ろう
ハマナス自生地、静之窟、清水大師、石切り場
韓神新羅神社、五十猛のクロ
田植え囃子
稲作体験
山口小学校への旧通学路、佐比賣山神社、多根神楽、長押飾り
石見銀山みらい七夕 しゃべりば大森 ぶらり大森 世界遺産登録記念 石州左官
三中と地域との交流活動(三中文化祭中学生と地域との合同演奏会)(4町共催窯芸活動)
祖式文化財ウォーク・・・向川遺跡・念仏寺・東宮駐賀の碑・祖式八幡宮
陶芸、伝統、歴史
葛学習、よずくはで作り、ふるさとウォーク、そば作り
史跡めぐりウォーキング(石切り場)
和牛、農産物(施設園芸)、石見神楽
仁万・天河内の今と昔を掘り下げて学習する
宅野子ども神楽、宝隆寺
地域を知る学習講演会「馬路と北前船」講師:古代出雲歴史博物会
田植えばやし、波積ダム
事業計画しても子供たちが忙しく参加できない現状
ウォークラリー 青木秀清・さつまいも
天領江津本町躰街道
イルティッシュ号乗組員救援 芋代官顕彰碑
町の恩人 佐々木準三郎
花田植え そば打ち とんど祭り
橋本三兵衛
石見神楽
まち探検・玉川生き物調べ・米作り体験・とんど焼き・夏休み教室・ふるさと祭り・もちつき・郷土料理
餅つき体験 遠足(地元にまつわるクイズをしながら)
茶畑 とんど
古文書、地域の石碑・お地蔵・歴史
・歴史探検(飯ノ山城)・川本町ふるさとカルタの活用
田植え囃子、綿を使って染色&織物、自然観察の楽しみ方
地域の名所、企業見学。
雲海
蟠龍峡(公園)
獣害対策
文化遺産、歴史遺産巡り、川探検、各種体験、地域の良さ再発見、地域の環境整備、地域特産物、伝統行事
地域の生活・文化
軍原キャンプ場、高橋氏、城跡、賀茂神社、田植え、鮎の放流、稲刈り
江の川、出羽川、長田川、ゲンジボタル、地域住民との交流(昔遊び等を通して)、地域に自生する音
ダンボール甲冑作り、久喜銀山、鱒淵かぶ、ニツ山、山菜採り、本城常光、ハンザケ自然館、出羽ひな街道
地域住民、山菜、鱒淵かぶ、久喜銀山、味噌、恵方巻
紙漉き
川、公園
桜尾城跡、今佐屋山遺跡、市木中跡、道祖神、藤繁屋敷、鉄穴興首
森の学校(箱庭作り、探検、クラフト)
稲作、東明寺山、田んぼの生き物、小豆、むかしの遊び(けん玉、コマ回しなど)
稲作、東明寺山、田んぼの生き物、サツマイモ、断魚溪、天蔵滝、そうめん流し、昔遊び、太鼓、イルミ、プログラミング
日賞バスツアー、田植え、そば作り、みそ玉づくり、梅干し作り
渓谷
<small>日本遺産構成文化財(萬福寺 医光寺、七尾城址 住吉神社 妙義寺 曉音寺 泉光寺 染羽天石勝神社 三宅御土屋跡 益田市立歴史民族資料館(現在:れきしーな) 益田川 右田本店酒蔵 中原家住宅) 雪舟庭園 中世</small>
水墨画教室(雪舟)、日本遺産、自治会調べ、郷土を知る講座、雪舟さんについて学ぼう
万葉公園、ひとまる大橋、萩・石見空港マラソン、しめ縄、ホーランエー
津田海岸 鶴の鼻古墳群 大元古墳 国東治兵衛 コスモス
水仙、鎌手、山陰道、海、海岸、ふるさと探訪、昔の遊び

石見神楽
比礼振山 東陽庵 大草八幡宮 ギャラリーひれふり 明顕寺
遺跡巡り
神流山八幡宮・波田川・真砂花火大会
鮎、高津川、SUP、灯火、バス縁足、竹灯籠、たこあげ
三條村物語 横山城 原城 ゲンジボタル
歴史クラブ、歴史ウォーク、しめ縄づくり
戸田小4年生ふるさと教育、海風遊舎(テラコヤ)、小浜衣毘須神社、戸田柿本神社
郷土芸能
神寶山八幡宮・四ツ山
秦 佐八郎 博士、ゆず
郷土料理、石号の里
石見神楽 わさび学習 伝統料理(わさび・鮎) 自然体験 縄文体験
とち餅
美濃地屋敷、新槇原遺跡
まち全体
青野山・地倉沼・まち全体
青野山、千倉沼、里芋
町内健康ウォーク、あじさい、蛍、しめ縄、そば打ち、とんど焼き
御嶽城址登山
昔の遊び 高津川 天領日原
鮎まつり花火大会 しめ縄 盆おどり とんど焼き
料理教室、高津川の淵巡り
高津川の淵めぐり、食(ワサビ漬け、こんにゃく、とうふ)
津和野城
川あそび(高津川)
自然環境(川遊び・プレーパーク)、野外体験(キャンプ)、伝統文化(餅つき・とんど焼き、伝承料理教室、しめ飾り教室)、世代間交流(あったかフェスティバル)
川、山菜、歴史探検
三郷の里、高津川、多様な地域人材との交流
高津川、やくろ鹿、もったか花園
海遊び、ほたる、田植え、いもがみさま、しめ縄づくり、餅つき、タケシマシシウド
ジオパーク、牧畑、ホテル、摩天崖、廻国、後醍醐天皇、山本旗男、オキタンボボ、ダルマガク、焼火神社、シャラ船
役場や学校に保管されていた古い写真や広報をまとめ、展示会を開催
隠岐の歴史、史跡等の講座
国立公園内の各所、ジオパーク、継承(とんど、しめ縄作り、袴着付け)
さくらウォーク
しめ縄作り、竹細工教室、隠岐蕎麦作り、隠岐島後新四国88ヶ所霊場巡り

(10)次世代の人材育成を主なねらいとした事業の数

No.	人材育成事業数	施設数	%
1	0回	136	48%
2	1～3回	128	45%
3	4～6回	16	6%
4	7～10回	3	1%
5	11回以上	1	0%
	合計	284	100%



[%は、「全施設数」に対する割合]

人材育成事業1施設平均実施回数 **1.1**回

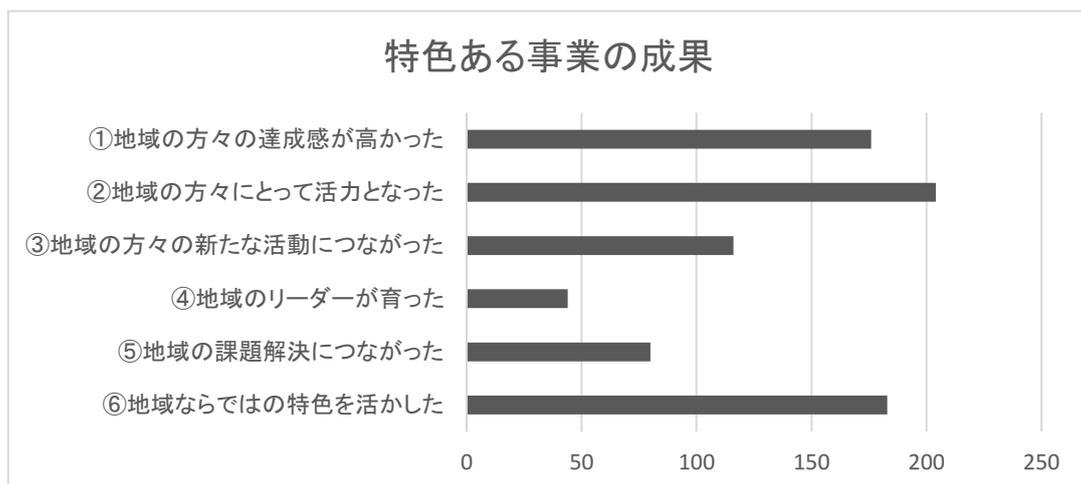
人材育成事業実施施設数 **148**施設

人材育成事業実施率 **52**%

(13)特色ある事業の成果

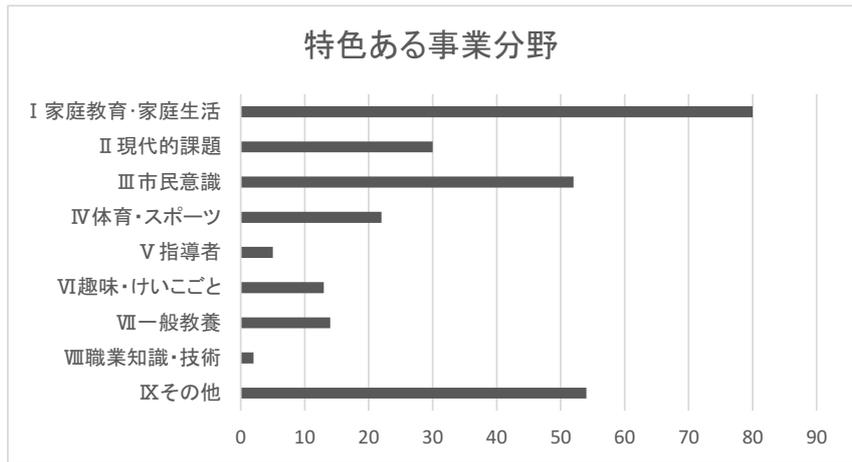
複数回答

①地域の方々の達成感が高かった	176
②地域の方々にとって活力となった	204
③地域の方々の新たな活動につながった	116
④地域のリーダーが育った	44
⑤地域の課題解決につながった	80
⑥地域ならではの特色を活かした	183



(12) 特色ある事業の分野別事業数(各施設1回答)

I 家庭教育・家庭生活	80
II 現代的課題	30
III 市民意識	52
IV 体育・スポーツ	22
V 指導者	5
VI 趣味・けいこごと	13
VII 一般教養	14
VIII 職業知識・技術	2
IX その他	54
計	272



特色ある事業や教室・講座の内容

成果(該当は1)

市町村名	施設名	事業名	事業の目的・ねらい	事業の内容	達成感	活力	新たな活動	リーダー	課題解決	地域ならではの
松江市	城東公民館	母衣小3年生竹行灯づくり(ふるさと総合学習)	・児童と地域住民や住民同士また学校教員との、ふれあい・交流の場と繋がりがりつくり ・大学生ボランティア活動支援 ・地域住民の特技を活かした生きがいの場づくり	・対象:母衣小学校3年生78名 ・講師:地域ボランティア10名 ・サポート:島根大学教育学部生 3名 ・内容:授業の一環として、地域ボランティアの指導により地元の竹を材料として工具などの使い方も指導を受けながらオリジナル竹行灯を製作した	1	1	1	0	0	0
松江市	城北公民館	城北あそび塾	豊かなあそびを通じて、自然と接し、様々な体験を重ね、仲間づくりをすることにより、たくましく優しい子ども達の育成を目指します。	参加対象:小学校4・5・6年生 5月 開講式 7月 サマースクール(宿泊研修) 10月 ハゼ釣り(宍道湖岸) 12月 クリスマス会 1月 雪あそび 3月 閉講式 年間6回程度開催 中学生、高校生のボランティアスタッフの参加もあり	1	1	0	0	0	1
松江市	城西公民館	夏休み応援プロジェクト「夏休みの宿題 いっしょにやろう！」	夏休み平日昼間の子ども居場所づくり。居場所を通して、子ども同士の交流や、様々な体験・学びの場を提供する。	夏休み前半1週間程度(平日のみ、10:00~12:00)実施 ・10:00~11:00 子どもたちが各自持ち込みの宿題に取り組む ・11:00~12:00 日替わりでお楽しみプログラム【日替わりプログラム例】AED講習、ボードゲーム、グラウンドゴルフ、時計作り、水遊び(水鉄砲・水風船)、国際交流員との交流、鑑識体験(島根県警)等	1	1	1	0	0	1
松江市	白潟公民館	白潟地区歴史ウォーク	子どもたちに地域の神社仏閣や茶の湯の文化を学ぶことでふるさとの良さを知ることとする。	・小学生を対象に白潟地区歴史ウォークとして、和菓子店彩雲堂で菓子作りについて学び、白潟小路を巡りながら歴史ある神社仏閣である長満寺と売布神社を見学し、最後に中村茶舗で工場見学をしたのちに抹茶をいただき、地域の歴史や伝統文化を体験しふるさと学習をした。	0	0	1	0	0	1
松江市	朝日公民館	あさひにこにこパーク	地域の子どもたちに遊びの場を提供し、その遊びの中で創造性や協調性、達成感を味わってもらう。また世代を超えてみんなで作り上げる事業とし、地域活性化につなげる。	遊びのブースを自由に回り、各自で楽しんでもらう 屋内…謎解き、ターゲットゲーム、ミニラジコンレース、射的、うちわづくり 屋外…おもちゃすくい・お菓子作り、水あそび スタッフとして中学生ボランティアも募集し、参加してもらう。	1	1	0	0	0	1
松江市	雑賀公民館	学び塾	雑賀の歴史や雑賀出身の先人の功績などについて学び、雑賀の良さに気づき、関心や地域に対する愛着を深める。	「写真で見る雑賀小学校の歴史 パート2」「故吉野蕃人先生を偲んで～私と吉野先生～」楽しく語ろう 雑賀のまち!～」「吉兆行事と『一月一日』の歌」講師:赤木直行館長 「もしものときに役立つ『終活支援ノート』」講師:松江市在宅医療・介護支援センター 錦織梨紗さん 「不動産の相続登記が義務化!～正しい相続の手続きとは～」講師:松江地方法務局登記部門担当者	0	1	0	0	0	1

松江市	津田公民館	津田に七夕通りをつくろう	日本古来の伝統行事である、七夕まつりを次世代へ継承することを目的に実施する。 また、幼稚園・小学校・保護者世代・高齢者が一堂に会し、七夕飾りを一緒に付ける活動を通して世代を超えた交流を行い、地域の活性化を図る。	○笹飾り……約45本の笹竹を用意し、7/7～7/13まで飾る ○笹飾り付け……乳幼児学級、幼稚園、小学校、保護者、高齢者で笹飾りを付ける ○笹飾り約45本を小学校前や幼稚園前などの道路沿いに立て、七夕通りとする	1	1	0	0	1	0
松江市	古志原公民館	布の絵本であそぼう	子どもに布の絵本をとおして布の温かさを肌で感じてもらう	月に2回布の絵本教室(布遊)で作成した布の絵本で、毎月1回布の絵本で地区内の幼児に地域のボランティアの皆さんと遊んでもらっている。地域内の幼稚園、保育園等も参加している。	0	1	0	0	0	0
松江市	川津公民館	夏休みの子ども居場所づくり事業	長期休業(夏休み)期間中、子どもが家で1人で過ごす時間を可能な限り減らす	夏休み全39日中、29日間36事業実施(他団体主催含む) ・国際交流、ちぎり絵教室、陶芸教室、歴史遊覧船、川津の歴史講座、かわつ故郷かるた、高専出張講座、ハーバリウム作り、発電所見学、ペットボトルロケット等 他団体主催 ・小物入れづくり、フラワーアレンジメント、プログラミング、寺子屋等	1	1	1	1	1	1
松江市	朝酌公民館	朝酌夏祭り	ふるさとを愛する関係諸団体が協力して、子ども相撲大会やステージ発表に取り組むことによって住民の親睦・交流をはかり、住みよい地域にすべく開催する。	ステージアトラクション、地域諸団体による模擬店、子ども相撲大会、中学生ボランティアによる運営補助	1	1	0	1	0	1
松江市	法吉公民館	白鹿ほたるの里公園周辺ホタル観察会	法吉地区の白鹿・真山の自然観察会(ホタル観察)をすることで、自然保護意識と郷土愛を育む	法吉地区のシンボルである白鹿山・真山の豊かな自然環境をいつまでも守り続けるための事業のひとつとして、「法吉・白鹿・真山の自然と文化を育む会」と合同で「白鹿ほたるの里公園」を中心にほたる観察会を2回開催した。19:30に集合し、最初30分程度法吉地区で観察できるホタルの種類、生態について話を聞き、辺りが暗くなってきたところで、公園周辺のホタルを観察をした。 親子、家族連れなど各会60人以上の参加があった。	1	1	1	0	0	1
松江市	竹矢公民館	夢の和菓子デザインコンテスト	和菓子の食経験の少ない子ども達に、和菓子のデザインを考えてもらうことで興味・関心を持ってもらい、和菓子の素晴らしさを感じてもらう。 また、和菓子を身近に感じてもらうことで、松江の茶の湯文化への興味・関心に繋げることを目的とする。	対象:小学生・中学生 こんな和菓子があったらとデザインを募集し、和菓子メーカーや地域団体等で審査し優秀な作品は実際の和菓子にして披露する。表彰をおこなう。	0	0	0	0	0	1
松江市	乃木公民館	嫁ヶ島探検	地域の自然・環境や歴史について学ぶ	対象:小学生 講師:環境アドバイザー 内容:嫁ヶ島を探検し、嫁ヶ島の成り立ちや宍道湖の生物、自然環境について学ぶ	1	1	0	0	0	1
松江市	忌部公民館	こうみんかん喫茶	地域住民のつどいの場	・毎月1回開催(平日10:30～12:30) ・誰が参加してもよい。夏休みは小学生も参加。 ・ボランティアによる軽食の提供 ・イベントの開催 ・なんでも相談所・健康相談コーナー設置	1	1	0	0	1	0
松江市	大庭公民館	交流米づくり	米作りをとおして、古代文化発祥の地である大庭地区について学習し郷土愛を育む。食物を作ることの大変さとありがたさを学ぶ。	・小学4年生と地域の方とで米を作る。 ・種まき～田植え～稲刈り～脱穀の作業を行う。 ・できたお米で小学生と交流を図る。	1	1	0	0	0	1

松江市	生馬公民館	名尾が丘まつり	地域住民の学習成果の発表の場、住民同士の交流の場になる	・ステージでの学習成果の発表 ・地域住民の作品、小学校、公民館活動、各種団体の活動を展示する ・団体やPTA、地域住民による模擬店や新米配布などのイベントの開催 ・環境啓発活動として苗木の無料配布、バザー、ペットボトルキャップなどの回収	1	1	1	1	1	1
松江市	持田公民館	ヒルクライム松江北山	地域資源である松江北山の魅力をPRし、交流人口を増やすことで地域活性化を図る。	北山登山道を利用した全長6.1km、高低差400mのコースを自転車で駆け上がるタイムレースを実施。例年70名程度の参加者があり、松江市街はもちろん中四国各県からの参加者も多くあり、令和6年度で6回目を迎えた。運営スタッフも地元住民だけでなく、地域の事業所職員や市内の自転車愛好家など、広域からボランティア参加をいただいている。	0	0	1	0	1	1
松江市	古江公民館	古江地区文化祭	古江公民館を拠点として活動している生涯学習文化教室の学習成果発表をとおして、古江地域の生涯学習の発展と文化の向上を図るとともに、地区住民のふれあいと交流の場となり、ふるさとを愛する心、豊かな心を育むまちづくりにつながることを目的として開催する。	日時：令和5年10月28日(土)9:00～15:30 会場：古江公民館 内容：公民館文化教室の6団体による学習発表、公民館文化教室6団体・個人出品の作品展示、お楽しみ抽選会等 来場者：400名 キッチンカー：4台	1	1	1	0	0	1
松江市	本庄公民館	カヌー体験	中海の水辺の風景とふるさとの自然の豊かさを体感させる。	対象者は本庄小学校の児童と保護者で指導者によるカヌーの安全な乗り方等の指導を受ける。カヌーを楽しみ、中海の自然に触れる。	1	1	1	0	1	1
松江市	大野公民館	大野ふれあい健康まつり	地区の高齢化率が高く、「人生100年時代」を見据え、健康寿命を延ばすためにも、高齢者の健康増進を図ることを目的とする。	・令和5年10月22日(日)大野ふれあい健康まつり開催 松江市の委託事業を受けて実施。保健師、包括支援センター、介護保険課、松江総合医療専門学校と連携して事業を実施 (内 容)フレイル測定会、フレイル調査、健康相談、お口のフレイル相談、松江総合医療専門学校によるタオル体操体験、脳トレ等 (参加者)フレイル測定者41名	1	0	0	0	1	0
松江市	秋鹿公民館	芦尾海岸 ウニ退治	秋鹿地区の魅力を知り、体験学習を通して人材育成を図る。	秋鹿地区の小中学生や保護者、地域の方々を対象にウニの食害により海藻が食べつくされ、磯焼けした芦尾海岸で「ウニ退治」を行う。地域諸団体と連携して実施することで豊かな海洋資源の保護と、地域の魅力を学ぶ機会とする。令和5年度は約50名が参加。	1	1	1	1	1	1
松江市	鹿島公民館	川から海へ大航海in鹿島	地域・世代間の交流を深めるとともに、子どもたちの協調性、郷土愛、自然環境を大切にすることを育む	地区内3小学校の4年生とその保護者を対象として、毎年開催している。地元を流れる佐陀川を手作りのいかだで恵曇港まで下る。事前学習で歴史から安全面のこと、パドルの使い方等を学習し、いかだの修繕、旗づくりをして本番に臨む。地元の企業の協力や、中学生もボランティアとして参加し、地域挙げての行事となっている。	1	1	0	0	0	0
松江市	島根公民館	マリンスポーツ体験	小学生に海のスポーツの体験と救助法を学ぶ	シーカヤックの体験 救助法を学び海での事故を未然に防ぐ 小学1年生から6年生の交流事業	0	0	0	0	0	1
松江市	美保関公民館	マリンハートフェスタ in みほのせき2023	美保関町の地域住民が世代を超えて一堂に会し、生涯学習の発表の場を提供するとともに、住民の交流と地域の活性化を図り、協働してまちづくりに寄与することを目的とする。	・幼児から小中学生、高齢者に至るまで、広く地域住民の日頃の学習成果発表の場 ・地区内各種団体・機関の活動報告 ・人権教育、交通安全、生活習慣病予防などの啓発活動 ・ニュースポーツ、ボート、カヌーなどの体験コーナー ・地元食材などを活かし調理した食品などの加工・販売、も義捐販売等をおとして地域住民の交流と親睦を図る。	1	1	0	1	0	1

松江市	八雲公民館	のびのびやくもっ子	公民館で保育園児・幼稚園児から中学生まで世代を超えた交流の場づくりを構築し、子育て支援の一助になることを目的として実施した。	毎月土曜又は日曜日に、子どもだけ又親子一緒と2つのパターンで実施。 地元の方に講師をしていただいたり、毎年様々な内容で工夫を凝らし企画している。 陶芸きょうしつ・ドローンを飛ばしてみよう！・行灯づくり・こども夏まつり&そうめん流し・バスでおでかけ・DIY親子工作教室・やくも地域ふるさとかるた大会in文化祭 おやこdeてづくりおやつ・親子でスイートポテト&パンづくり・市民憲章かるたとり大会 地区予選会 & クリスマス会・親子で学ぶ救急法・みんなdeおもちつき・親子で花餅づくり	1	1	1	0	0	1
松江市	玉湯公民館	たまゆ文化祭	玉湯地区住民を対象に学習成果の発表の場を提供することにより、地域の文化の発展・振興、青少年の健全育成に寄与し、住民同士の親睦・交流を図ることを目的とする。	サークルや学校等の学習成果発表や展示、中学生とボランティアによる模擬店運営など玉湯町内の団体等が一体となって企画運営する文化祭。	1	1	0	1	1	1
松江市	宍道公民館	生き方トーク@宍道	少し先を行く大人と対話し多様な価値観や生き方に触れることで、自分の生き方やあり方を考えるきっかけを作ったりロールモデルに出会う。また人づくりに関わるきっかけとする。	・中学生と対話役の自己紹介ワーク ・対話役の生き方を知るセッション(ライフチャートを使用) ・感想記入タイム ・ひと言宣言	0	1	1	0	1	1
松江市	八束公民館	いただきづくり	後世に残したい郷土料理「いただき」を次の世代に伝える。また、地域の高齢者世代が教えることで世代間交流にもつなげる。	地元の食生活改善推進員が、「いただき」の由来・作り方を説明後、参加者(親子もしくは児童)と一緒に調理実習をする。出来上がった「いただき」を皆で食べながら感想を述べる。	1	1	0	0	1	1
松江市	東出雲公民館	東出雲ふるさと再発見プロジェクト	・地域の文化資源に光を当て、新たな価値を生み出すことで地域の活性化と愛着のある故郷づくりにつなげる。 ・活動を通じて事業に関わってもらう人を増やしながらか文化資源を守り伝える機運を高める。	・美人塚ふれあい広場整備、景観維持。 ・美人塚花しょうぶまつりの開催。 ・美人塚関連商品の開発	1	1	1	0	0	1
安来市	十神交流センター	縁や縁や企画会	地域の方とイベント企画・運営を行い地域の活性化、人材育成を目指す	イベントのアンケートや企画会のメンバーからアイデア募集をし、話し合いをして整理する。毎年100個以上出るアイデア一覧を交流センター内に貼り出し地域の方が投票を行い、上位のものを企画会会議を重ねて実現していく。企画から関わることで地域の方同士の関係を深め、新しいつながりや活動へつなげていく。企画会メンバーは各イベントでの声かけやおたよりで随時募集を行っている。	1	1	1	1	1	1
安来市	社日交流センター	社日ペットボトルロケット大会	小学生がボランティアの方々にペットボトルロケットの作り方を教わり、世代間交流をし、ロケットを作り上げる達成感を得る。	作成にあたって長年研究を続けておられる「社日ペットボトルロケット研究会」の皆さんと交流センターボランティア団体の「お助け隊」の皆さんが参加小学生が製作する過程でアドバイスをしてくださり、最後にロケットを飛ばして皆で達成感を味わう。 世代間交流にもつながり、毎年恒例となっている。	1	1	0	0	0	0
安来市	島田交流センター	わんぱくクラブ	中海の歴史や汽水域の自然に触れ、ラムサール条約に登録された意義を知り、自然環境保全の意識を醸成する。	・干拓地を廻り、ラムサール条約登録に至る経緯を学ぶ ・中海の魚類、鳥類、植物の調査 ・漂着ゴミを拾い環境問題について考えた	1	0	0	0	0	1
安来市	宇賀荘交流センター	寒の椿展	地域に植えた椿苗の管理を行ったり、寒い時期に椿展を行い地域の活性化に繋げていきたい。	花木の会の会員が育てた椿を、寒の時期に花が咲くように管理し地区内外の方に楽しんで頂くため、寒の椿展を開催している。また、会員が集めた椿の実から絞った油や油を使ったクリームなどを体験していただき良さも知っていただけたらと思っています。このような活動を通じて地域活性に繋がっていただけたらと思っています。	1	1	1	0	0	1

安来市	大塚交流センター	日帰りバスツアー(人権研修)	長島愛生園見学にて人権に関する理解を深めると共に参加者の交流を図る。	貸し切りバスを利用し岡山長島愛生園歴史館に行き、当時のハンセン病元患者の様子を学芸員から説明を聞いた。その後、工場見学へ向かい参加者との親睦を深めた。	1	1	0	0	0	0
安来市	吉田交流センター	吉田ほたる祭り	環境保全に関する研修及び、吉田川の河川浄化を推進することにより、地域住民の環境保全に対する意識の向上を図る	吉田川の河川整備・河川清掃や交流センター周辺の草刈り、環境保全や河川浄化に関するパネル展示。 南小4年生環境学習(ほたるの生息に関する学習、森林の働きに関する学習、吉田川の水質調査バックテストの実施)	0	1	0	0	0	1
安来市	能義交流センター	子どもお話し会	年7回開催していて、各回に協力、想像、創作、交流などのねらいを持って開催している	地区の小学校の1~3年生を対象として、放課後年に7回実施している。簡単な工作、クッキング、読み聞かせなどを通じて、異学年の交流をはかっている。各回には、ねらいや目的を設定していて、それにあう本の読み聞かせや活動などを行っている。時には、地域の方や警察の方などを呼び、子ども達にいろいろな事を教えていただいたり、交流したりしている。子ども達はクッキングをととても楽しみにしていて、みんなで作って食べる喜びにもなっている。	0	0	0	0	0	0
安来市	飯梨交流センター	飯梨川探検	環境保全と青少年の健全育成	飯梨川流域の子どもたちを中心に小学生が参加する事業。水質調査・生き物の観察をすることで、楽しみながら環境保全について関心を高める。また、地域ボランティアの方々と世代間交流を図る。	1	0	1	0	0	1
安来市	荒島交流センター	荒島地区キッズもりあげ隊	荒島地区における人口の高齢化や少子化に対応するため、小学生の世代間交流を通じて、荒島地区住民の地域愛を育み、地域課題の解決に向けた意識の醸成を促す活動を行う。	・荒島地区の小学生を対象とし、居場所づくりや世代間交流を実施する。 ・交流センターキッズもりあげ隊(小学生)の活動を活性化し、小学生の居場所づくりや大人たちと一緒に食事作りを行う子ども食堂などの活動を行う。 ・スポーツゴミ拾いウォーキングや自然体験活動(井尻川探検)。 ・ミニ運動会 など1年間通して行う。	1	1	0	0	1	1
安来市	赤江交流センター	あかえめだかクラブ	子どもの放課後の居場所づくり 世代間交流	・もち米づくり体験(講師協力:寿朗会) ・季節の行事(七夕会、クリスマス&もちつき、バレンタインチョコづくり) ・ミニ運動会 ・文化祭展示用工作 ・夏休み川遊び(安全講習:県社会教育センター)	1	1	1	0	0	1
安来市	広瀬交流センター	ひろせの町の小さなアクション応援事業	地域の方のやってみたいを応援し、地域の活力を高める。	地域の方のやってみたいことに対して、交流センターが軽微な金銭的支援と必要に応じた伴走支援を行う。	1	1	1	1	0	0
安来市	布部交流センター	夏休みわくわく体験(世代間交流)	地域の方に教わりながら普段経験しないことに挑戦する。	自分たちで作った竹の箸とお椀を使ってそうめん流しを楽しんだり、針と糸を使って手縫いでぞうきん作りなど、地域の大人に教わりながら普段出来ない体験をした。	1	1	1	0	0	1
安来市	宇波交流センター	宇波の特産品づくり	宇波の特産品開発、加工を通して女性のよりどころとなる拠点づくり	柚子の収穫 ジャム作り講習会 こんにやく作り 文化祭や他イベントでの販売PR 青空年末市の開催	1	1	0	0	0	1
安来市	比田交流センター	とんど祭	比田交流センター世代交流事業として行い、正月行事の体験、比田地区住民の交流	学校行事として以前行っていたとんど祭を近年行われていなかったため比田交流センター世代交流事業として開催。チラシを新聞折り込みし比田地区住民に周知。竹を立てて正月飾りや習字など持って来てもらい火をつける。餅やすめを焼いたりもしていた。	1	1	1	0	0	1
安来市	東比田交流センター	通学合宿	地域の方との交流や家庭以外での生活体験をする。	・交流センターでの宿泊、炊飯体験 ・地域家庭でのもらい湯と交流 ・食事作りや宿泊を通して地域ボランティアの方との交流 ・防災グッズを使っでの体験	0	1	0	0	0	0

安来市	山佐交流センター	バランスボール教室	地域住民の健康増進	住民の方から「やってみたい」と声が上がりが体験教室を開催し月1回ですが継続して行うようになった。日頃顔を合わせない方との情報交換の場にもなっている。地区外からの参加もあります。	1	1	0	0	0	0
安来市	下山佐交流センター	文化講演会	地元出身の作家に目を向け、郷土の文化人やその作品に想いを馳せ歴史を学ぶ	加納美術館前館長「神英雄」氏を招致し、『広瀬の画家あれこれ』と題した講演会を通じて、地元の文化や歴史を学ぶ。また、同時開催の「堀江友聲 掛軸展」では、広瀬藩お抱え絵師であった友聲をはじめとする堀江家三代の絵を展示し閲覧することにより、地元の文化や歴史について理解を深める。	1	1	0	0	0	1
安来市	西谷交流センター	西谷地区住民大会	地域住民の皆さんに住みやすい地域作りを提供する	劇団おばば座の皆さんに『オレオレ詐欺』の注意喚起や高齢になっても住みやすい地域にするためのアドバイスなどをおもしろおかしくユーモアを交えながらお話いただいた。対象者は全世代だったが高齢者の参加者にも分かりやすくてのしいお話で、元気をいただいた。	0	1	0	0	0	0
安来市	奥田原交流センター	奥田原地区とんどさん	地元宮司の本格的な神事に参加・体験して、古くから行われていた行事の大切さを学ぶ。地域内外から参加者を募り、幅広い世代間交流を図る。	地元宮司と子どもたちによる神事・火入れ。火入れした櫓を囲みながら、焼いたお餅や豚汁をいただく。地元住民の協力を得て、子どもも大人もソリ遊び・雪遊びをで楽しむ。	1	1	0	0	0	1
安来市	普原交流センター	ウエルビクス教室	健康と交流	ウエルビクス体操をした後、みなさんでお茶を飲んでいただき、居場所づくりも担っている。	0	1	0	0	0	0
安来市	安田交流センター	安田要害山ウォーク	体力づくりと地域の親睦を目的として開催している。	体力づくりと安田地区のシンボルである「安田要害山」を地域内外の方を知って頂く機会の一つとして年一回要害山ウォークを開催している。地区内の各種団体の方の協力を得ることで、地域の人のコミュニケーションにも繋がっている。	1	1	0	0	0	1
安来市	母里交流センター	城下町母里のおひなまつり	伝統行事を再認識し、城下町の風情を残した町並みをPRするとともに、地域活性化と住民が主体となった祭りを催す。	国登録文化財住宅・古民家再生住宅・交流センター・各民家に伝わるおひな様や寄贈されたおひな様、てづくりのつるし飾りやてづくり甲冑の展示。町並みを活かして、青竹や生花等で通りを飾り、城下町らしいひなまつりを展開している。また、もりっこ太鼓、伯太太鼓、ジュニアプラスバンド、大正琴演奏などの他、地元特産品のテント村で、子どもから大人まで参加して賑わっている。	1	1	0	0	0	1
安来市	井尻交流センター	ピザづくり体験	人づくりの拠点である交流センターが地域住民とともに地域の課題を掘り下げその解決に向けた学習・実践活動を行い特色ある地域づくりにつなげていく	団体での調理という場を通じて年齢、性別関係なくお互いの意見を聞き入れ、尊重し、同時に自分の意見も発信していくことにより、様々な考え方を受け入れることが出来る人づくり、他人の意見を受け入れ自分の意見も出しながらコミュニケーションができる人づくりを目指す。(活動の始めに三つの約束をする:対象が大人⇒あげあげ(尊重)・そげそげ(協力)・もっともっと(積極的) 対象が子ども⇒みんなで・なかよく・はっけん)地域にある食材・人材を有効に使い事業を行う。	1	0	0	0	0	0
安来市	赤屋交流センター	ふるさと探訪	地元の歴史・文化の理解を深める	玉神社の由緒沿革の説明(大穴持命と出雲国風土記) 医王寺と尼子氏との関係について	0	0	0	0	0	1
出雲市	今市コミュニティセンター	伝えたい日本の文化 出雲神話	地域の伝統文化の継承や青少年の健全育成	万九千神社の宮司さんによる出雲神話の講演 須佐之男の命の八岐大蛇退治について 神楽の衣装と面の着付け体験	0	1	0	0	0	1
出雲市	大津コミュニティセンター	ふるさと文化史跡巡り	市内の文化史跡を視察し、出雲神話や重要文化財を学ぶ機会とする。また参加者同士の交流を図る。	市内の史跡(大寺薬師、木綿街道、康国寺)をバスでまわり説明を受けた。大寺薬師では国の重要文化財である薬師如来坐像等の説明、木綿街道では散策を行い、近世平田の産業、木綿街道成立の説明を受けた。康国寺では借景の美しい枯山水の庭園を見学をした。写真撮影に詳しい部員が指導し、撮影した写真を地域の文化祭などで展示し、交流を図る。	0	1	1	0	0	1

出雲市	塩冶コミュニティセンター	サタデースクールXXIV	子どもの居場所としての役割を果たす 異年齢と共に集団で行動することにより、ただ学ぶだけでなく、仲間意識や連帯感を持ち、助け合う気持ちを育てる 地域の大人から教えてもらうことにより、世代間交流を図る	小学生対象に、囲碁・銭太鼓・カンフー・キッズダンスの4教室(1カ月1~2回) (1回あたり1.5時間)を開講し2月には閉校式を行い学習の成果を発表する	1	1	0	0	0	0
出雲市	古志コミュニティセンター	健康はつらつ教室	・運動してロコモ予防しよう ・子どもも大人も野菜をたくさん食べよう ・身近な人のこころの健康に目を向けよう	毎月1回開催 ・健康体操、脳トレなど健康体操教室の開催 ・健康情報の提供(熱中症、インフルエンザ予防など) ・健康診断の受診勧奨 ・看護師による血圧測定	1	1	1	0	0	0
出雲市	高松コミュニティセンター	米作り体験学習	日本の主食の原点である「米」づくりの一生を体験することで、農作業の大変さと楽しさ、食べ物の大切さ、自然とのふれあい、共同作業の大切さを学ぶ。	対象:小学5年生 1年間を通しての学習 4回シリーズ 地元高齢者クラブ・農業従事者の協力による体験学習。毎回、国際交流員が参加 ・手植えでの田植え体験と現在の乗用田植え機の実演 ・窯を使っての手狩りと現在のコンバインでの稲刈り実演 ・正月用しめ縄づくりの体験(地元高齢者クラブの指導で行う) ・臼と杵でのもちつき体験(地元高齢者の指導と協力あり)	1	1	0	0	0	1
出雲市	四路コミュニティセンター	四路多文化共生ひろば	国籍や民族の違いを乗り越え、共生の心で誰もが認めあい支えあえる地域社会をつくる	外国籍の親子と日本の親子が日本の伝統的な遊びやおやつ作りを通して交流をする。	0	0	1	1	0	1
出雲市	高浜コミュニティセンター	高浜大文字展&ぼてぼて茶会	高浜地区の宝「大文字」(高浜小開校以来の児童の書画を表装したもの)を展示し、出雲地方の伝統的な軽食である「ぼてぼて茶」をいただくことで、郷土愛を高め、地域の文化的作品の継承意識を高める。	大文字(大正元年~昭和57年度分)の展示会(1週間)とぼてぼて茶での接待 高浜お茶同好会さんの協力でお茶の伝統軽食である『ぼてぼて茶』のお茶席を設けた。	1	1	0	0	0	1
出雲市	川部コミュニティセンター	かわとマルシェ	子どもから高齢者までが楽しく交流し、地域の絆、交流を深める 若手の人材育成	子どもから高齢者までが豊かな自然の中で交流 ・かわと逃走中ゲーム(大人と小学生の鬼ごっこ) ・小学生のチアダンス発表 ・若い世代を中心にした手作り小物等の出店 ・体験コーナー、販売、キッチンカー	1	1	1	1	1	1
出雲市	鳶巣コミュニティセンター	鳶巣の未来を語ろう会	持続可能な地域づくりに向け、地域ぐるみで取り組むビジョン作成に向かい、水津先生の助言をいただきながら鳶巣ビジョンを作成し、様々な年代をととした交流から題解決に繋げること。	鳶巣の未来を語ろう会を年間15回開催。中学生、県大生も一緒に鳶巣の未来について意見交換や交流会など開催した。鳶巣のまちづくりビジョンを作成し、次年度へ繋げた。指導 水津先生(自治会支援アドバイザー)	0	1	1	1	1	1
出雲市	上津コミュニティセンター	ギャラリーかみつ	地域住民の魅力的な作品を展示する。展示期間を長くすることでより多くの地区内外の方にじっくりと見てもらえる。また、隠れた人材の発掘にもつながる。	コロナ禍で文化祭がなく機会を失っていた地区住民に、発表の場として使用頻度の低い和室を利用し展示をしてもらう。展示期間は一団体概ね2週間から1か月とし、チラシや地区内放送、センター報を活用し周知する。展示内容は、浮世絵展、地元出身の画家によるコレクション展、キルト展など。	0	1	1	0	0	1
出雲市	穂原コミュニティセンター	笹巻交流会	穂原伝統の巻き方である「三味線巻き」を継承していくとともに、他地区との交流をしながら親睦を図る。	交流会前日までに笹の葉、イグサ、小麦粉等、必要なものを準備する。 講師2人に加え、地区内スタッフもいっしょになって笹巻づくりを行う。招いた他地区の皆さんもいっしょになって笹巻づくりを楽しむ。できあがった笹巻を食しながら楽しい時間を過ごす。	1	1	0	0	0	1

出雲市	朝山コミュニティセンター	世代間交流「高齢者と未就学児の昔遊び」	少子高齢化の中で、幼児と高齢者が交流する機会が少なくなっており、遊びを通して交流する	対象は、幼稚園児や保育園に通う子供たち 講師は、地域の高齢者 内容は、地域に昔から受け継がれている遊び(コマ回し、けん玉、おはじき、折り紙など)を、地域の高齢者が子供たちに手本を見せ、教え、一緒に遊ぶことを通じて交流を図る。	1	1	0	0	1	0
出雲市	乙出コミュニティセンター	ふるさと継承事業「もち米づくり」	長期にわたり実施してきた継承事業として、街づくりの役割を担う次世代の子ども達にとって貴重な場となり、農業に興味を持ち将来の担い手となってくれることを期待する。	対象…コミセン高齢者部とみなみ小学校2年生児童 高齢者部員が講師となり、田植え、稲刈りの作業を一緒に行う 年末にはもち藁を使ってしめ縄づくり 収穫したもち米を使ってのもちつき大会も開催	1	1	0	0	0	1
出雲市	神門コミュニティセンター	ひとりできるもん	今は、インスタント食品、冷凍食品で簡単に食事が作れる。また、家電の進化で、ボタン一つの操作で家事や食事を摂ることができるなど、便利な時代だからこそ、食の基礎を学ぶ。	お米の研ぎ方、炊飯器の使い方、味噌玉の作り方、おにぎりの握り方を学び、食の大切さとクッキングを楽しむ。 また、講師から食のおはなしを聴く。	1	0	1	0	0	0
出雲市	神西コミュニティセンター	水辺の環境学習	小学校4年生を対象として、神西湖の環境保全について関心を持たせる	・神西湖環境回復プロジェクトの協力により、神西湖に流入する河川の水質検査を実施し、どの河川がどれくらい汚れているのかを調査。 河川の汚れの原因について授業で引き続き学習することにより、神西湖の環境保全について考える。	0	0	1	0	0	1
出雲市	長浜コミュニティセンター	世代交流スキー教室	地区の皆さんに、小中学生の子供たちにスキーを教えてもらい、交流を深める。	小中学生を対象に、スキー教室を開催する。 地区の皆さんの中から指導者になっていただける方をお願いし、スキー体験と技術の向上を図る。	1	1	0	0	0	0
出雲市	平田コミュニティセンター	地域の偉人、石碑を訪ねる清掃活動	郷土の歴史、伝統、文化を大切にすることを育むため、石碑等の学習と併せて、清掃活動を行う。	郷土の偉人の石碑・胸像が数多く存在する地元の愛宕山公園の遊歩道や石碑等周りの清掃活動を有志により実施した。各々が、熊手や鎌、ゴミ袋などを持ち寄り、落ち葉、草、ゴミを撤去した。 また、清掃前後に石碑や胸像にまつわる学習を行い、ふるさとの文化や歴史を再確認する機会とした。	1	1	0	0	1	1
出雲市	瀬分コミュニティセンター	地域みんなで奉仕大作戦	地域の人々が、積極的に学校教育に関心を持ち、協力できる環境づくりとして、誰でもでき、気楽に参加できる体制を拡充する。	瀬分小学校で、困っておられる事柄の調査 参加者を公募し、瀬分小学校PTA役員、小学生とともに校庭の除草作業 農業体験への協力 裁縫、ミンシ学習時の補助	1	1	0	0	0	1
出雲市	国富コミュニティセンター	ほんそごスクール	国富小学校の就学生を対象に普段の生活ではできない体験や活動を通じて、健全な青少年の育成を目的としている	「ほんそごスクール事業」として年間を通じて活動を展開する。 ■実施期日：令和5年4月～令和6年3月 ■対象・参加者：小学校に在籍する児童 【4月】餅つき→旅伏山登山 【5月～12月】田植え→稲刈り→しめ縄づくり 【6月～11月】サツマイモの苗植え→芋掘り→焼き芋パーティー 【7月～8月】サマースクール7月・8月(夏休み子どもの居場所づくり体験活動) 【4月～3月】ふるさと学習(年間7回程度)	1	1	1	1	1	1
出雲市	栗田コミュニティセンター	ふるさと魅力再発見	地域の魅力を再発見することを目的とする。	令和4年度までは歴史的な内容で事業を企画してきたが、令和5年度より地区の産業、施設にも目をむけ事業を行った。 地区内事業所3カ所見学。 それぞれ事業所の方から説明を受けた。	1	1	0	0	0	0
出雲市	鱒淵コミュニティセンター	わにっ子勉強会	鱒淵小学校児童と鱒淵小学校出身中学生との交流。また勉強会後のゲームで行う「鱒淵ふるさとすごろく」を通じ、鱒淵をよく知り、郷土に愛着を持ってもらうことを目的とする。	鱒淵小学校児童および鱒淵小学校出身中学生。 勉強会では中学生が各児童の先生となって教える。 勉強会後のゲームで行う「鱒淵ふるさとすごろく」では、鱒淵をよく知り、郷土に愛着を持ってもらう。	0	0	0	0	0	1

出雲市	多美コミュニティセンター	稲作体験!もち米作りに挑戦	地域の基幹産業である農業を昔ながらの方法で体験することにより、郷土への理解と郷土愛を育む。	さくら小学校5年生が、地元農家の指導により、もち米を手作業で田植えし、成長を見守りながら、収穫時期には鎌による稲刈りを行う。その後、収穫した餅米により餅つきを行い、試食した後菓を使ってしめ縄づくりを体験する。	1	1	0	0	0	1
出雲市	福山コミュニティセンター	とうふ飯交流会	○地域の食の文化伝承 ○耕作放棄地の活用 ○地域住民への健康推進 ○異世代交流	地域のボランティアが耕作放棄地を活用し栽培する大豆を使い手作り豆腐を作り地区民に提供する。 地区に伝わる伝統食「とうふ飯」を風化させぬよう小・中学新入生を招き紹介しつつ共に味わうことで異世代交流しながら食文化を後世に残して行く。	0	1	0	0	0	1
出雲市	東コミュニティセンター	東地区防災のパンフレットの発行	近年線状降水帯の発生と共に風雨災害による避難指示が発令され、地区民の防災意識も高まった。これを機に地区独自の防災パンフレットの作成、全戸配布の実施	自治協会及び災害対策本部また各団体より検討委員会を設置、意見集約し、全戸配布用に作成した。	0	0	0	0	1	0
出雲市	北浜コミュニティセンター	地域の野草を探してみよう	身近にある食べられる野草を探して自然観察をしながら地域の自然に親しむ	日時 8月30日(水) 講師 地域おこし協力隊 朝枝尚子氏 美保町の田々神社周辺で自然観察をしながら野草(ヨモギ、ドクダミ、クズ、ミツバ等)を採取し、食用となる野草を美保集会所に持ち帰り調理をしていただきました。	1	0	0	0	0	0
出雲市	佐番コミュニティセンター	サマーキャンプ	体験を通し、地域の特徴魅力を発見し、ふるさとへの愛着心を育む。	対象は、小学生。中学生もボランティアとして参加。 赤浦海岸へ行き、海水浴、水上ゲーム、クリーン活動を行った。 モルック体験、体育館でドッジボールなど行った。 宿泊しない児童帰宅。 朝食作り、館内清掃。	0	0	0	0	0	1
出雲市	伊野コミュニティセンター	子ども防災キャンプ	避難生活体験型の防災キャンプを通じて、子ども達の防災意識の高揚ともしもの時の対応力を身につける。	・夏休み期間に開催された「国際ワークキャンプ」を利用して、国内外の学生と伊野小学校の児童が交流しながら1泊2日で開催。 ①屋内用パーテーション、段ボールベッドなどの避難所機材の組立てや利用体験 ②夕食は非常食を中心にした避難所様の食事を体験した。 ・共同作業で屋外(校庭)にキャンプ用テントを数張り設置し、夜は班分けしてテント泊を体験した。	1	1	1	0	0	0
出雲市	須佐コミュニティセンター	そうだったのか!いいにえふるさと講座	佐田地域の歴史を振り返り、地域の良さを再発見し、ふるさとに自信と誇りを持つ事。	・出雲市文化財課主任を迎え、田儀櫻井家と佐田地域のたたら製鉄について講演会 ・八雲立つ風土記の丘所長を迎え、須佐高槽城などの山城から戦国乱世について講演会 ・万九千神社宮司を迎え、神在祭・八百万の神について講演会 ・荒神谷博物館館長を迎え、出雲弁の魅力について講演会	1	0	0	0	0	1
出雲市	窪田コミュニティセンター	くぼた防災事業	非常時の活動の徹底を図るとともに、住民の防災意識の向上・維持を図る	①災害時防災班緊急連絡網の更新、防災用品点検等の呼びかけ ②豪雨災害を想定した非常通信訓練の実施 ③各地区による避難行動訓練の実施 ④窪田地区防災学習会の開催	0	0	1	0	1	1
出雲市	多伎コミュニティセンター	指導者育成講座「そば道場」	人材育成をとおして地域活動の指導者育成をめざす。	日時:令和5年12月3日(日) 会場:キララコテージセンターハウス多目的室 参加者:19名(内、講師2名) 講師:古志そば同好会1名、町内指導者1名 内容:年末の年越しそばを家庭で実践するためそば打ち道場に参加する方が増えている。初心者の参加者が、講師の方の丁寧な指導でそば打ちに取組んだ。	1	1	1	1	0	1
出雲市	湖陵コミュニティセンター	コミュニティカフェ	コロナ禍で分断された人同士のつながりを取り戻し、他人との時間を共有することで得られる安心感、開放感を感じる中から連帯感や精神的な居場所となることを目指し、支え合える地域づくりを図る。	奇数月の最終月曜日10時～12時限定で5回開催、50席準備。参加は自由。 有料の飲料(コーヒー他)で、各テーブルで仲間同士や知らない者同士でおしゃべりを楽しむカフェ形式。 時には30分程度のミニコンサートを開いたり、保健師による健康相談等の場としても活用するが、義務感や負担感の無い交流の場として参加者が外出を楽しみにすることから始めている。	1	1	1	0	0	0

出雲市	健康ハイキング	健康意識の向上、地域住民や世代間の交流を図る	県内、県境のハイキングコース約6～7kmを参加者で歩く。参加対象は地域住民で毎年幅広い世代60名前後の参加がある。ハイキングでは交流ゲームも行い地域住民や世代間での交流を図っている。	1	1	1	0	0	0
出雲市	9講座の開設	地域の課題を地域の人たちが自ら解決するための学びの支援	ふるさと探訪講座・ほのぼのくらぶ(乳幼児と保護者対象)・大槌おどりをおぼえる講座・食を楽しむ講座・元気を食べる講座・花を楽しむ講座・合歓の会(童謡唱歌を楽しむ講座)・軽スポーツを楽しむ講座・こどもと暮らしを楽しむ講座 上記9講座が、自主的自発的な学びを毎月一回、年間を通して行う。その学びの成果を地域に還元するため、学校支援ボランティア・地域ボランティア・自主企画事業(地域に呼びかけて実施する生涯学習的な事業)の開催をしている。	1	1	1	1	1	1
出雲市	探して食べよう春の七草	郷土の自然に学び、故郷に伝わる伝統文化を次世代へ継承する	七草の説明、地区の畑で七草摘み、七草についての話、鳥追い行事、七草粥、蕨の試着	1	1	0	1	1	1
出雲市	第1回日御碕ゆかりの前原一誠講座	全国でただ1カ所、維新十傑 前原一誠を顕彰している日御碕地区として、前原一誠の地域との結びつきや足跡、業績を学ぶ。	①宇龍港など前原一誠ゆかりの現津見学 ②「前原一誠之碑」前で詩吟披露 ③地元有志で作成した紙芝居「前原一誠と島根」の公開 ④講演「日御碕から前原一誠を再評価する活動が始まった～その歩みを振り返る～」 講師：宍道正年さん(前原一誠を再評価する会世話人)	1	1	0	0	0	1
出雲市	うさぎの海を楽しもう	海水浴・シーカヤック等の体験を通して、青少年の健全育成や参加者同士の交流を図ると共に、自然にふれることで郷土に愛着と誇りをもつひとづくりを図る。	小学生の夏休み期間を利用し、地区内の海で海水浴とシーカヤックの体験をする。	0	0	0	0	0	1
出雲市	羽根の盆踊り継承	出雲市無形文化財「羽根の盆踊り」の継承。子どもたちに指導することで次世代につながることを目的としている。小学校との連携や地域指導者との交流を図る。	・事前調整会議 ・参加児童募集チラシ作成と配布 ・盆踊り練習(夏季休業期間約15日(コミセン集会室)) ・各種イベント参加(神話祭り、荘原夏祭り等) ・事業反省会	0	1	0	0	0	1
出雲市	5,000人の出西 元気！やる気！シンポジウム'23	小中学生が出西の将来像について調査・発表を行い、より良い地域づくりを目指す。	第1部 リレートーク 小中学生5組(10人)が地域の特産品や農業、交通、環境などについて調べたことを発表し、地域の将来像や夢を語る。 第2部 意見交換 第1部で提起された将来像などについて、小中学生とフロアの大人たちが意見交換し地域の振興策を探る。 出西地区自治協会と共催実施した。	0	1	1	1	1	0
出雲市	早期健康ウォーク	健康増進を図るとともに、参加者の親睦を図る 地元を歩くことで地域の良さを再発見する	・早期6時30分に出発するウォーキングイベントで恒例行事となっている。 ・令和5年度は修理が終わったばかりの山田橋を経由し、途中、延命寺に立ち寄り、福田住職から延命寺の歴史についての講話を聞き、約5kmのウォーキングを行なった。	1	1	0	0	0	1
出雲市	斐伊川遊び	地域の子どもたちがふるさとの自然を肌で感じ、その大切さや守っていかうとする心を育む。	小学生親子を対象とし、斐伊川で生き物探しや砂鉄取りを行う。 指導者に水の危険防止について学ぶ。	1	0	1	1	0	1
出雲市	ブラジルの文化とやさしいポルトガル語	地区内に外国籍住民が多く暮らしていることから、外国の文化や言葉に触れる機会をつくる。	対象:直江地区住民(外国籍、日本国籍問わず) 講師:チアゴ・カナグシクさん(ブラジル国籍、出雲市国際交流員) 内容:ブラジルのお菓子を参加者で作って試食。 チアゴさんよりブラジルについてのお話(言葉、文化、国土について、日本との関りについて、他)	1	0	1	0	0	1

出雲市	久木を知る学習会～子どもたちに伝えたい戦時下の久木～	戦時下の様子を伝える建物等を訪ね、先人の想いにつれる	対象：地域住民 講師：宍道年弘氏（荒神谷博物館企画監） 佐々木俊教氏（覚専寺住職） 内容：郷土誌「ふるさと久木」を活用し、戦時下での様子を知る。	0	0	0	0	0	0	1
出雲市	出東たなばたまつり	子どもたちにかつては自治会単位で行われていた、たなばた祭りを体験してもらい、夏休みの思い出づくりとしてもらうため。	コミセンを会場に、地区社協やPTA、郵便局、漁協しじみ会など多くの団体が屋台を出店し、さながら縁日のような雰囲気醸成。屋内では、大ビンゴ大会や怖い映画の上映などを行った。メインの短冊飾りやたなばた太鼓のチャレンジなど盛り沢山の内容で実施した。前年度初の試み。	1	1	1	0	0	0	1
雲南市	世代間交流カルタ大会と抹茶を楽しもう	カルタや抹茶の文化に親しむ	祖父母、親、子、あるいは地区内居住の異国籍の方に案内し、カルタや抹茶を楽しみながら異世代異文化交流の機会とする。カルタは出雲弁を使ったものとした。	0	0	0	0	0	0	1
雲南市	春殖地区新春子どもカルタ大会	カルタを通して大東町の歴史や施設などいろいろな事を知り、ふるさとを誇りに思う青少年の育成のため	毎年定例で1月5日に開催、小学生以下対象2名1チーム。郷土カルタ「わたしたちの大東町」を使用。	0	0	0	0	0	0	1
雲南市	しまね健康寿命延伸プロジェクト事業	健康寿命を延伸できるように減塩活動やウォーキングなど運動の習慣化ができるよう活動をしている。	・減塩を意識するため、減塩週間を設ける。 ・ウォーキングを習慣化ができるようマップを作成したり、歩数（距離）による意欲付けをする。 ・地区ウォーキング大会や丸倉山健康登山の実施	1	1	0	0	0	0	0
雲南市	こども、地域の見守り活動	通学児童・地域住民の見守り支援活動	地区住民を対象にボランティア活動となる青色回転灯パトロール隊員を募集し、児童の通学時間帯に1日2回隊員が交代で通学時の見守り活動を実施するとともに、合わせて地域住民の見守り活動も実施しており、5年度は19名の隊員で年間411回の地区内パトロールを実施することが出来、安全で安心な地域づくりにも貢献している。	1	1	1	0	1	0	0
雲南市	みーもスクール	子供たちが生活するうえで山がどんな役割を果たしているか等を学ぶ	○座学により山の生態系や役割について学ぶ ○ノコギリを使い伐倒体験と気を使ったモノづくり ○講師は林業関係者	0	0	0	0	0	0	1
雲南市	研修・啓発活動事業「男の健康道場」	主に地区内の男性を対象とし、医師、保健師の講演を聞き、日々の健康についての意識を高めてもらう。	・雲南市健康福祉部と雲南市立病院、久野地区振興会福祉部が連携し講演内容を計画、立案 ・令和5年度は、11月10日（金）開催、雲南市立病院の医師1名の講演、および雲南市の保健師3名の医療についてのゲーム等を行った。地区内参加者は48名だった。	0	0	0	0	0	0	1
雲南市	地域の担い手育成事業（神楽体験と交流会）	子どもたちを対象に、地域に伝わる神楽の体験をとおして、伝統文化の継承を図る	神楽社中に指導を仰ぎ、衣装や笛、太鼓に触れたり、舞の動きを学んだ。中学校神楽部と小学校神楽クラブの支援に繋がった	0	0	0	0	0	0	1
雲南市	高齢者活動・学級（継続活動）	地域の歴史・文化など、地域の歴史や見どころを再発見し、学びの活動を実施する（継続）	【継続的に、テーマに沿って、内容に変化を持たせつつ、繰り返す】●『一日塩田の学校』（寿会活動）地域の歴史・たたら製鉄の時代の暮らしや松江藩との関わり方などを学ぶ ●軽スポーツ・個人競技を行い、健康づくりに資する ●近隣地区との相互交流や学びの提供・学習の受入 ●食と健康・塩分接種注意・成分表と献立	0	1	1	0	0	0	1
雲南市	加茂スポーツDay	軽スポーツの普及を行うことで、どの世代でも参加し交流することを目的としている。	順位を競う、今までの体育大会のスタイルを変え、「どなたでも」の参加型にした。団体戦の「大縄跳び」「ゆるスポコーナー」「ストラックアウト」「オリエンテーリング」「50m走記録会」を実施した。	0	0	1	1	0	0	1

雲南市	八日市交流センター	露店出店事業 (たこ焼き販売事業)	会の自主財源確保及び地域の賑わい創出	・昨年度から始めた事業であるが、令和5年度は、更に事業拡大を進めていった。他専門部のイベント事業へのコラボ出店や地域のお祭り等に積極的に出店し、地域でも認知もされるようになってきており、他地区からも出店の依頼が増えてきている。また、事業の売り上げは、年間50万円弱を計上している(但し食材等の高騰で利益率は減少)	0	0	1	0	1	1
雲南市	三新塔交流センター	福祉・多世代交流 クリスマス会	地域住民すべてを対象として、交流の場を提供し、世代間の福祉交流の促進を図る。	★地域住民の高齢者から子ども・未就学児まで多数が集い、クリスマス会の交流を通じて連帯の意識醸成を図った。 ★地域住民75名が参加。(子ども27名が参加) ★子どもたちが司会。ケーキづくり ★保護者、ボランティアスタッフによるもてなし食づくり。会場飾りつけ。 ★連携した作業環境を構築したことにより、助け合いの機運向上。	0	0	0	0	0	0
雲南市	新市交流センター	フィットネス新市	高齢者のフレイル予防	手足にウエイトを装着して音楽に合わせた筋肉体操、週1回実施。	0	1	0	0	0	0
雲南市	下熊谷交流センター	交流センター 子ども週間の実施(4日間)	子どもの様々な体験活動を通して、子どもの心情・意欲・態度を狙いとして保護者、地域の人たちとの交流を実施する事業	そうめん流し・・・竹切り、竹箸・器づくり。 子どもの陶芸教室 学習支援	0	0	0	0	0	1
雲南市	斐伊交流センター	世代間交流	世代間交流及び伝統文化等の継承	○地域の史跡探訪(城名樋山):中世の地域の歴史について学んだ。 ○地域内に設置された公共施設の訪問(浄化施設):水環境の大切さ「下水道のしくみ」について学んだ。	0	1	0	0	0	1
雲南市	日登交流センター	豆腐、味噌づくり体験	小学生の子どもたちに豆腐づくり体験させることによって、郷土の味、農産加工について学んでもらう。	地域住民の豆腐づくり名人5、6人と寺領小学校低学年とでいっしょになって、小学校で作った大豆を使って豆腐づくりを行う。大豆を茹でることからはじまり、途中でできた豆乳や湯葉も食べてみる。また、味噌づくりは小学校高学年を対象に地域の方と一緒に学校で作った米と大豆を使って味噌を作り、半年後にできた味噌を給食や家庭科の学習に使う。	1	1	0	1	1	1
雲南市	西日登交流センター	高津公園まつり	地域の伝統行事の継承・地域振興・ふれあい交流	・高津天満宮祭典(歴史の継承) ・盆踊り、神楽、灯籠飾り(文化の継承) ・ふれあい広場(若い世代の企画・運営) ・ちびっこ広場(中学生が企画・運営)等の計画をした。	1	0	0	1	0	1
雲南市	温泉交流センター	女性学級	仲間づくり、男女共同参画などの啓発、相互の情報交換	趣味の教室、視察研修、講演研修会、ふるさと祭りに参加し事業の推進	1	1	1	0	0	1
雲南市	三刀屋交流センター	第13回 サマーキャンプ	自然の中で共通の生活体験や直接体験を通して、自然に親しみ自然を愛する心や基本的な生活習慣、規範意識・責任感などを育むとともに、自主性や自立心を養い、学習意欲とコミュニケーション能力の育成を図り、併せて支援ボランティアスタッフとの「ふれあい」をとおして、世代間交流を深める効果を期待する。	三刀屋小学校4年生対象で、2泊3日の体験をする。	1	0	0	1	1	1

雲南市	鍋山交流センター	自家用有償旅客運送事業 住民の移動支援: 走れ『よりそい号』	・時間に縛られることなく、地区内のちょっとした距離の移動サポートができる柔軟な移動方法として利用してもらう。 ・移動の不便により外出困難者になる地域住民が安心して、もっと躍動的な活動が出来るよう移動支援を行う。	・運送車両2台 ・運送地区: 鍋山地区限定 ・旅客の範囲: 65歳以上で運転が出来ない方(困難な方) ・運転者: 交通空白地有償運送運転者認定講習を修了した者(8名) ・対価の額: 1乗車 300円 令和4年度利用者件数288件 → 令和5年度利用者件数497件	0	0	0	0	1	0
雲南市	飯石交流センター	永井隆博士生い立ちの家活用事業	永井隆博士生い立ちの家の活用を通じて博士の「平和を」の精神を発信し地域の誇りにつなげる	地域内外からの見学、ライトアップなどを行った。また生い立ちの家を定期的に開放し、来場者に博士について知ってもらい、地域交流の場としている。 また活用の取り組みを市内のイベント等で展示を行い「永井隆博士の生い立ちの地」としてPRした。	0	1	1	0	0	1
雲南市	中野交流センター	収穫感謝フェスタ2023	自然豊かな地域で、より確かな農業生産ができる環境づくり、文化的で活力と笑顔あふれる地域づくりの実現を図る。	1. 開催時期: 11月の第2週の日曜日(野菜、穀物、果物、林産物などの収穫期) 2. 開催場所: 旧中野小学校(体育館・1階教室) 3. 催し物: ①農産物の展示・販売 ②文化作品展(書画・写真・手芸・生け花など) ③ステージイベント(中学校吹奏楽、中野神楽、抽選会など) ④特設うまいもんコーナー(各種食べ物・飲み物) ※地区の人口の約半数が訪れる大きなイベントである。コロナ禍により中止や縮小して開催していたが、久しぶりの本格開催で地域の皆様には喜んでいただいていたと思っている。	1	1	0	0	1	1
雲南市	吉田交流センター	身近な人権について考える	身近でできることからやってみようという意欲につなげる。見方や考え方をさらにひろげていくヒントをつかむ。	対象: 地域の住民 講師: 地域出身中学校先生 内容: みんなが笑顔で過ごせる地域をめざして開催した。少数のグループにわかれて映像やイラストを使い話し合いや気づきを書きこんだり、自分の考えを発表した。	1	0	1	0	1	1
雲南市	民谷交流センター	紫草染め研修	紫根を使った染めの古代手法を教わり、次年度からの事業に備える	紫根の抽出液に布を浸して紫色に染める。その古代に行われていた染めの手法(抽出方法、手順、色の定着方法など)を教わる。加茂町で紫草を栽培して、自ら染めも行っておられる舟木清さんを講師に招いて、交流センター職員、地域で活動するむらさき同好会の皆さん、地区外からのゲストなど総勢11名が参加した。	0	1	1	0	0	1
雲南市	田井交流センター	子ども食堂	食育を推進するとともに、保護者の支援にもなる。「地域」、「子ども・保護者」のつながりを深め、食を通じた「健全な地域づくり」を目指す。	高齢者サロンの方に協力をして頂き、こどもの長期休暇の居場所で「子ども食堂」を月曜日に開催した。保護者の方からは、月曜日だけでもお弁当を持たせなくていいのはすごく助かると好評だった。地域の人、地域でできた野菜で作ったパランスのとれた料理は子どもたちにも好評だった。料理を作ってくださったサロンの方に、子どもたちや保護者の方が直接お礼を言い、「地域」、「子ども・保護者」の良い関係性が生まれた。	1	1	1	0	1	0
雲南市	掛合交流センター	人権研修会	LGBT等の理解	LGBT等の人の割合が10%いる 性の多様性について、性の多様性を取り巻く社会情勢について、医療現場での実態について、発達段階に応じた学習の必要性を学んだ	0	0	0	0	0	0
雲南市	多根交流センター	獣害対策	地区内では有害獣の目撃が多く報告され、農産物が被害に遭っている。その被害防止を検討する。	・猟友会と情報交換を実施し、協定締結内容の支援を行った。 ・他組織と合同でサル追い払いに使用する煙火取扱研修を開催した。他組織とは定期的に情報交換を行っている。 ・獣害対策として畑に竹マルチを設置し、さつまいもを栽培した。収穫には地域の小学生以下の子どもが、保護者と共に参加した。収穫したさつまいもを使って地域の収穫祭を開催し、栽培方法の告知や交流を図った。 ・高校生の地域学習において、獣害対策の検討を一緒に行った。	0	0	0	0	1	0
雲南市	松笠交流センター	まつかさっ子サークル	地域の子供たちが学校以外で地域の人との交流・自然・文化など地域を学ぶ取り組み	毎月1回、小学生対象としたサークル活動。小学校が統廃合したので地域の子供だけのつながりや地域の人とのつながりが切れないようにしている。工作や鮎のつかみ取り・川遊びなどをやる。多世代交流にもなっている。	1	1	0	0	0	1

雲南市	波多交流センター	伝統文化伝承事業	伝統文化の保存、継承及び担い手育成	地区内の若い世代が中心となり、伝統文化である「はやしこ」を奉納する仲間を集め、地区出身者や地元高校生の参加により盛大に奉納することができた。取り組みを継続する中で、この伝統文化を担う人材はもちろん、次代の地域を担う人材を育成していきたい。	0	0	1	1	0	0
雲南市	入間交流センター	いるま花田植え	地域の農耕文化伝承と地域の活性化	農耕文化伝承事業として「いるま花田植え」を開催している。早乙女役や苗運び役などに、地域住民、地元高校生、職場、県内外の方々が参加している。「さげ」と呼ばれる役と一緒に田植えの拍子をとる「はやし子」が、この事業を一層にぎやかにしている。	1	1	0	0	1	1
奥出雲町	布勢公民館	ふせっ子チャレンジスクール活動	活動とおして親、家族以外の人とのかかわりの中で社会のルールを知ったり、自分の考えや行動に責任を持ったりするように、社会への自主を促すことをねらいとしている。	布勢小学校の児童を対象に希望者を募り約28名が参加。活動のサポートは基本的に地域に住む住民が行う。活動内容は、はしま作り(稲作体験学習サポーターに感謝を込め)、おおちゃんの旅(八代川源流から到達点となる宍道湖を目指し今年は約21.5km歩き繋げた)、水生物観察、英語学習、布勢を歩く、奥出雲十名山登山、ミニ門松作り(民生委員と独居家庭を訪問手渡す)、感謝祭(お世話になった地域の方を招待し交流(グッズ作り等事前準備から当日の片付けまで子ども達で行う))。	0	0	1	0	0	1
奥出雲町	三成中央公民館	炭焼き体験事業	奥出雲町はたたらの街と言われている。昔からの製法でたたらをするには炭が不可欠であり先人は炭焼きを生業としていた。最近では炭を焼かなくなり山が荒れてきた。山を守り環境を守るためにしえの昔に思いういこめ子供達に伝える。	①三成小と高尾小学校4年生の児童が交流を兼ね、地域で炭焼きをしておられる「やま子会」のメンバーとの世代間交流をしている。メンバーの指導の下、炭焼き体験をする。原木を窯に並べ入れる作業から行い、昔の人の体験を話しながら満杯になったら火入れを行う。 ②後日窯から済みの搬出を行う。搬出した炭を使いやすい長さに切り袋詰めをする。	1	1	1	0	0	1
奥出雲町	亀高公民館	ゲートボール教室	異年齢間の交流を図りニュースポーツに親しむ。	小学校のクラブ活動の一環で取り組みを行った。ニュースポーツ(ゲートボール)に親しみ、ルールの理解、技術の向上を通じ地域での交流に繋がる事業となった。	1	0	1	0	0	0
奥出雲町	阿井公民館	唐墨城跡登山(学校振替休業日事業)	地域の豊かな自然(史跡)に触れることを通して、地域に関心を持ち地域への愛着を育む。	小学校の振替休業日にあわせて、地域の方を講師に様々な活動を実施している。唐墨城跡登山は、子どもたちに人気の活動で、幼児から高齢者まで、安全に登山ができる。毎年、「唐墨城跡を楽しむ会」の会員の皆さんが、登山道の整備や山頂広場に設置されている遊具の点検・整備をされている。	0	0	1	0	0	1
奥出雲町	三沢公民館	鎧兜づくり教室	当地区では要害山・山城祭が毎年5月に開催され、戦国時代にこの山に城を構えていた三澤氏を偲んで小学校と幼稚園の子ども達が手作りの甲冑を着て武者行列を披露します。こうしたことから鎧兜に関心が高い人が集まって、鎧兜づくりを行う。	対象:成人 講師:前年度この教室で鎧兜を製作した人 内容:甲冑の各部位を形成する紙製パーツの加工・組立・塗装を行う。装飾用の紐や飾りを追加して完成する。甲冑の構造やデザインについて学びながら、ものづくりの楽しさを体験する。	1	1	1	0	0	0
奥出雲町	鳥上公民館	とりっこベース	夏休みの見守り活動。自然に親しみ友達とのふれあい、夏休みの宿題の取組、遊びや勉強のメリハリのある時間を過ごしてもらおう。また、学校や家庭とは違う環境で団体行動やふるまい向上を身につける。	*木次線に乗って布勢に行き、オオサンショウウオ観察会と布勢っ子との交流 *勉強、水遊び、ゲーム、昼食を自分で作る *英語で遊ぼう(ジオさんに指導してもらおう)、ピザ作り、映画鑑賞	0	1	1	0	0	0
奥出雲町	横田公民館	月見のお茶会	日頃の茶道の練習の成果を発表する場として月見のお茶会を行い、中秋の名月と抹茶を味わい、ふるさと横田のよさを体感する。	*お月見コンサート(横田中学校吹奏楽部、横田高校吹奏楽部) *お茶席(和菓子和抹茶のおもてなし) *月の観望会(雨天中止)	1	1	0	0	0	1

奥出雲町	八川公民館	通学合宿	地域の方やスタッフ、異学年とのふれあいの中で礼儀や振る舞いを身につけ、自分の役割を自覚する	小学校3～6年生を対象とし、家庭を離れ公民館で合宿しながら小学校へ通学する体験活動。公民館では、食事作りや共同作業を協力して行い、そこから課題を見つけ、自分たちでその課題を解決しながら生活する。日々の生活が当たり前と知っている子供たちが生活を営むことの大変さ、他人と上手くやっていくことの難しさを体験する。(支援者:地区振興会・若者会・婦人会・PTA)	0	1	0	1	1	1
奥出雲町	馬木公民館	馬木公民館子ども神楽	馬木地区の伝統芸能の伝承	小学校に協力の下、児童5年生・6年生全員による神楽伝承活動で、地元の小森神楽保存会の指導を得て6月から11月の地区文化祭発表まで毎週水曜日(夏休みは除く)に練習をして9月1回・10月1回・11月1回披露をする	1	1	0	0	0	1
飯南町	頓原公民館	とんぼらサロン だんだん	住民交流・高齢者安否確認・高齢者いきがい対策	テーマ:健康・地域の安全・防災・引きこもり防止 毎月第1第3水曜日10:00～12:00	1	1	0	0	1	1
飯南町	志々公民館	家庭の味まつり	家庭の食卓を通して、食文化の伝承と交流を図り心豊かな暮らしを考える。	①中学生による地域の食文化についての研究発表 ②外部講師による講演会 ③食生活改善推進協議会協力による食の提供 ※本来は、家庭の味一品をエントリーし当日持参、講演が終わった後会食交流だが、コロナ感染症に配慮して形を変えている。	1	1	1	1	0	1
飯南町	赤名公民館	銭太鼓教室	伝統文化伝承 及び 学年間の結びつき	1回が3日間の銭太鼓教室を年2回開催 銭太鼓を伝統文化を継承していくことと合わせ、上級生が指導者として成長し、下級生に指導していく方法を伝統としている。毎年のお盆に行う盆踊り大会で町民に披露する。	0	0	0	0	0	1
飯南町	来島公民館	きじま里山講座	地域住民のニーズに合ったそれぞれの学びの講座を提供する。	年間を通して3つのコースで講座を開催。歴史コースでは国宝松江城の魅力として座学を行い、別日に現地での研修。食文化コースではしばもちづくりやそば打ちの体験。自然・環境コースでは赤名湿地帯、中山間研究センターの協力で鳥獣害対策、三瓶自然館から職員の方に来ていただき、ホテルの観賞会など他団体と連携しながら講座を開催している。	1	1	0	0	1	1
飯南町	谷公民館	谷地区町民体育大会	老若男女が各競技に参加し、誰もが無理なく楽しく参加できる体育大会	・3チーム(塩谷・井戸谷・畑田)で勝敗を決める。今年度から誰もが参加できるようにと、年齢制限も男女の区別もなくして行った。競技に参加できなくても、大会の開会式に参加しただけで、得点が入る仕組みもある。校庭が芝生になったのもあり、競技内容も一部見直しを行った。今年度は70回の節目の大会だったので、公民館のオリジナルタオルを参加者全員と谷地区在住の方に配布した。大会後はチームごとに直会を行った。	0	1	0	0	0	1
浜田市	浜田まちづくりセンター	チャレンジキャンプ! 冒険中学生2	中学生の居場所作り、地域資源の再発見、中学生同士や地域の大人との交流 自分たちで考え、他者と創意工夫して活動する	9月11日(月)中学校の振替休日に開催 対象は第二中学校生 地元の海辺で、地元の食材(浜田産サザエ)を使った料理を作るデイキャンプを実施。その後、地元で活動されているライフセーバー(渚の交番be)に協力いただき、SUP体験をした。	1	0	0	0	0	1
浜田市	石見まちづくりセンター	くらしの保健室	身近な地域で大人の保健室として活用。身体の様子を知り運動や食事について学ぶ	・体脂肪・脚力・血管年齢の測定とそのデータを基に健康相談を行う ・「塩ちよっぴり、野菜たっぴり」の料理を試食。家庭で減塩食の意識の向上 ・フレイル予防の体操や嚥下機能の低下防止について、専門家のお話を聞く ・自宅で作るいつものお味噌汁を持参してもらい、塩分濃度を測定する ・食育サツの実施	0	0	0	0	1	1
浜田市	長浜まちづくりセンター	地域学習講座 八朔祭 花作り教室	地域の伝統的な祭りを守るために、地域住民に興味関心を持ってもらう	対象:地域住民 講師:昔から花作りに携わっている地域の方 内容:八朔祭の花の作り方を説明し、参加者が花を作ることで花作りに興味関心を持ってもらう センターで作った花をお宮へ献花することで間接的に祭りに関わってもらう	1	1	0	0	0	1

浜田市	周布まちづくりセンター	もちつき交流会	コロナ禍で希薄化した住民同士のつながりを復活するため。また、地域の伝統行事を守っていくために後継者の育成・地域行事を傳承していくため。	地域住民対象に参加を募集、杵と臼を3基準備。(地域から借用する。)参加者を3グループに分け、それぞれで「搗く人・臼どり」を経験して餅つきを行う。搗き上がった餅をみんなで丸める。出来上がった餅を食べ、交流を深める。	1	1	0	0	0	0
浜田市	大森まちづくりセンター	ひな人形展	伝統的文化の啓発・地域の活性化を図る。地域外の方々魅力を知って貰う。	開催期間中、約400体のひな人形を展示。期間中に、地域の三世代での「ひな祭りの会」をし、地域交流活動も行っている。	1	1	0	0	0	1
浜田市	美川まちづくりセンター	地域の買い物支援事業「美川まちづくり楽市」	地域の課題となってる商店空白地帯における買い物弱者への一助となることや、地域生産者と消費者の交流による地域活性化を推進する。	◇毎月第1・第3土曜日の朝8時から美川まちづくりセンター前を主会場として開催 ◇美川まちづくり楽市実行委員会(会長以下、40代～80代の会員14名)を組織 ◇地域の方が育てた野菜、果物のほか、加工品、手作り品、花、干魚などを安全・安心・安価で販売	1	1	1	0	1	1
浜田市	国府まちづくりセンター	月イチ講座	様々なテーマの学びや体験に参加してもらうことでセンターに足を運んでもらい、参加者同士のつながり作りのきっかけにしよう。	毎月第3金曜に毎回違ったテーマで開催。園芸や料理、軽スポーツなど講師の方に教わる教室に参加者を募って実施。体験した参加者同士でグループができ、センター事業ではなく自分たちで計画・実施していくように促している。	1	1	1	1	0	0
浜田市	久佐まちづくりセンター	みんなの居場所づくり～『子どもあそびDAY』	老朽化でプールが使えなくなり夏休み中子どもの遊び場がないという保護者の声を受け企画。目的は①子どもも保護者も安心できる居場所を作る(見守り)②楽しめる遊びや活動をする(思い出作り)	●対象:小学生 ●講師:センター職員、食改 ●内容:①8月3日こどもあそびDAY①ストーンペイントであ・そ・ぼ! ②8月22日 こどもあそびDAY②手形アートであ・そ・ぼ! & みんなでランチを作ろう③12月26日 冬休みこどもあそびDAY③スノードーム作り&ケーキをデコろう! ※③は夏休みの事業が好評でリクエストがあり冬休みも企画実施した	0	1	0	0	1	1
浜田市	今福まちづくりセンター	第28回七夕茶会	茶道を通して、おもてなしの精神を育むこと。世代間交流の場づくり。	第27回まで夜桜茶会として4月に開催していたが、コロナ禍で中断していた為、第28回七夕茶会として開催。地域の方と茶道サークルが中心となり、3日かけて趣向を凝らした空間(庭園と茶席)を作り上げた。茶会当日は県内外から164名の来場があり、地元の小学生、高校生、大学生の計6名が茶道サークルと協力して茶菓子やお抹茶のお運びを行った。俳句会の作品を展示や、短冊を笹に結ぶ七夕飾りのコーナーでは、来場者同士も会話が弾み、世代や地域を越えた交流の場となった。	1	1	1	0	1	1
浜田市	美又まちづくりセンター	ふるさと学習会	地域の歴史・文化の学習に始まり、近年は地域で活躍されている方や地域住民の関心事について学習する	金城地域6まちづくりセンターが持ち回りで、年2回ずつ開催している。 美又まちづくりセンターでの開催 6月 講師:今福駐在所 渡邊巡査部長 テーマ:「競輪選手から警察官へ」 12月 講師:まるばらまちラボラトリー 岡山令子 テーマ:「小さな店の大きな夢 ～町への恩返し～」	0	1	0	0	0	0
浜田市	雲城まちづくりセンター	子ども神楽体験	地域の伝芸能である神楽の良さを知り、ふるさとの良さを体感する。	雲城地区の神楽社中の協力を得て、子どもたちに神楽の道具作り、衣装を着る体験、実際に神楽を鑑賞する取り組みを実施した。 尊歳、県立大学の神楽同好会「舞濱社中」の協力も得て、指導に当たってもらうことができた。	1	1	1	1	1	1
浜田市	波佐まちづくりセンター	第50回波佐文化祭	日頃の学習や活動の成果を発表。地域の方が一つになって盛り上がる文化的行事。	・昭和49年11月3日に第1回波佐文化祭を開催し、令和5年度で50回目を迎えた以後毎年11月3日が文化祭の日。(令和2年度～4年度はコロナ禍の為、作品展示会のみ開催) ・アトラクション、作品展示、バザー等会場を3か所に分けている令和5年度はバザーは中止し、50回を記念し「赤飯」を参加者に渡した。 ・アトラクションは小学校、保育園、まちづくりセンターが一緒になってプログラムを作成。	1	1	0	0	0	1
浜田市	小国まちづくりセンター	おぐにふるさと学校	自然豊かな環境にふれあう	対象:親子参加型 講師:三隅の星を観る会 内容:年により内容は異なるが、キャンプ、飯盒炊飯、星空観察、川の生き物観察、魚のつかみ取り、タイヤチューブを活用した川下り等で、小国地区の自然豊かさを体感する。	1	0	0	1	0	1

浜田市	今市まちづくりセンター	土曜夜市	今市地区コミュニケーションの場・商店のPRの場	・30年ぶりの土曜夜市を復活・若者主体実行委員会・夜店・イベント・県立大学生との事業実施	0	1	0	0	0	0	0
浜田市	木田まちづくりセンター	泥落とし(+木田さんぽ♪)	健康づくりと郷土料理の調理実習で多世代の交流を図る。	5月28日「木田さんぽ♪」開催。マキシバを採る。 6月4日「泥落とし」角寿司作りとまき作り。昔行っていた泥落としの説明。	1	0	0	0	0	0	1
浜田市	和田まちづくりセンター	ふれあい教室	地域の4団体(まちづくりセンター・子ども会・地区社協・食改)が連携して世代間交流を図る。	子ども会のクリスマス会に合わせてパルーンアートや角寿司づくりを行った。	1	1	0	0	0	0	1
浜田市	都川まちづくりセンター	林道足尾線ウォーキング	住民の健康保持とコミュニケーション	昨年開通した「林道足尾線」を歩き、素晴らしい景観を再発見した。	0	0	0	0	0	0	1
浜田市	市木まちづくりセンター	ほたる増殖研究会	ほたる地域資源として捉えた観光交流、ほたる生息の維持	ほたる博士による増殖についての研修会 ほたる採取 産卵、孵化までの管理 幼虫放流	1	1	0	0	0	0	1
浜田市	安城まちづくりセンター	受け継ごう！地域の味「すし祭」	高齢者が子ども達と「やりたいこと」を企画、実施する。	事業実施者：栃木集落いきいき会の皆さん 参加対象：小学生とその家族 内容：参加者に祭りで振る舞われていた郷土料理「角寿司」、いなり寿司、ロング巻きずしの作り方を体験してもらう 事業サポート：安城まちづくりセンター	1	1	0	0	0	0	1
浜田市	杵束まちづくりセンター	この夏『君が』『地域が』…変わる事業	多世代が参加できるイベントを企画・実施し、子どもや若い世代から高齢者までが繋がりを積極的に作り、お互いが顔見知りの関係になることで、弥栄地域がより一層、安全で安心な住みやすい地域になること、そして地域の伝統文化を継承することを目的とする。	① 日時 令和5年8月26日(土)17時～20時 ② 場所 杵束まちづくりセンター駐車場 ③ 内容 ・ステージイベント…石見神楽(安城神楽社中)、パルーンアート・手持ち花火、打ち上げ花火、噴出花火の実施・露店出店…弥栄のみらい創造会議の各部会、地域住民ほか ④ 来場者 親子連れ、町内住民、町外住民 約400名	1	1	1	1	1	1	1
浜田市	岡見まちづくりセンター	書き写し会	高齢者の閉じこもり防および、脳トレ	新聞コラムを音読したり、ノートに書き写す。文字を読んだり書いたりすることで脳トレにつながり、記事の内容によって社会の様々な出来事を知ることが出来る。また、参加者同士のおしゃべりなど交流を楽しむ。	0	1	0	0	0	0	0
浜田市	三保まちづくりセンター	石州和紙灯ろうまつり	58年豪雨災害を教訓に、風化させることなく次世代につないでいくこと。	ユネスコ無形文化遺産に登録されている石州和紙を使用し、地域の方に絵や災害に対する願いや思いをかいてもらおう。また作成した灯ろうに灯りを灯し慰霊祭を行い、災害があったことを風化させることなく次世代につないでいく。	0	0	0	0	0	1	1
浜田市	白砂まちづくりセンター	しらすなさんぽ 隠れ映えスポット探検！	普段立ち寄らない集落を巡ることで地域の新たな魅力を知る	小学生親子対象。資料作成や当日の案内を集落住民に依頼。また、写真撮影講師をカメラマンに依頼。集落の氏神である妹山神社、その周辺の今浦漁港を巡り、集落住民の案内や説明を聞きながら写真撮影を行った。事業を昼から夕方に設定し、高台から夕陽の撮影も実施。地域の歴史や新たなスポットを知り、郷土への愛着が深まった。	1	1	0	0	0	0	1

浜田市	三隅まちづくりセンター みすみっ子 チャレンジ教室	子ども達に石州和紙の生産工程から作品づくりまでを年間を通して体験し、職人の技と伝統に触れ、三隅町への関心と郷土を誇る心を育てる。	石州和紙会館および楮(こうぞ)生産者やトロロアオイ生産者等の協力を得て、和紙の原料である「楮の植栽」「芽刈き」「刈り取り」「収穫」「色染め」「作品づくり」等の一連の作業を年間を通して体験する。	1	1	0	0	1	1
浜田市	黒沢まちづくりセンター スマホカフェ	スマートフォンの操作に慣れていない地域住民(主に高齢者)が少しでもその操作に慣れ、苦手意識を克服する	毎週1回約90分、特に毎回の学習テーマは決めず、参加者のお困りごとを聞きながらその解決方法(操作方法等)を参加者全員で共有する形で実施。講師はおらず、センター職員がNHKテキストやYoutube動画などを活用して教える。 【実施した内容例】スマホの基本操作(フリック入力など)、カメラの使い方・データの保存、アカウント管理(ID・パスワード等)、アプリのインストール方法、スマホで音楽を聴く方法、SNS(LINE)の使い方 など	1	1	0	0	0	0
浜田市	井野まちづくりセンター いのまる広場	高齢化が顕著な井野地区において高齢者の社会参加は重要なフレイル予防となる。繋がりづくり、居場所づくり、生涯学習の成果発表の場、健康維持、買い物支援	・毎月第1火曜日に開催。基本的に毎回指導者のもと百歳体操を行う。合わせて季節に応じたサロン(ものづくり・音楽・落語・紙芝居・レクリエーション)や作品展。・生涯学習成果発表の場として、サークルの作品販売や展示。 ・健康維持活動として健康相談(血圧測定) ・買い物支援として地元商店の移動販売、地域の野菜等販売、業者販売(魚・大判焼き等)	1	1	1	0	1	0
大田市	大田まちづくりセンター 夏の夜を親子で楽しむ(夏の星空観察)	世代間交流	・小学生親子を対象(子どものみでも参加できるが、必ず送迎をお願い) ・主催:まちセン 協力:町社協、柳ヶ坪シニアクラブ ・オリジナルうちわ作り&よく飛ぶ紙飛行機作り ・シニアクラブさん指導で昔の遊び(こま回し、お手玉) ・みんなで楽しくスイカを食べた後、星空観察(シニアクラブさんによる夏の星空のお話)	0	0	0	0	0	0
大田市	川谷まちづくりセンター 子育てばんざい	まちづくり。子育て世代間の交流と親学を学ぶ。	対象:小学生や保育園児とその保護者 講師:矢田文氏、幸増千世氏 子どもから見た保護者の好きなところをメッセージカードに書いてもらい、クリスマスカードを作成した。	1	0	0	0	0	1
大田市	久利まちづくりセンター さつま芋事業	さつま芋の苗植え収穫作業を通じての文化伝承と三世代交流活動。	地域の各団体と協力・連携し、苗植えから収穫までの作業を、地域住民のみならず町外の老若男女を巻き込んで作業体験する毎年恒例の一大イベント。 収穫後は、中学生を対象に焼き芋づくりをして食育体験もしている。	1	1	0	0	0	1
大田市	大屋まちづくりセンター 林春生 顕彰事業	大屋町に大きく所縁のある作詞家「林 春生」を顕彰するとともに地域の活性化に役立てる	テレビアニメ「サザエさん」の主題歌をはじめ、ヒット曲の作詞をしたことで知られる林春生は、幼少期から少年時代を大屋町で過ごした。彼の多くの功績を大屋町の誇りとして、後世に継ぐほか、町内外に広くPRし地域の活性化に向けた取り組みを行う。	1	1	1	0	1	0
大田市	朝山まちづくりセンター あさやま笑楽校	各種講座や実践を通して地域で活躍できる人材を育成する。	燻製体験やピザ窯づくりなど、地域のイベントで活用できる教室を行った。ピザ窯は今後、地域イベントでの活用や貸出も行う。地域住民が中心となって行事開催ができるように支援していきたい。また、朝山町を楽しくする会では、世代を超えて朝山町を楽しみましょうと参加者が集まった。会を通して新たな同好会が立ち上がるなど、町民中心に活動が活発になってきている。	0	0	1	0	0	0
大田市	富山まちづくりセンター とんどまつり	古くから伝わる伝統行事を通して町民および小学校との交流を深め、高齢者の生きがいづくりにつなげる。	昔から伝わるとんどのグロ作りを若い世代に継承していき、当日は小学生に餅つきを体験してもらい神事にも参加して町民との交流を深めている。	1	1	1	0	1	1
大田市	波根まちづくりセンター 四季のキャンドルナイト	親子・若い世代・三世代交流及び関係交流人口の拡大に向けたまちづくりへの参加意欲を高めるとともに、夏の大型イベント「キャンドルナイトin波根海岸」へ向けての関係人口づくりを目的に試行。	秋:ハロウィンキャンドルナイトin波根 10月下旬実施 対象:未就学児から小学2年生とその保護者 冬:クリスマスキャンドルナイトin波根 12月実施 対象:県内20代~40代の若い世代 春:お花見キャンドルナイトin波根 3月下旬実施 対象:町民三世代	0	1	0	0	0	0

大田市	久手まちづくりセンター	シルバー大学	概ね65歳以上の高齢者を対象とした、教養講座。高齢になっても様々なことに興味を持ち、学び、生きがいづくりに繋げることを目的とする	・ふるさと学習 ・健康づくり ・人権講座 ・落語を楽しむ ・防災学習 など	1	1	0	0	0	0
大田市	島井まちづくりセンター	落語を楽しむ会	地域福祉活動	地域住民の方が落語を通して「聞く力」と「笑い」に関心を持ち、元気な生活の手助けを行う。	0	1	0	0	0	0
大田市	長久まちづくりセンター	長久探検ウォーク	児童・幼児・親子、または一般を対象に長久町の名所・旧跡を訪ね、歴史や文化を再認識するとともに、世代を超えた交流を行う。	親子または一般を対象に「山陰道工事現場」を工事業者の協力で、ウォーキングして親子のきずなを深めるとともに、世代間の交流を深める。世代間交流の推進「若者から高齢者まで交流及び活動できる地域」を目指す。	1	1	1	0	0	1
大田市	静間まちづくりセンター	浜防風せんべい焼き体験	静間町の特産品である浜防風せんべい生産者が高齢化して存続が難しくなっている現状を踏まえ、せんべいを後世に残すため後継者を育てる事を目的とする。	浜防風せんべいが誕生した経緯を生産者の方にお話しいただいた後、静間町の近藤ヶ浜で採れた浜防風を使って、せんべい焼きを体験をし興味を持ってもらう。	1	1	1	0	0	1
大田市	五十嵐まちづくりセンター	防災学習講座	土砂災害の仕組みや怖さを知ってもらう	・防災キッドを使って災害がおこる原因の説明 ・高速道路工事現場での法面工事の視察	0	0	0	0	1	0
大田市	池田まちづくりセンター	池田地区文化祭	地域住民の連帯感を高め、地域への愛着や誇りをもつとともに、豊かな情操を高める。廃校になった小学校を利用しての新たな拠点となる場所づくりの検討	作品展示会、健康相談、地元特産品、野菜等販売、小、中学生による喫茶コーナー、音楽コンサート、防災資機材展示	1	1	1	1	1	1
大田市	志学まちづくりセンター	三瓶そばゼミナール	地域活性化特産品づくり	未来会議の中から地域活性化特産品づくりとして地域住民有志によりそば打ち事業を行う。毎月2回のそばゼミナール、そば打ち体験など	1	1	1	0	1	1
大田市	北三瓶まちづくりセンター	スマホ・パソコン教室	日常生活においてスマホ・パソコンが欠かせない物となっているため、その使い方や便利さを学ぶ。	毎月一回、参加者10名程度の教室を開催。講師は大田市の情報化推進アドバイザー。ITに関する最新の話題、防災、ネット詐欺、写真の加工など内容は多岐にわたる。	1	1	0	1	1	0
大田市	大森まちづくりセンター	ふるさとづくり事業 石見銀山みらい七夕	大森町の現状と未来に対する願いや思いを把握し、次世代へふるさと石見銀山を継承する。	全町民を対象に、ふるさと石見銀山遺跡を未来に引き継ぐ為、石見銀山みらい七夕を実施。七夕に思いや願いを募集し自由に書き込んでもらい、まちセンの笹に飾付けた。飾り付けたのちには、書き込まれた願いの集計結果を文化祭にて掲示し、町民の皆様にも周知した。集計結果から次年度以降この内容を膨らませ次世代参画を促し、ふるさと石見銀山を引き継ぐ活動が出来るよう今後の事業への参考意見も記入してもらった。	0	1	1	0	0	1
大田市	水上まちづくりセンター	夏休みこどもスクール	夏休み中の子どもの居場所づくり。様々な体験活動をおし、異年齢交流を楽しむ。	地元の小学生の希望者約20名とともに、社会教育推進センターの職員の方によるクラフトテープを使った工作をしたり、社協職員の方によるポッチャの体験、全員で役割分担をしながらの昼食のカレー作りなどの体験活動をおし、異年齢交流を楽しむ。クラフトテープの工作については、文化祭で作品や活動の様子がわかる写真など展示し、地域の方にも見ていただいた。	1	1	0	0	0	1

大田市	祖式まちづくりセンター	健康教室(バランスボール教室)	三世代交流・冬季の運動不足を解消し健康寿命をのばす	人口の55%以上が65歳以上であり、町内での通いの場がない現状。冬場の運動不足解消の為、令和2年度より継続して健康教室(バランスボール教室)を実施している。全町民(保育園児～80代迄)を対象として実施。腰痛予防にもなるので、毎年継続して参加して下さる方が多い。	0	1	1	0	0	0
大田市	温泉津まちづくりセンター	女性学級事業	健康作り、仲間作り、閉じこもり防止	地域の女性を対象として受講生を募集し、年間を通して健康講座や手仕事講座、福祉講座、世代間交流などの講座を実施する。必要に応じて外部から講師を招いて実施する。	1	1	1	0	1	0
大田市	湯里まちづくりセンター	通学合宿	児童の自主自立の意識を高めるとともに、地域の人の関りを深める。併せて地域で子どもを育てるという意識も高める。	○児童がまちづくりセンターで2泊3日間、親元を離れて集団生活をする。 ○炊事・掃除を自分たちで計画し、協力して行う。できるだけ大人の手を借りずに活動する。 ○家庭と同じような日常生活を自分で行うことに重点をおく。 ○地域のボランティアの方には当番で主に食事と宿泊と風呂の支援をお願いする。 ○入浴はまちづくりセンター近くの民家へもらい風呂へ行く。	1	1	1	0	0	1
大田市	福波まちづくりセンター	福光海岸の夕日を見る会	毎日見慣れた景色を目線変えれば最高の宝…最高の夕日を堪能しよう	会館うみねこにて、夕日のフォトコンテストをし、和の会さんのカレーライス・中村君のかき氷とタルト・ユリコさんと西矢さんのブラジル料理キャッサバにパステルを堪能し、浜では宝探し、玄関前でメダカ掬い…夕日とともに皆さんが作った竹灯籠を点灯、夕日に染まった海と竹灯籠そして沢悠佳さんの三味線の音色何とも言えない酔いしれるような空間がうまれます。これからも会館うみねこがずっと使えるよう修理していただきたいのが希望でもあります。	1	1	0	0	0	1
大田市	井田まちづくりセンター	井田地区産業文化祭	まちセン事業及び地区住民が作成した作品の展示、石見神楽の上演、テイクアウト商品の販売、健康づくりコーナーの設置など、地域の方が楽しく集える場の創出を図った。	*まちづくりセンターの事業で作成した作品の展示。高齢者学級、女性学級、いだっこらぶ(子供の夏休み支援) *地域の保育園児、小学生、デイサービス利用者の作品を借りて展示。 *まちセンでのサークル活動、高齢者通いの場、地域のサロンの方の作品展示。 *お寿司、梓つきもちなどのテイクアウト商品の販売、地域で製造した焼肉のたれ、竹細工、手作り小物の販売を行った。 *健康づくりコーナーを設け、地区住民を対象に健康測定・健康相談などを行った。	1	1	1	0	0	1
大田市	仁万まちづくりセンター	仁万・天河内の今昔	仁万・天河内の今と昔を調べて、調査・学習し、その成果として小学生向けの研修を行う。	毎週月曜日:例会 夏休み:小学生対象の座学(今年度は紙芝居づくりを計画) 秋:歴史ウォーキング	1	1	1	1	0	1
大田市	宅野まちづくりセンター	文化伝承事業	地域の文化歴史を形として残す(CD作製)	①昔の宅野の風景等を地元の人説明を聞きながら撮影 ②宅野の方言を残し伝えるため、主に70歳代の人が宅野まちづくりセンターに集まり、昔話をしているところを撮影	1	1	0	0	0	1
大田市	大國まちづくりセンター	大國を「紅しだれ桜」のまちにしよう	地域住民を対象に、大國を紅しだれ桜のまちにしよう。	地域住民を対象に、大國を紅しだれ桜のまちにしよう、大國グラウンドを中心に大國全体に桜の苗木を植え定期的に草刈り管理をする。春はさくら祭を開催する。	0	1	1	0	0	1
大田市	馬路まちづくりセンター	特殊詐欺・悪徳商法未然防止講習会	「私は絶対騙されない」の意識をなくし、お金の話は相談してから意識を向上させる	当地区は高齢化率60%の小さな町で、詐欺被害等を未然に防止するため「絶対騙されない」の思い込みをなくし、お金の話は身近な人(子供・兄弟・関連機関等)に相談することへの意識を向上させ、被害にあわないように全住民が意識することにより、安全・安心なまちづくりを目指す。 講師:大田警察署、大田市消費生活センター	1	1	1	0	1	0
江津市	茶臼地域コミュニティ交流センター	はしまのぼ	地区内外の方の談話、情報交換の場	毎週月曜日、午後1:30よりスタッフによるお茶、お菓子の提供、サンピコごうつの野菜、お惣菜の販売。	1	1	0	0	0	0

江津市	椎茸菌植付交流会	景観目的で伐採した木に椎茸菌を植えて世代間交流を図る	園児、児童、生徒と一緒に椎の木、どんぐりの木に穴をあけ椎茸菌を打ち込む。収穫したいだけは道の駅で販売している。	0	0	1	0	0	0	1
江津市	健康祭り・Eスポーツの集い・スマホ教室・浅利のLINE開設等	引きこもりのない生活	会話・交流で地域の一員。携帯でさざりLINE開設。一人でも多く加入してもらう(無料)LINEで「ごうつのかわらばん・駐在所・学校・保育園・まちづくり」の情報がみれる「今日はごみ出し」「まりづくりからのお知らせ」とLINEが入る。今後は各自治会の加入者をもっと増やしていくことです。	0	0	1	0	0	0	1
江津市	マルシェまつひら日和	松川・川平の伝統食や地域で活躍されている飲食店を地域内外の方へ知ってもらう	飲食店の出店数14・地域で活動しているダンスグループ、演奏家やヒーローなど5組がステージにてパフォーマンスを披露。場所は廃校となった旧松平小学校校庭にて。当日は1,000名ほどは来場した。	1	1	1	0	0	0	1
江津市	わくわくウォークラリー	渡津地区を歩きながら渡津のクイズを解き、渡津を知り、健康向上を目的とした事業	教育教養部を中心に企画をし、わたづまつりの日程と合わせて開催。渡津の広報紙やチラシを回覧で全世帯に回し、参加者を募る。当日は当センターより渡津地区内に設置したポイントを回り、渡津についてのクイズに挑戦する。終了後答え合わせをし、参加者全員にポップコーンを配布。	0	1	0	0	0	0	0
江津市	ごうだサタデースクール	子どもの居場所づくり	・前半の学習時間に地域の学習支援スタッフが子供たちに寄り添い学びをサポートします。スタッフが採点し間違いを理解するまで一緒に考えます。 ・後半では子供達の発想を生かし友達と協力したり挑戦したり様々な体験活動を通して創造する力を育てます。	0	0	0	0	0	0	0
江津市	嘉久志町立脳活笑学校	認知症予防を目的とした、しちだ式脳開発プログラムに沿って、脳トレーニングを学校形式で継続的に行うことにより、住み慣れた町で自分らしい暮らしを実現すること。	学校形式で、1週間に一度教室にて(交流センターに来て)コーディネーターの進行によりプログラムに沿って学習する。自宅での取り組み(プリント宿題)もある。3クラス編成で実施している。 【内容】 ・瞑想、手指の運動、絵を見て記憶、笑いのゲーム、パズル、唱歌、軽い運動など ・定期的に検査やアンケートを行い、認知機能のチェックなどを行う。	1	1	0	0	1	0	0
江津市	ロシア祭り	100年以上前の戦時下に、敵国兵士をみるにみかねて救助した先人の行動えお誇りとし、史実を語り継いで行くとともに、郷土愛を育み我が町の自慢として欲しい。	式典 高角小5年生によるイルティッシュ号と和木の人びとの群読。イ号を目撃した9歳だった少女が、ひ孫に語った当時の様子の証言テープを披露。 イベント うさぎ山こども園遊戯、パフォーマンスドールのダンス、けん玉、ウクレレ演奏、模擬店、千本くじ	1	0	1	0	0	0	1
江津市	笑いサポーター講座	町民同士のつながりを作っていくためのキーパーソンの学びの場づくり	都野津町づくり協議会は、発足9年目に入った。昨年度より町民間のつながりをつくるためのキーパーソンを育成使用と、「笑いサポーター講座」を定期開催(隔月)。対象はすべての町民。講師は毎回いろいろな団体又は個人。最終的には町民全員が笑いサポーターになることを目指す。ただし、笑いサポーターは、講座に参加が目的ではなく、他人のことが気になったら、もうサポーター。「あなたの笑顔が私のしあわせ」が合言葉。	1	0	1	0	0	0	1
江津市	花田植え	伝統文化の継承	地元の小学校は閉校となりましたが、地域住民と他地域の小学校にも声をかけて参加者を募集しています。学校田を地区民で管理しています。お米はもち米で、年末には餅つき大会も実施しています。令和5年度で27回目でした。	1	1	0	0	0	0	1

江津市	桜まつり ウォーキング	敬川沿いの桜並木を多くの方に知ってもらう	桜まつりと同じ日に実施し、桜並木の中にポイントを設置し、敬川の史跡、名所に関係するクイズを解きながら歩くことで、敬川の知識を深めながら健康増進にもつなげる。	0	0	0	0	0	0	0
江津市	伝統技能継承 (神楽演舞、神楽道具作成)	地域に伝わる石見神楽の魅力を伝える	【有福温泉神楽団】の定期公演 【子ども神楽団】の育成 石見神楽の魅力、技術を伝える教室を実施	0	1	0	0	0	0	1
江津市	地域コミュニティ実践事業	有害鳥獣被害の軽減	・捕獲事業にかかわる人材を地域で募集、勧誘。 ・捕獲班の結成。 ・捕獲に必要な資格や備品の費用補助。 ・動物駆逐用花火の講習会の実施。 ・花火の費用の助成。	0	1	0	0	1	1	
江津市	ごぼう茶作り	○遊休農地の活用 ○高齢者の生きがい作り ○スモールビジネス	70歳代の方13名の方がかかわって次の作業を行っている。 ①2月:畑の管理 ②3月:ごぼうの種まき ③畑の除草 ④9月～10月:ごぼうの収穫・購入 ⑤10月:洗浄・干切り・乾燥作業 ⑥11月:焙煎作業 ⑦11月:委託によりティーパック加工 ⑧12月:販売用に袋詰め・パッケージ貼り ⑨販売	1	1	0	0	1	1	
江津市	『お餅をつこう』	世代間交流・昔の生活習慣を体験することによる食育活動	最近家は家であまり行わなくなった杵と臼を使った餅つきを、地域の大人と小学生と一緒に。つきあがった餅を色々な味付けをし、全員で会食した。 地域の高齢者は餅つきの経験も豊富で、小学生にやり方を教えてあげるなど世代間交流をすることができ、同時に日本の伝統的行事、手作りの良さを学び、食育活動として有意義な時間を過ごすことが出来た。	1	1	0	0	0	0	
江津市	人権学習	人権啓発	江津市の出前講座を利用して、地域の方への人権講座	1	0	0	0	0	0	
江津市	しめ縄づくり・クリスマスリースづくり	日本古来の伝統行事に欠かせないしめ縄作りの体験や伝統を継承、異年齢交流等	対象者:地域在住の子供から高齢者、または地域外のお孫さん。 講師:地域在住の80代のご夫婦。 内容:講師に作り方を教わり、其々が作製、分からない事等教え合いながら完成させる。子供達は出来上がったしめ縄を家に飾り、新年を迎える。	1	1	0	0	0	0	
川本町	川本町歴史探検シリーズⅢ (飯ノ山城)	小笠原氏と川本町が歴史上どのようにして関わりを持ち地域が発展してきたかを知るにあたり、城を含めて勉強し、歴史や景観も含めて、後世に伝えていく。	・対象 町民 定員15名 ・講師 島根県立八雲立つ風土記の丘所長 高屋茂男氏、地域協力者等 ・内容 城の特徴、小笠原氏の発展、地域の特性について、学んだ。事前に会場の草刈りも行い、景観も含めて後世に残していく必要性を感じた。	1	1	1	1	0	0	
川本町	おでかけいただきますの日	「子どもの居場所づくり」「地域食堂」「地域住民との交流」を目的にし、又、食べることを目的に来てもらうことで、幅広い世代と緩やかなつながりを作る場を作る	子育て支援事業を展開するたすけあい川本が企画し、運営はまちづくりセンター、教育委員会、わかば会、未来塾、あそらぼと連携して、小学校の夏休み中に実施した。「夏休み中のお昼ご飯の準備」という保護者の負担を軽減し、かつ竹の切り出しからマイ竹カップづくり、宿題、絵画、習字等子どもたちの多様な経験を提供したことで、保護者の評価は高かった。又、あそらぼの中高生ボランティアにとっては、活動のフィールドとなり、有償ボランティアの出番づくりにもつながった。	1	1	1	1	1	1	

川本町	川本西公民館	筋力トレーニング教室	日頃からトレーニングを続けることで、健康寿命を延ばすことや、参加者同士の親睦を深めるを図る	対象：町民(午後実施しているため高齢者の参加がほとんど) 講師：町内の健康運動指導士 内容：月に2回1時間程度の筋力トレーニングを実施。参加者自身のペースで無理のない範囲でのトレーニングを実施している。参加延べ人数234人	1	1	1	0	0	0
美郷町	沢谷公民館	集まれ！沢谷っ子！〇〇を楽しもう！	地域の中で子どもたちが周りと協力し合い、活動するなかで自主性を高める	春休みや夏休みなど長期休暇中や、七夕ハロウィン、クリスマスなど季節のイベントとして地域の子どもたち対象に自治会や地元の方の協力を得ての活動 郷土料理の「まき」作りや川遊び、おもちつき雪遊び、グラウンドゴルフなどを実施。	0	1	0	0	0	0
美郷町	君谷公民館	夏休み交流会	小学校が無くなった管内の地域住民と子どもたちの交流の場を設け、お互いを思いやる気持ちを育てる。また、子どもたちが地域の魅力を発見する場を作る。	・夏休み期間中に2回開催 ・地域の老人会と共催 ・参加対象は、君谷交流センター管内の小学生・保護者、万寿会(老人会) ・1日目《魚釣り、ピザのトッピング、シャボン玉、昼食(ピザ)、解散》 ・2日目《身近な草花の学習、水鉄砲で遊ぶ、そうめん流し、解散》 ・万寿会以外に、卓球同好会のメンバーもスタッフ側として参加	1	1	0	0	0	1
美郷町	別府公民館	そば打ち教室	地元産のそば粉を使ってそばを打つ	地元産のそば粉を使ってそばを打ちをする。地域の交流を図る。	0	1	0	0	0	0
美郷町	都賀公民館	雲海ウォッチング	地元にある雲海スポットを訪れ、地域資源の再認識と活用への意識醸成をはかる。	美郷町上野地区にある田之原(たのはら)展望台では、隣接する広島県側から霧が滝のように流れ落ちる気象学的にも珍しい現象が発生し「両国おろし」と名付けられている。この両国おろしをまずは地元住民が知り、今後の活用に向けた意識醸成をはかるべく、地元住民を対象にした雲海観察行事を開催した。当日は、展望台に特設のブースを設け、地元パン屋さんが製造したサンドイッチやコーヒーを味わいながら雲海を楽しんだ。	1	1	0	0	0	1
美郷町	比之宮公民館	スポーツ吹矢教室	住民の皆さんの健康増進、集中力を養い礼儀を学ぶ	老若男女問わず、朝9時過ぎから2時間得点を競いながら実施 また、休憩時には皆で集まりコミュニケーションをとり毎回楽しみながら実施している	1	1	1	0	0	0
美郷町	吾郷公民館	お茶でも飲んで話そう会	高齢者の引きこもりを防ぎ、交流を図る	毎月1回、公民館に集い全くのフリートークを楽しむ。健康福祉課などの健康相談なども行う。簡単なゲームなどを公民館職員のアイディアで行う(ただし、毎回ではない)	1	1	0	0	1	0
美郷町	粕淵公民館	尻無川探検	身近にある川を探検し、いつも見ているとは違う川からの景色を眺めたり、川上り、川下り、飛び込み、川流れを体験し、故郷の良き思い出、故郷を誇れる素材を再発見、発信するものを体感してもらう。	① 子ども、ボランティアの保護者、教育委員会職員、連合自治会会員は川まで歩き、ライフジャケットを装着し川に入る。 ② 上流に向かい川の中のさまざまなもの、魚を発見し大人の人に教えてもらう。(子ども約30人、大人約10人の参加で、移動が早い子ども、遅い子どもがあり、大人が分散して監視等にあたる。1km弱を往復川探検する。) ③ 上流からは適度な深さ、流れのある所で流れに乗り川下り、岩場では飛び込みもたいけんした。 ④ 全行程2時間程の川探検であったが、多くの子ども、ボランティアに参加してもらい、おおむね目的は達成できたものと感じている。	0	0	0	0	1	1
美郷町	都賀行公民館	ふれあいサロン	高齢者の引きこもり対策、認知症予防	・茶話会 ・簡単工作 ・脳の元気教室・生涯元気教室 ・プチ陶芸 ・仲良しランチ ・館外研修	1	1	1	0	1	0
邑南町	阿須那公民館	そぜんあそび	地域資源である軍原キャンプ場で川遊び、魚釣り、ブランコなどの自然遊びを通して地域の良さや創意工夫する力、主体性、協調性を身につける。	阿須那小学校の振替休日を利用して1年生～6年生を対象に実施した。地域の方に魚釣りを教えてもらったり川遊びや自然の中に設置したブランコなどで遊んだ。	1	1	0	0	0	1

邑南町	口羽公民館	地域学習会	子どもたちが地域の人と一緒に学ぶ場、地域資源・教材について学び郷土愛を育むとともに、昔遊びをするなど、一緒に活動することで地元の人との触れ合うこと自体を目的とすることもある。	コロナにより、例年実施していた通学合宿(地域について学ぶ2泊3日の取組)が開催できなくなり小学生と地域の人との交流の場が少なくなり地域について学ぶ機会が少なくなったため、地域の人と小学生との交流の場を増やすこと、また地域のことを知ることを目的としてはじまった。昔遊びを実施してから、百人一首の会ができるなど、事業の広がりをみせているところもある。	0	1	1	0	0	1
邑南町	田所公民館	地域学校「ハンザケ」	地域の子供達に、地域資源(ひと・もの・こと)による体験活動を通じて「世界へも羽ばたける力」を地域総がかりで育成する。	・地域に住む先輩方が先生となり、小学生とその保護者に歴史や自然、伝統文化などの魅力を伝えている。	1	1	0	0	0	1
邑南町	出羽公民館	出羽わんぱく学校	地域の「ひと・もの・こと」に地域の子供達が触れることにより、地域への愛着を醸成・高めていくことを目的とする。	○対象・・・出羽地域の住む保育園児～中学生 ○講師・・・地域住民 ○内容(主なもの) ・地域の山開きへの参加 ・地域の方と野菜の植え付け・収穫 ・地域の方と収穫した野菜を使った加工品づくり	1	1	0	0	0	1
邑南町	高原公民館	紙漉き体験	高原地域の山に自生するがんびの採る場所や特徴について学び、実際に紙漉きを行ってふるさとの資源を再確認する	小学校5・6年生の総合的な学習の時間にて地域住民によるがんびの特徴を学ぶ。自生するがんびを採取し、自身で煮て、ほぐして、紙漉きを行い、卒業証書を作成する。	0	1	0	0	0	1
邑南町	布施公民館	公民館文化祭、ひなまつり文化展	元気高齢者の維持、若者の地域参画、関係人口・交流人口の増加。	・成果発表：つりびな教室で学んだつるしびな、靴を活かした料理教室で学んだ「ひな御前」の商品開発、その他運動教室など各種発表、展示 ・ステージ発表：地元中学校吹奏楽部、路上詩人こーた氏による書道パフォーマンス、運動教室ほか	1	1	1	0	0	1
邑南町	市木公民館	市木神楽面の展示	地域文化の継承	・文化財係との協力事業 ・貴重な市木神楽面の型を展示 ・地域住民とともに公民館内に市木神楽面の常設展示コーナーを設置	0	0	1	0	1	1
邑南町	矢上公民館	若者の地元祭りへの参画サポート	高齢化に伴い地元伝統行事などの実施が困難になっている。世代交代や魅力ある新たな取り組みる地元の祭りの活性化を図る。	○壮年層世代の祭り企画委員への参加の促進 ○新しい企画の創出のため、既存の役員への新たな取り組みに対する理解向上 ○業務ごとのグループ制ととり、責任と権限を与え活動をサポート	1	1	1	1	1	1
邑南町	中野公民館	中学生SALON	中学生の居場所や交流、自己実現のお手伝いなどを目的とし開催している。	・休日の公民館、もしくは平日放課後に中学校の技術室を借りて開催している。 ・6公民館の合同事業である。 ・楽しい場所、気軽に来れる場所という印象付けをしたいのでボードゲームを中学生と遊んだりしている。 ・中学生が興味を持っていることややりたいことなどを雑談をしながら聞き取りしている。 ・既存の事業や地域行事などと中学生が絡めないか画策もしている。	0	1	1	1	0	0
邑南町	井原公民館	井原でホット時間	引きこもり防止、つながりづくり、気軽集える場づくり	3ヶ月に1回程度で実施。引きこもり防止、気軽に学べる場所。令和4年度は介護保険でできること、新聞の読み方、シニアカーの使い方、落語を開催。アンケート等で次回の内容を決めている。	1	1	1	0	1	0
邑南町	日貫公民館	日貫地区地域学校	ふるさと(日貫地区)の食の一つとして東屋そばがあり、そばの種まきから収穫・そば打ちまでを体験することによって、自分のしたいこと、すべきことを選択肢の一つになるようにする。	日貫地区の小学生を対象にして、8月に種まき、秋に収穫、冬にそば打ちを体験していく。日貫地区の子どもたちに昔から行われている農業体験を通して、地域の住民とのつながりを深め、生まれ育った故郷を愛する心を刻んでいく。	1	1	0	0	0	0

邑南町	日和公民館	こいのぼり掲揚	地域づくり	地域から譲っていただいた使われなくなったこいのぼりを公民館館庭の掲揚ポールで掲げている。地域の方や道行く方に見てもらうことで地域が元気で活発であるというPR効果を期待している。	0	1	0	0	0	0	0
益田市	益田公民館	益田公民館さわやか講座「歴史探訪」	自分の生活している地域の歴史や人物を知り故郷の素晴らしさを実感する。参加者、講師、公民館、訪問施設との交流の機会を得る。	・「歴史文化交流館へ行こう」 ・地域散策partⅠ「石勝神社&萬福寺編」 ・「郷土の偉人 秦佐八郎博士を知る」 ・地域散策PartⅡ「妙義寺編」	1	1	0	0	0	0	1
益田市	吉田公民館	オンライン職員交流会	つながる公民館をめざし、全国各地の公民館とオンラインで交流する。	以下の公民館とZoomでつながり、情報交換を実施した。 奈良県朝和公民館、岡山県玉野市立中央公民館、岡山県小田公民館、鳥取県灘手コミュニティセンター、石川県旭日公民館、千葉県東部公民館、福井県上志比公民館、福岡県別府公民館、沖縄県桑江公民館、長崎県北地区コミュニティセンター、島根県吉田公民館	0	0	0	0	0	0	0
益田市	高津公民館	子どもの居場所づくり	長期休みの居場所づくりを通して、地域の異世代間交流から次世代を生きる子ども達を育むとともに、地域のリーダーとしての意識も育む。	長期休み間(春休み、夏休み、冬休み)で子どもの居場所づくりとして高津公民館の図書室を開放。その中で、スペシャルデーとして子ども達が地域の大人、中高校生・が医学生と交流しながら異世代交流を図る。	1	1	1	0	0	0	
益田市	安田公民館	イルミネーションプロジェクト	地域の活性化 世代間交流 地域づくりの人材育成	・12月初めから1月初旬までの期間中、安田公民館前の広場をイルミネーションで飾る事業 ・安田公民館、(一社)安田地域づくり協議会、安田地区つろうて子育て協議会、安田地区青少年育成会議、地元保育園小中学校、高生・大学生グループなどが企画運営に参加。 ・期間中の土曜日の夜に野外ステージでライトアップを2回実施。これに合わせて、和傘のライトアップ、保育園児、小学生が作った紙灯籠も点灯した。	1	1	1	1	0	0	
益田市	鎌手公民館	水仙の里かまてウォーク	ふるさとを代表する花を通して地域の人同士の交流を図り、地域の魅力を地区内外へアピールすることにつながる	益田市の花、鎌手を代表する日本水仙の花、約200万球が咲き誇る水仙公園までの往復4キロのウォークイベントです。唐音の蛇岩、高島などの景色も楽しむことができます。発着地では地域の方が水仙の切り花、豚汁、お抹茶、中学生による催し、その他多数出店などでイベントを盛り上げてくださいます。地区内外の子どもから大人まで皆様が楽しめるイベントを協力して続けています。	1	1	1	1	1	1	
益田市	種公民館	高齢者サロン	高齢者が集う場に関する活動を行うことで、交流機会の増加や体操的的好奇心の探求などにより介護予防を実施することで、健康な地域づくりを遂行すること	・対象 高齢者 ・講師 それぞれの専門分野の知識を有する人 ・内容 いきいき百歳体操またはそれに類する体操 手芸・料理・園芸・パズル等の指導と実施	1	1	1	0	1	0	
益田市	北仙道公民館	うみかぜ工作室ワークショップ、作品販売	リサイクルやSDGSを意識した物作りと、販売で小さな物流システム体験をする。	地域で活動している「うみかぜ工作室」の協力で、木材の端材や余剰品のタイル等を利用し、アクセサリー、フォトフレーム等を制作。その後、地区の文化祭で作品を販売。売上金は赤い羽根共同募金に寄贈した。この事業は東陽中学校区つろうて子育て事業の「Toyo Clover Project」と土地区民合同で行った。	0	1	1	0	0	0	
益田市	豊川公民館	草ト——ク	コミュニケーションの中から新たな地域の課題や取り組みを発掘	小学校の校庭など草むしりしながら会話をする活動。地域の活動団体の「高齢化や高齢者の居場所づくり」の課題から生まれた事業。草むしりの後は茶話会を行い小学生・大学生・各種団体との交流もあり高齢者の楽しみとなっている。日常の会話の中から地域活動での新しい事業のヒントが生まれる。	0	1	1	0	1	0	
益田市	真砂公民館	ふるさと教育	子供達が自然や歴史、文化、産業などへの理解を深め郷土愛を育むこと。地域の行事など各種団体組織との交流。	・地域散策(食物採集⇒クッキング) ・野菜作り ・神洗山八幡宮、紅葉岡天満宮散策 ・羽釜でご飯炊き	0	0	1	0	0	1	

益田市	豊田・西益田公民館	星空観察会	学校では経験できない、教科書にも載っていない夜の星空や焚火体験を、普段交わることの少ない地域の方と小学生親子で交流しながら活動する。	①焚火体験 暖まりながら観察できるように火をおこします。 ②軽食作り ホットサンドを作り焚火で焼き、スープと一緒にいただきます。 ③星空観察会 地域の方に教わりながら天体望遠鏡も使って星を観察します。	1	1	1	1	1	1	1
益田市	二条公民館	二条歴史読み合わせ教室	郷土史の読み合わせを通して、ふるさと二条の歴史や文化の継承を図る。	○郷土の歴史や文化を学ぶ。○ふるさと学習の機会を設ける。○高齢者の居場所づくり。○新たな地域のお宝発見に繋げる。○多世代間交流に繋げる。○地域づくりや人づくりに繋げる。	1	1	1	0	0	0	0
益田市	美濃公民館	しめ縄づくり	伝統を次世代に継いでいく	参加者は子どもから高齢者まで幅広い世代が参加する。地区内でしめ縄づくりの経験のある高齢者に指導の協力をおおぎ、作り方を伝授してもらう。	0	0	0	0	0	0	1
益田市	小野公民館	ひとまろの里・小野っ子「通学合宿2024」	子ども達が親元から離れ、異年齢集団での共同生活や地域の大人との交流・体験活動しながら学校に通うことで人間関係(社会性や基本的な生活習慣)を深めるきっかけづくりとする	* 小学校4年生～6年生を対象に希望者を募り参加者を集めた * 保護者説明会を開催し、保護者の理解を得られるようにした * 3泊4日のタイムテーブルを作成し、食事作りや掃除・洗濯などの生活習慣や地域の伝統行事などの体験活動ができるようにした * 地域の方々にお越し、もらい風呂の体験ができるようにした * 3泊4日のタイムテーブルを作成し、食事作りや洗濯・掃除などの生活習慣や地域の伝統行事などの体験活動ができるようにした	0	1	0	0	0	0	1
益田市	中西公民館	中西ヘルスポイント実施事業	公民館教室の参加者増及び地域の活性化	中西公民館の各種事業に参加すると1ポイントを付与し、10ポイント貯まると「400円」の割引券(地域通貨)を渡す。この券で温泉で利用したり、朝市で買い物ができる。この財源確保のため毎月開催している「朝市」の売り上げの1割を充当している。 現在割引券はむ8,000枚交付して皆さんに喜んでいただいで地域の活性化に繋がっている。	1	1	1	1	1	1	1
益田市	東仙道公民館	宿泊研修	学校とは違う場所において異学年同士で生活を共にする事で、お互いを思いやる心を育む。	・1泊2日公民館に宿泊する。 ・地域の自然の中での遊びを通してふるさとの歴史を学ぶ。 ・地域の方々とは行動を共にし、交流を深める。	0	1	0	0	0	0	1
益田市	都茂公民館	益田市立都茂小学校 通学合宿	親元を離れ、協働生活を送ることで、お互いが助け合い、思いやることで、協調性を高め、子供たちの「感じ・気づき・学ぶ」意識の醸成を図る。	小学校4年生～6年生を対象として、7月に4泊5日の共同合宿を実施。参加生徒を2班に分け、合宿における班の目標、個人の目標を立て、開所式で発表、閉所式で結果発表を行った。合宿期間中は、通学合宿日程表と決められたルールに基づき、子供たちが自主的に活動を行った。食事については、公民館職員および地域住民の応援により、食事づくりの手助けを行った。	1	1	0	0	0	0	1
益田市	二川公民館	都茂小学校通学合宿	親元を離れ共同生活することにより協調性、自立心を養い、新たな経験を積み、思い出づくりをする。	親元を離れ4泊5日の合宿をする中で、路線バスを使っての通学、食事の献立作成、調理、洗濯、掃除、美都温泉入浴、地区住民宅でのもらい風呂等新たな経験を積む事が出来た。 勉強や自由時間には、上級生が下級生の面倒を見る等の喜ばしい姿が見られた。 又、花火やボードゲーム等子供たちが楽しむ姿は大人にとっても楽しい一時であった。 5日間ではあったが、いろいろな経験をし、楽しい思い出を作れたのではないと思う。	1	1	1	1	1	1	1
益田市	匹見上公民館	匹チャレ 夏休み体験～おもちゃづくり～	夏休み期間に小学生と保育園児の交流事業を連続講座で提供することで小学生の達成感・自己肯定感を高め、保育園児は小学生への憧れを抱きつつ、安心感や郷土への愛着を深める	夏休み中に、小学生が①保育所を訪問して園児が楽しめるおもちゃについて学ぶ、②園児が喜ぶおもちゃを自分で作る、③作ったおもちゃで園児に楽しんでもらう、という3段階の活動に取り組んだ。学んだことを活かして作ったおもちゃが園児たちから喜ばれている様子に、「喜んでもらえるといいな、とは思っていたが、こんなに喜んでもらえてとても嬉しい」と、小学生は充実感を得ることができた。園児は小学生に感謝しながら「手作りおもちゃ」で楽しい時間を過ごし互いに親睦を深めた。	1	1	1	1	1	1	1

益田市	匹見下公民館	とちの実交流会	ふるさとを大切に思う心を育てることと勉強する交流会	<ul style="list-style-type: none"> ・とちの実を使ったとち餅づくり ・とちの実の皮むきやあく抜き(加工の工程を知る) 餅つき(杵と臼を使って餅をつく) ・実食 ・地元の方と郷土料理の食事会 ・地域の勉強と交流 ・高野禎の観察 太鼓奏者今福 優さんとの太鼓練習 地元の方と小学生の交流会 	0	1	0	0	0	0	0
益田市	道川公民館	道川親睦交流会	道川地区民が一堂に集い、共に学び、住民相互の連帯感を深め、より良い地域を目指して、実践していく活力を養う場とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・親睦交流会は避難訓練も兼ね、益田消防署匹見分遣所の指導の下、消火訓練、煙体験、心肺蘇生、AED使用講習などを行った。 ・道川地区のいろいろな世代の方々が集まり昼食時に歓談をしていただいた。 ・昼食後益田市糸操り人形保持社会による糸操り人形芝居の公演を鑑賞してもらった。好評であった。 ・普段地区住民が一堂に会する機会が少ないので、親睦交流会のような行事は大事である。 	1	1	0	0	0	0	
津和野町	津和野中央公民館	まちの保健室	健康相談・ちょっと困ったが気軽に相談ができた、ふらっと立ち寄って買い物もでき、誰もが安心して集える場づくり。	<ul style="list-style-type: none"> ・活動日：毎月第三木曜日 10:00-15:00 ・内容：保健師が常駐して相談窓口となる(気軽に相談)。地元の野菜(旬の野菜)が格安で手に入る(自分の目で見て購入できる)。お弁当の販売・お菓子の販売などもあり、好評。スマホの使い方等の相談もついでにできる。 	0	0	0	0	1	1	
津和野町	津和野公民館	家庭教育学級「親子でプログラミング教室」	情報社会の昨今、正しい判断やネットワーク上のルールやマナーを守り、安心・安全に使用できるよう、親子で学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・親子対象事業 ・講師：Nex-e 大庭成晴さん ・内容：親子で情報モラルの学習を行い、その後、親子で1端末を使いプログラミングを用いて「マインクラフト」というゲームを楽しんだ。 	0	0	1	0	0	0	
津和野町	小川公民館	視聴型料理教室～おがわ食堂	昼食のひと時に料理を学びながら地域交流を図る	事前に調理風景を動画に収め、食堂会場で放映することで、参加者が学ぶことができる新しい形の料理教室。提供いただいた食材が多ければ可能な限りバイキング形式で提供。メニューは町管理栄養士が考案、調理は地区の食生活改善推進員。全地域住民対象なので気軽に誘い合って参加したり、相席になり会話が生まれるなど、よい交流の場になっている。	1	1	1	0	1	0	
津和野町	畑迫公民館	モルック	高齢者の適度な運動とゲームにおける戦略的思考の向上 また、チームでのコミュニケーション交流	激しく動かないため適度な運動ができる。また戦略性があり、決まった立ち回りが無い為自由な発想が培われる。この2点は高齢者の認知症予防に貢献できると考えている。さらに、体格差が影響しないため老若男女問わず一緒にプレイできる。相談しながら次のプレイの方向性を決めていくため参加者の交流にもつながる。	0	1	1	0	0	1	
津和野町	木部公民館	出張公民館 お出かけカフェ	地域住民との交流を図る	各自治会集会所へ公民館が出掛けて行き、そこで様々な地域の情報交換をしたり、ふだんの暮らしの困りごと相談事などを、お茶やお菓子などを食べながら、気軽に地域住民の方と四方山話をする。時にはサロンのように健康教室をしたり、チョコレートフォンデュなど楽しい井戸端会議を目指す。	0	1	1	0	1	0	
津和野町	日原中央公民館	「子ども体験教室」と「ゆうゆうくらぶ支援」	地域の大人が個人の得意分野を活かして講師となり、日原町内の子ども達へ文化伝承、自然観察、自然体験、発見造形活動など子どもたちの感性と想像力を高める活動を行うことで逞しい次世代の子どもたちを育成する。同時に地域の大人(指導者)の指導者育成支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ①絵手紙を書いてみよう ②昔のあそびに挑戦 ③川であそぼう ④ニュースポーツであそぼう ⑤将棋に挑戦 ⑥体づくり運動 ⑦町内体験(高津川の淵巡り) ⑧天領日原歴史探検 ⑨森の学習とクリスマスリースづくり ⑩秋の親子星空教室 	1	1	0	0	0	1	
津和野町	日原公民館	健康ウォーキング	健康増進と参加者同士の交流、地域を探索することでふるさと教育も目的とする	地域住民に広報を行い、春には町内、秋には町外に出掛けてウォーキングを行う。	1	1	0	0	0	1	

津和野町	滝元枕瀬公民館	ふるさと歴史散歩	ふるさと文化や歴史を知り、誇りの醸成や学びにつなげる	左鐙地域の公民館と連携し合同で実施。 講師は地域の方に依頼。 滝元枕瀬、左鐙地域の住民を対象。 左鐙地域にある高津川流域の淵や津和野百景図に掲載されている史跡など8か所を巡り、講師に解説を依頼。 地域間の交流も持ちながら、ふるさとの歴史を知ることができた。	0	1	0	0	1	1
津和野町	池河公民館	防災講座	自主防災組織立ち上げに向けての意識作り	地域住民が「自助・共助・公助」を意識し最終的に自主防災組織作りに取り組み継続させていけるように年に1度の防災講座を開催。 今年度の講座内容として①防災講座/消火・通報・避難誘導訓練②体験/煙・起震車③備蓄品の展示では公民館に保管してある備蓄品のほか、非常用トイレやテントやダンボール簡易ベッド等を行った。	1	0	1	1	0	0
津和野町	左鐙公民館	自主映画制作 左鐙パラダイス9(完結編)	地域の活性化と情報発信。制作を通して、地域の結束が強まるとともに、スクリーンを通してみることで、地域の豊かさに改めて気づき、地元愛が醸成されることを期待する。	平成20年から地域を舞台とした自主制作映画「左鐙パラダイス」シリーズの制作に取り組んでいる。近年は2年に1度の頻度で自主映画の撮影をしている。完成した作品は映画まつりを開催して上映し、島根県出身の映画監督、錦織良成氏から講評をいただくこととしている。	1	1	1	0	1	1
津和野町	須川公民館	すがわを歩食う会(あるくうかい)	運動に関心を持って取り組んでもらう	地域内でのウォーキング。途中、歴史についての学習。 楽しく歩いてもらえるように、休憩ポイントにスイーツを用意した。 健康運動指導士の先生に正しい歩き方などを指導して頂いた。	1	1	0	0	0	1
津和野町	青原公民館	青原っ子高校生 サバゲーフェス	地域内の世代間交流	小・中・高校生と大人が混合するチームを組み、サバイバルゲームを実施。 地域在住の高校生から「地域のために何かをしたい」との相談が出发点。 高校生と社会をつなぐことをメインとした。高校生と地域内外の団体をつなぎ協働で実施。公民館はそれら大人へお願いしつつ情報を共有し、足りない部分のサポートと事務方を担った。大人も童心へ帰り子どもと一緒に楽しめた事業。	1	1	1	1	1	0
吉賀町	吉賀町(公民館)	夏休みラジオ体操	住民の健康増進を図ると共に、人と人との繋がりを作る	夏休みに合わせ、朝6時30分から各地区で地域の子どもから大人までがラジオ体操を実施する。	0	1	1	0	0	0
吉賀町	柿木公民館	プレーパーク	柿木の町中にある中山頂上の広場を会場に、毎月一回子どもたちが自由に遊べる場を提供している。焚き火や波紋を使ったものづくりなど、安全に留意しながら自分で考え行動できる主体性の育成を目指す。	趣旨を添えた開催チラシを毎回作成して小学校で配布しSNSで申し込みを受け付ける。実施場所の中山(雨よけ小屋やファイヤープレイス、ジップラインあり、トイレは隣接するお寺で借用)では、子どもたちは自由に生き物探しや木登り、竹細工や火遊びなどを楽しみ、大人は命にかかわる危険以外はできるだけ口を出さないことを共通理解して子どもたちと接している。荒天の場合は中学校体育館で実施することもあるが、多少の悪条件でもできるだけ中山で開催して自然を体感できるようにしている。	1	0	0	0	1	1
吉賀町	蔵木公民館	移動カフェ・移動居酒屋	ご近所さん同士の交流の場づくり	なかなか公民館へ来れない高齢者のもとへ公民館が出向きカフェを開きご近所さん同士の交流をしながらコミュニケーションを図ることが目的。また、普段公民館利用の少ない男性同士の交流や意見交換の場として移動居酒屋の開催が始まり年々進化していつている。	1	1	1	0	1	1
吉賀町	朝倉公民館	AKJ(あさくら公民館女子会)・ズンバフィットネス・アサクライズ	若者参画、次世代育成、主体的活動とスキルアップ	30~40代中心の独自の事業展開による女子力向上と各種活動への若者参画や次世代育成を目指す取り組みである。地域の中から講師の手が挙がり、楽しくダンスを行い健康づくりや多世代交流に寄与している。 特にアサクライズは自主的、主体的な子育て世代の活動で地域における事業や活動への若い力として公民館事業の推進にも寄与している。	1	1	1	1	1	1
吉賀町	七日市公民館	七日市花見会	地域住民が互いの活動について知り、交流する場、賑わい創出	地域で活動する団体や学校からの発表や、出店	1	1	0	0	0	0

コロナ後、開催中止、見直し、または改善を行った事業とその理由

記述内容を「KHコーダー(テキストマイニング)」(無料版)により分析を行った結果、「中止」が最も高い出現回数となった。特に、運動会などのスポーツに関する事業や泊を伴う事業については中止となる傾向が強い。また、中止を検討する要因として「少子高齢化」による「参加者の減少」「リーダー等の不在」があげられている。

しかし、時間の短縮や規模の縮小、事業の統合、内容の変更(工夫)を行い、事業の継続や再開を模索し、実施している施設が多くみられる。施設職員としても、地域住民側からも、事業によるつながりづくりや地域の賑わいを願って、継続や再開を求める様子が見とれる。再開や変更を行った事業としては、運動会をニュースポーツなどの大会として実施したり、他の目的(防災や祭りなど)と組み合わせ体を動かせる活動として計画したりする施設もある。

夏まつり、体育祭、文化祭など、時間の短縮、規模の縮小 学校との連携事業 理由 ①地球温暖化が進み、熱中症対策が強く求められていることから、日中のイベント開催時間の短縮や避暑対策を講じている。 ②コロナはなくなったということではないので、引き続き感染対策を講じながら実施している。 ③高齢化などにより、利用団体が減少し、参加団体も減少している。
今まであった地域の運動会を変更して、ニュースポーツふれあいフェスタ(ニュースポーツ体験会)とした。協力先であった小学校の関わり方・体制変更や、地域の関係者の負担軽減のため。
そうめん流し
町民体育大会(運動会)の中止 人口減少、地区の年代校正のバランスが取れない。
「秋の作品展」 コロナ禍以前は喫茶コーナーを設けていたが、飲食を控えた。 来館者には地区と氏名を記入してもらう。
コロナ禍以前に地区親善バレーボール大会を開催していましたが、参加できないとの自治会も有人数の少ないソフトバレーボールを開催することにしました。
ソフトバレーボール大会 ただし次年度は代替の大会を検討中
料理教室を行っていたが、コロナで講話的なもの+個人で作れるお菓子作りなどに変更しました。それが発展して、個々でできるパン作りに変化し、料理教室から独立してパン教室をすることにかわってきています。料理教室も皆さんの要望のある事業なので、パン教室とは別に料理教室として再開できたらと考えている。
シルバースポーツ大会、ヨガ教室、料理教室など中止。参加者が集まるかわからず、リーダーシップをとる人もいない。
上山佐縁日をコロナ禍は中止2023年度再開。参加者や顔ぶれが少し変わったが交流の場としてにぎわった。
・盆踊り事業については、引き続き地元住民の参加意欲がわからないため中止している。 ・運動会については、人との距離が近いためニュースポーツ大会に形を変えて実施している。
カラオケ教室は参加人数減のため、現在も中止。(再開の予定なし)
子ども夏祭 中止中。コロナもだが、少子化の方が中止している比重が高い。
2泊3日の通学合宿。コロナ禍の影響で大人数での宿泊に対する考え方が変わった。
コロナ以前に「お泊り教室」という、飲食、宿泊を伴う事業を実施していた。 コロナ禍においては宿泊に関わる行事を自粛し、その時期にあわせて実施可能な体験教室に変更。 現在においても宿泊に関する事業は実施していない。
小学生との世代間交流事業については学校側の対応の変化があり実現できない事業があった。今後、学校側と調整して事業の見直しをする予定。
年3回行っていたお祭り(さくら祭り、ふるさと祭り、文化祭)は、文化祭のみ日程を短くし開催。 また、体育祭は午前中のみ短縮し、小学校との連携はなくなり、競技も大幅に見直し開催した。 研修旅行は引き続き中止した。

4年ぶりに開催した総合文化祭は、食事の数量をコロナ禍以前の7割程度に抑え、アルコールの提供もなしとした。結果的には用意した食事が午前中にすべて売り切れるほどの大盛況となった。小雨が降るあいにくの天候だったが、人々の熱気が伝わってきた。

文化祭の実施時間を1時間短縮した。

多伎・湖陵子ども二町交流事業

ウイルス感染症等(コロナ、インフルエンザ等)が増加傾向にあり、加えて少子化、事業に対する参加意欲の低迷(関心が薄く積極的な参加が得られない)等により、事業実施可能な参加者数が得られず、長年続いできた交流事業を中止した。

75歳以上の高齢者が集う、久木地区敬老会を開催していたが、感染リスクの高い高齢者が集まること危険と判断し、敬老会は中止。
代わりに、対象者に赤飯を贈呈する事業に変更した。

こどもを対象としたキャンプは、中止した後も健康安全面の不安、また支援者の高齢化などにより再開を見合わせている。

●『地区民体育大会』は、コロナを契機に中止から、見直しへ。『塩田地区ふれあい祭』を11月に開催し、午後の部で軽スポーツ交流会・抽選会等を実施。複合的な活動へ移行した。今後、運営委員会・部会等を通じて、年次的に出来る事を検討して行く。

旧加茂町全体で行っていた、自治会対抗の体育大会は、廃止しだれでもできる、個人で参加できる「軽スポーツ」を中心とした「加茂スポーツDay」に替え、試行錯誤している

高齢者等を対象とした、サロン活動はコロナ禍で開催場所の分散開催(2か所)を行っていたが、コロナ明け後も参加者からの要望で引き続き分散階差を継続している

コロナ禍で事業を中止していたことから、再開しようとしても後継者不足により継続できない。

【防災スポレク】

平成29年度までは自治会対抗の体育大会を開催していたが、天候不良やコロナ禍のため、5年間大会を中止してきた。この間、少子高齢化が更に進んだこともあり、体育大会の再開は困難になってきた。しかし、住民の中には人が集まり話をする機会がなくなっていくのはとても寂しいという意見もあり、何かできないか検討を行ってきた。地域内では「防災訓練は大事」という意見が多いこともあり、この訓練と軽スポーツを組み合わせて行ってみては、ということから「防災スポレク」という名称で、10月第1週の日曜日、約100名の皆様に参加いただき、前半は防災訓練(研修)、後半は軽スポーツ(4種目)、前半終了後の休憩時間には全員で防災食の試食という内容で実施した。評価はいろいろあったが、マンネリ化しないよう次年度以降も実施してみたい。

地区運動会が中止のままになっている。

その間にも高齢化が進み、スポーツ的な内容では集まりにくくなっている。

別のスタイル(軽スポーツ、ゲーム、個人戦など)を検討したが、結論が出ていない。

地区民体育大会 担当者の負担が多く、会議の開催の予定がたちにくいため。

通学合宿はコロナ感染以後開催していない。この数年の急な児童・生徒数の減少と通学合宿の目的が本人や保護者と合わなくなった。

普通列車など交通機関を利用する活動について、車内外において流動的な人の流れが想定される場合。

インフルエンザの流行により児童対象通学合宿を中止

●家庭の味まつりでの家庭の味(料理)の持ち込みを中止

●公民館まつりでのおじさんレストランの中止

毎年8月の最終の日曜日に地区民体育大会を開催していたが、コロナ禍で密になる事やマスクを着用しての活動はできないと判断し、地区民体育大会に代わるみんなが集って活動が出来る。みんなの広場夏祭りを地区民体育大会に代わりに開催した。50年前までは盆踊りが行われていたが、近年されていなかったのが盆踊りの復活が目的に開催した。

・コロナ禍で人数制限を実施していたが、現在はしていない。感染症対策として手洗いや手消毒の習慣が身につけているので、それは継続して行っている。

・料理教室について、コロナ禍の間は中止をした。昨年5月の緩和に伴い再開したが、会食はしないで各自持ち帰ってもらった。今年度は、コロナ禍以前に戻り、会場で試食をしている。

・夏休み中の子ども事業について、コロナ感染予防と熱中症予防の両方を考慮し様々な対策を立て、規模を縮小し開催していたが、一昨年より熱中症対策として、秋に実施。緩和された昨年度も引きつづき秋に実施した。

<p>センターで活動している団体の成果発表会の場として実施していた「芸能文化祭」は、コロナ禍で中止のまま現在に至る。開催するには開催時期や音響設備の老朽化や出演団体の減少などの課題がある。</p>
<p>●事業:文化祭 ●理由:コロナ禍以前は各団体の発表、バザーなど地域の方々の交流の場として賑やかに行っていた。コロナ禍以降、一度は中止したが、2年目からは展示型の文化祭へと形を変え、密を防ぎながら地域の方に楽しんでもらえるような文化祭を企画した。3年目以降は展示に加え、予約制のレストランや演奏会などを加え一部参加型の文化祭を企画した。令和5年度からは元の形に近い各団体の発表や交流の場としての形にしたが、コロナ禍以前に比べ団体の参加が少なくなった。もっと気軽に文化祭を楽しんでもらいたいと、照明設備等を簡略化し、テーブル席を増やし、明るく見やすい会場づくりに変えた。普段はこの地域まで来ることのないキッチンカーを呼んだことも喜ばれた。</p>
<p>上記茶会は、コロナ禍での中止をきっかけに、4月下旬から7月上旬へ時期を変更した。田植え時期を避けることで、高齢化しているコアメンバーの負担を軽減させるため。またこの機会に60代にも多く声を掛け、実行委員として活躍を促した。</p>
<p>食品を扱う事業などは、極力日程を分けて、人が密集しないよう分散して行っている</p>
<p>アウトドア事業の縮小(理由:地域スタッフの高齢化) 地域運動会の内容変更(理由:参加者の高齢化)</p>
<p>【おおだ町橋南VS橋北歌合戦】R2→中止、R3→無観客で銀テレ収録、R4→出演者の関係者のみ観戦、R5→有観客で開催</p>
<p>ふるさと祭り コロナ禍では、会場が屋内のため感染防止対策が困難という理由で中止した。令和5年度は、数年間途絶えたため、委員を集めることが困難となり中止した。(委員の高齢化による) この「ふるさと祭り」で、公演をおこなってきた大屋神楽を、令和5年度から「ふれあい文化祭」で企画し公演がおこなわれた。</p>
<p>「男性の料理教室」感染対策として中止となり、再開の必要性はあるものの講師の選定等地域性等があり固定化している。また、交付金が減少しているなかで、予算計上が難しい。</p>
<p>盆行事(平成5年度をもって中止) 復活の要望が多数あり、協議会で協議の結果、規模を縮小して本年度より再開を決定。</p>
<p>コロナ前は、「川登の市」と「あんずフェスタ」という地域住民を対象とした行事があったが、コロナ禍で休止、再開の際に2つの事業を1つにまとめ、更に地域の魅力を地域内外の方に伝えよう「マルシェまつひら日和」をスタート。 開催日R5年11月5日</p>
<p>会館カフェは、コロナ以降形を変更して行っている。「憩い食堂」・「つづの朝」。その理由は、集まる場所を複数にする必要があったこと、内容を、飲食だけでなく多様な内容にする必要を感じたから。</p>
<p>高齢化や参加人数の減少、開催者の負担などで午前中の開催になっていた町民体育大会をコロナ禍後はスポーツレクリエーションとして実施した。</p>
<p>普通の予防で特になし。あるいは、時期、内容によっては中止した。</p>
<p>地区民体育大会を高齢者の参加しやすい種目にいくつかシフトチェンジした。敬老会の開催をもう一年見送りをした</p>
<p>コロナ禍とその期間にさらに高齢化率が高まり活動が大変になることもありますが、時間を短縮したり規模を少し小さくすることで継続し続けるように取り組んでいます。</p>
<p>地区民運動会をコロナ禍前まで実施していたがコロナ禍の間は中止していた。コロナ禍が開け、地区民運動会の継続か縮小を検討していたが、今後も参加者数の減少に歯止めがかからないと見込まれたことから中止を決断した。新たに「地区民祭」として公民館活動の発表の場や地域団体によるバザー出店を集めた催しに再構築を行った。</p>
<p>地区民運動会 競技内容を走ることを中心としたプログラムから、老若男女問わず参加できるように改善</p>
<p>地域の学生を呼ぶ事業を開催する際、マスクの着用等は自己判断となったが、コンクールや退会を控えている時期に事業を実施する場合は、来場者等にマスクの着用や手指消毒を依頼する等、学生への配慮をおこなっている。 また、事業自体も時間を短縮して開催する等の変更をする場合もある。</p>
<p>囲碁クラブ 対面での競技のため中止 その後、再開したが人が少人数しか集まらずにリーダーの判断で解散した</p>

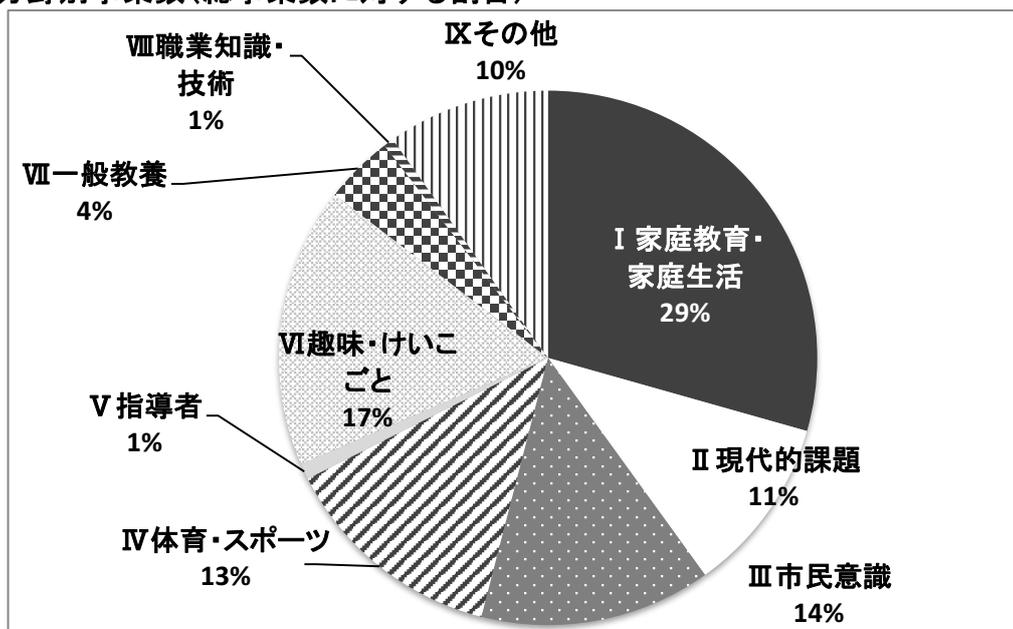
<ul style="list-style-type: none"> ・地区民運動会を地区民グラウンドゴルフ大会に替えた。 理由:参加者が極端に減ったこと。準備の負担を軽減する。 ・11月の地区文化祭と12月の地区演芸祭りを1本化。 理由:役員として参加する自治会長の負担を軽減する。公民館職員の準備に係る負担を軽減する。
<p>中止:盆の帰省者を含めた球技大会(ソフトボール) 地区内のグラウンドゴルフ大会 見直:地区民運動会 自治会・小学校の協力を頂き午前中のみとした。</p>
<p>コロナ禍もあけ、教室を開催することができた。地域の方も教室を楽しみに通っている。</p>
<p>実行委員会を立ち上げ毎年開催していた「地区民運動会」と健康守る会主催で長年実施してきた「健康づくり大会」は小川地区では最も大きな2つの事業ではあったが、・参加者を集めるのが困難・内容がハード過ぎるなどの事由から、2つの事業内容を兼ね備えた「健康づくり運動会」に変更実施した。</p>
<p>地区民運動会…コロナ前は昼食をはさんで9～15時の開催だったが、コロナ後は午前中のみの開催となった。理由:住民の高齢化</p>
<p>公民館まつりの内容を見直した。 運動会の内容を見直した。</p>
<p>3月上旬に開催する「あったかフェスティバル」は、冬が終わる時期に高齢者を家から連れ出そうという趣旨で始まった事業で、詐欺被害防止・交通安全・健康維持に関する講話などが中心であった。しかし、コロナを経て再開した令和4年度からは世代間交流の場と位置づけることをねらいとして多くの方の来場を促すよう工夫した。具体的には「半日開催で参加しやすく」「マルシェ的な飲食物の販売」「保育園児や小中学生のステージ発表を増やして保護者世代の来場を促す」「くじ引きや餅まきでお祭り感を高める」など。</p>
<p>スキー教室は事業が無くなった。</p>
<p>コロナ禍で中止していた、アドベンチャー教室を名称を変えアウトドアチャレンジを夏の暑さを考慮し、9月開催で行う予定でしたが参加者が集まらず中止としました。</p>
<p>コロナ禍以前の事業はほぼ行った</p>

(11)主催する教室・講座や事業の内容等

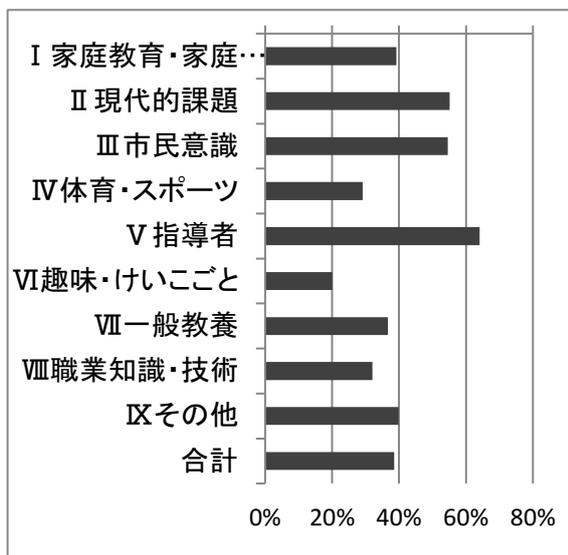
①分野別

分野別事業数	事業数	(事業/総事業)	うち地域課題	分野別事業数 に対する割合 (%)	協力団体(有)	分野別事業数 に対する割合 (%)
I 家庭教育・家庭生活	1215	29%	476	39%	5	0%
II 現代的課題	441	11%	243	55%	5	1%
III 市民意識	574	14%	313	55%	8	1%
IV 体育・スポーツ	560	14%	163	29%	4	1%
V 指導者	39	1%	25	64%	1	3%
VI 趣味・けいごと	701	17%	141	20%	0	0%
VII 一般教養	172	4%	63	37%	1	1%
VIII 職業知識・技術	25	1%	8	32%	0	0%
IX その他	404	10%	161	40%	5	1%
合計	4131	100%	1593	39%	29	1%

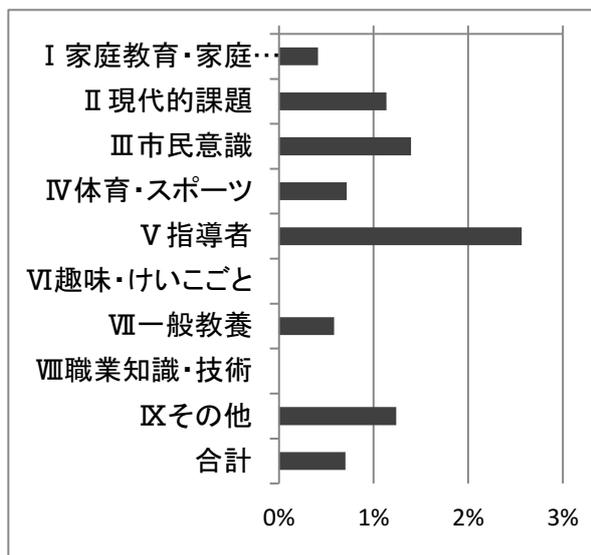
分野別事業数(総事業数に対する割合)



分野別事業数のうち地域課題解決をテーマとした事業数の割合



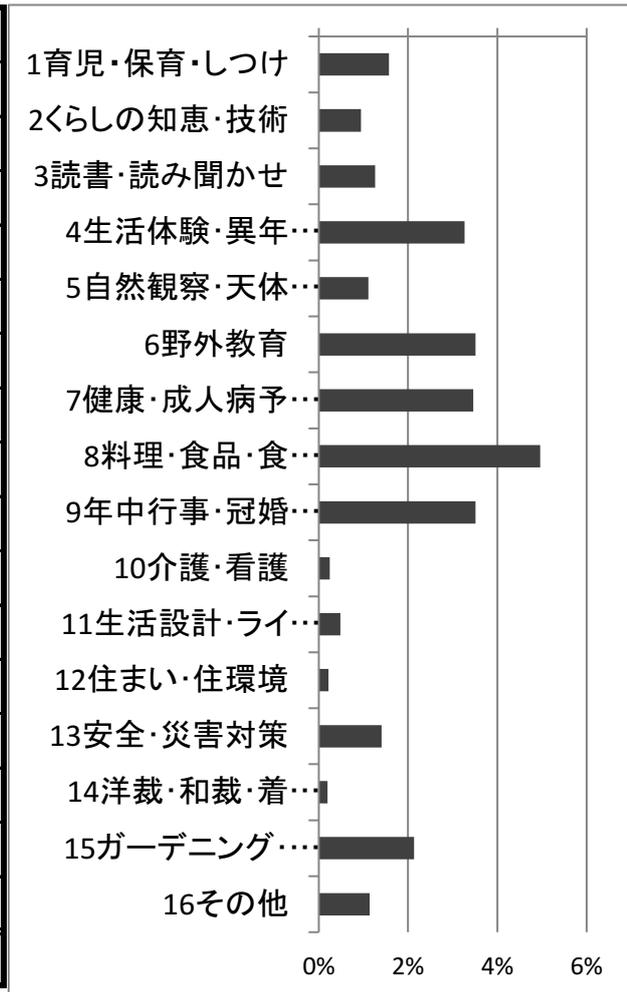
分野別事業数のうち、団体等と協力して実施している事業数の割合



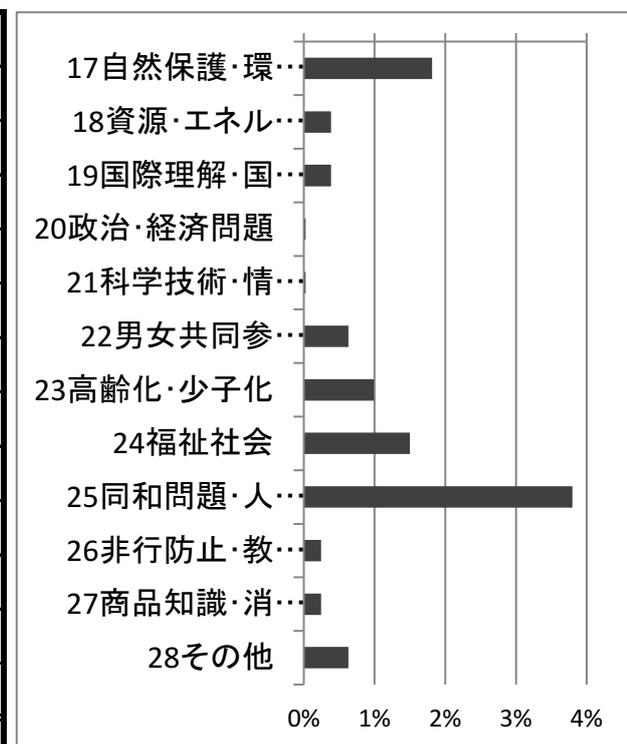
② 事業内容別

(数値が小さすぎるため、少数第1位まで表示しています。)

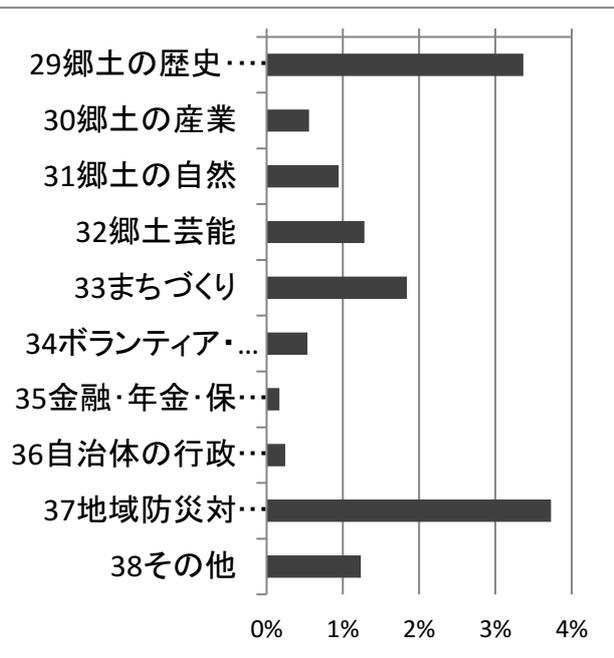
分野	事業内容	事業数	(事業数/総事業数)
I 家庭教育・ 家庭生活	1 育児・保育・しつけ	65	1.6%
	2 暮らしの知恵・技術	39	0.9%
	3 読書・読み聞かせ	52	1.3%
	4 生活体験・異年齢交流	135	3.3%
	5 自然観察・天体観測	46	1.1%
	6 野外教育	145	3.5%
	7 健康・成人病予防・薬品	143	3.5%
	8 料理・食品・食生活	205	5.0%
	9 年中行事・冠婚葬祭	145	3.5%
	10 介護・看護	10	0.2%
	11 生活設計・ライフプラン	20	0.5%
	12 住まい・住環境	9	0.2%
	13 安全・災害対策	58	1.4%
	14 洋裁・和裁・着付け	8	0.2%
	15 ガーデニング・園芸	88	2.1%
	16 その他	47	1.1%
	合計	1215	29.4%



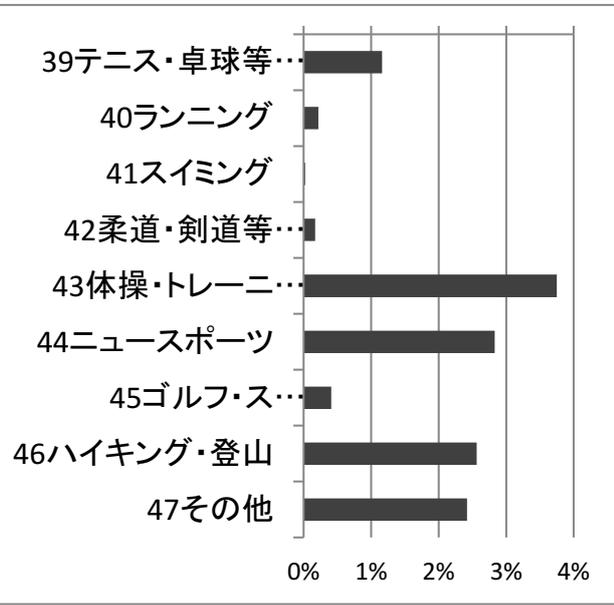
分野	事業内容	事業数	(事業数/総事業数)
II 現代的課題	17 自然保護・環境問題	75	1.8%
	18 資源・エネルギー	16	0.4%
	19 国際理解・国際情勢	16	0.4%
	20 政治・経済問題	1	0.0%
	21 科学技術・情報化	1	0.0%
	22 男女共同参画・女性問題	26	0.6%
	23 高齢化・少子化	41	1.0%
	24 福祉社会	62	1.5%
	25 同和問題・人権教育	157	3.8%
	26 非行防止・教育問題	10	0.2%
	27 商品知識・消費者保護	10	0.2%
	28 その他	26	0.6%
	合計	441	10.7%



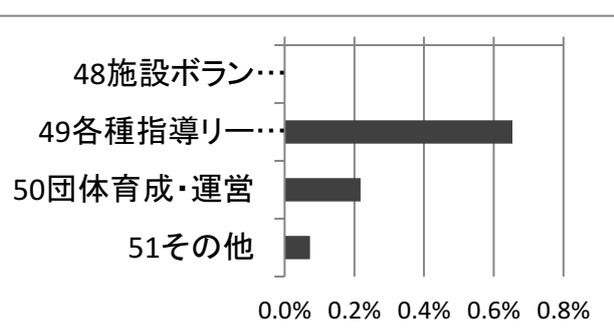
分野	事業内容	事業数	(事業数/総事業数)
Ⅲ 市民意識	29郷土の歴史・人物	139	3.4%
	30郷土の産業	23	0.6%
	31郷土の自然	39	0.9%
	32郷土芸能	53	1.3%
	33まちづくり	76	1.8%
	34ボランティア・NPO	22	0.5%
	35金融・年金・保険・税金	7	0.2%
	36自治体の行政施策	10	0.2%
	37地域防災対策・安全	154	3.7%
	38その他	51	1.2%
		合計	574



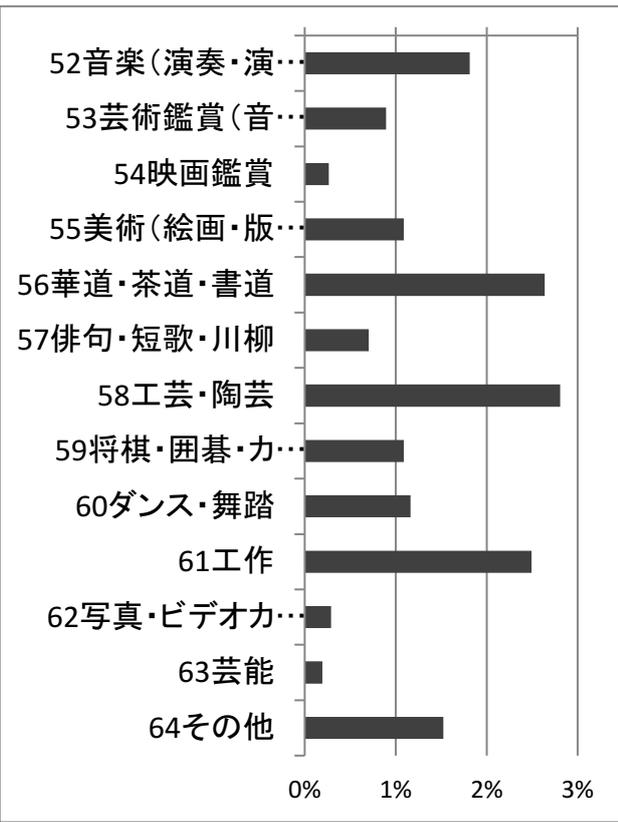
分野	事業内容	事業数	(事業数/総事業数)
Ⅳ 体育・スポーツ	39テニス・卓球等球技	48	1.2%
	40ランニング	9	0.2%
	41スイミング	1	0.0%
	42柔道・剣道等武道	7	0.2%
	43体操・トレーニング	155	3.8%
	44ニュースポーツ	117	2.8%
	45ゴルフ・スキー・スケート	17	0.4%
	46ハイキング・登山	106	2.6%
	47その他	100	2.4%
	合計	560	13.6%



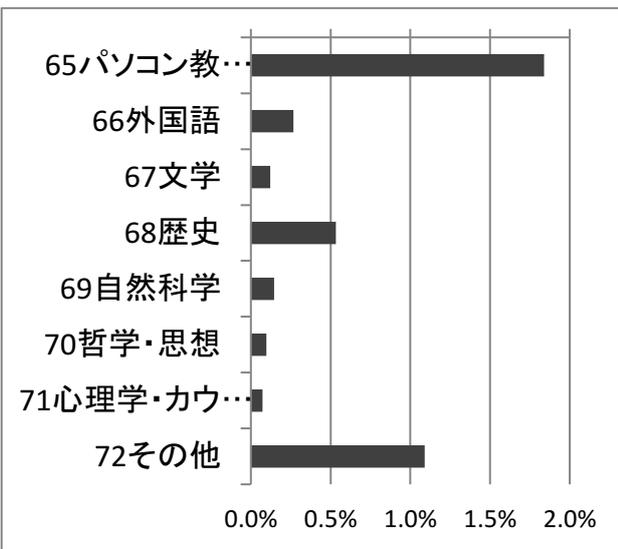
分野	事業内容	事業数	(事業数/総事業数)
Ⅴ 指導者養成	48施設ボランティア養成	0	0.0%
	49各種指導リーダー養成	27	0.7%
	50団体育成・運営	9	0.2%
	51その他	3	0.1%
	合計	39	0.9%



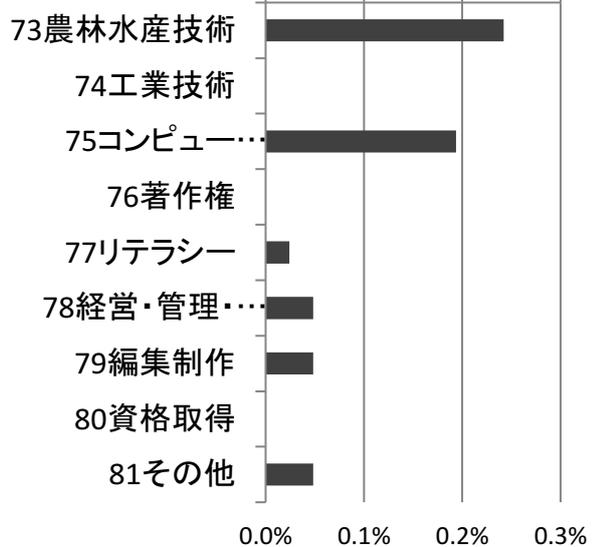
分野	事業内容	事業数	(事業数/総事業数)
VI 趣味・ けいこ と	52音楽(演奏・演劇)	75	1.8%
	53芸術鑑賞(音楽・演劇)	37	0.9%
	54映画鑑賞	11	0.3%
	55美術(絵画・版画等)	45	1.1%
	56華道・茶道・書道	109	2.6%
	57俳句・短歌・川柳	29	0.7%
	58工芸・陶芸	116	2.8%
	59将棋・囲碁・カルタ	45	1.1%
	60ダンス・舞踏	48	1.2%
	61工作	103	2.5%
	62写真・ビデオカメラ	12	0.3%
	63芸能	8	0.2%
	64その他	63	1.5%
		合計	701



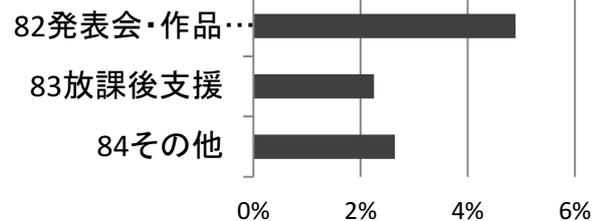
分野	事業内容	事業数	(事業数/総事業数)
VII 一般教養	65パソコン教室・IT講習	76	1.8%
	66外国語	11	0.3%
	67文学	5	0.1%
	68歴史	22	0.5%
	69自然科学	6	0.1%
	70哲学・思想	4	0.1%
	71心理学・カウンセリング	3	0.1%
	72その他	45	1.1%
		合計	172



分野	事業内容	事業数	(事業数/総事業数)
Ⅷ 職業知識・技術	73農林水産技術	10	0.2%
	74工業技術	0	0.0%
	75コンピューター技術	8	0.2%
	76著作権	0	0.0%
	77リテラシー	1	0.0%
	78経営・管理・事務	2	0.0%
	79編集制作	2	0.0%
	80資格取得	0	0.0%
	81その他	2	0.0%
	合計	25	0.6%



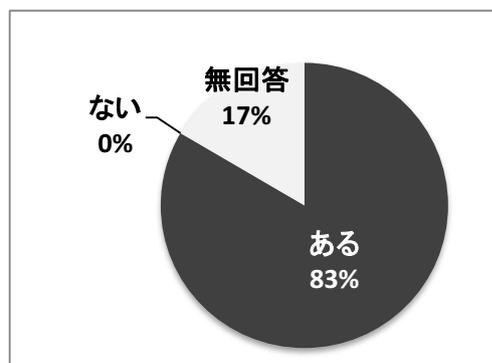
分野	事業内容	事業数	(事業数/総事業数)
Ⅸ その他	82発表会・作品展示会	202	4.9%
	83放課後支援	93	2.3%
	84その他	109	2.6%
	合計	404	9.8%



問7 学校との関係について

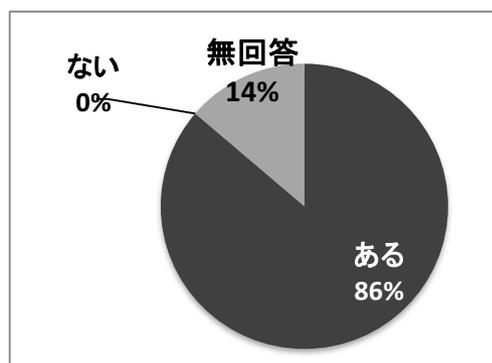
(1) 地域学校協働活動推進員との関わり

No.	関わり	施設数	%
1	ある	237	83%
2	ない	0	0%
3	無回答	47	17%
	合計	284	100%



(2) ふるさと教育推進事業と関わり

No.	関わり	施設数	%
1	ある	245	86%
2	ない	0	0%
3	無回答	39	14%
	合計	284	100%



問8 施設が求められている役割について

施設が求められている役割(3つ選択)

[%は、「全施設数」に対する割合]

No.	施設の役割	回答数	%
1	社会教育法22条に規定する事業の実施	135	48%
2	行政サービスの窓口	122	43%
3	地域活動の支援	257	90%
4	保健・福祉事業の推進	146	51%
5	生涯学習講座の開催	178	63%
6	地域資源の発掘・整理・活用	158	56%
7	地域課題の把握	228	80%
8	体育・スポーツ・レクリエーションの実施	129	45%
9	人権教育の推進	182	64%
10	地域づくり・まちづくりの推進	243	86%
11	青少年教育の推進	139	49%
12	家庭教育支援	85	30%
13	高齢者教育・支援	190	67%
14	地域と学校の連携支援・推進	230	81%
15	職業教育・キャリア教育の推進・支援	42	15%
16	関係団体との連携・ネットワークづくり	203	71%
17	グループ・サークルの育成・支援	166	58%
18	地域におけるボランティア活動活性化	113	40%
19	地域の指導者・リーダー育成	190	67%
20	情報提供・学習相談	124	44%

: 網掛けは上位3つの役割